

ネットワークビデオレコーダー

Sシリーズ

ユーザーマニュアル(ローカル操作)

目次

第1章 安全への取り組み安全に関する規制	3
第2章 初期設定	4
2.1 ウィザード設定	4
2.2 ライブビュー	10
第3章 ローカル設定	20
3.1 [表示]録画再生	20
3.2 [表示]バックアップ	34
3.3 [表示]スマート分析	41
3.4 [管理]カメラ	116
3.5 [管理]ストレージ	138
3.6 [管理]イベント	164
3.7 [システム]設定	212
3.8 [システム]状態	236
3.9 [システム]ログアウト	245

改訂履歴

日付	バージョン	説明
2020/05/11	23.08.Y.01	初期バージョン
2023/09/25	23.09.Y.02	文字校正、画像差し替え

第1章 安全への取り組み安全に関する規制

この取扱説明書は、使用者が製品を正しく使用し、危険や財産上の損失がないようにするためのものです。注意事項は、[警告]と[注意]に分かれています。

警告：これらの警告を無視した場合、重傷または死亡の原因となることがあります。

- この設置は、資格を持ったサービスマンが行い、エリアの電気安全規制を厳密に遵守する必要があります
- 火災や感電の危険を避けるため、製品を設置する前に、雨や湿気にさらされないようにしてください。
- ヒートシンク、パワーレギュレーター、プロセッサなど、高温になる部品には触れないこと
- DC/AC 12VまたはPoEによるソース
- プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください
- 製品を壁や天井に設置する場合は、装置をしっかりと固定する必要があります
- 正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様ご自身でカメラの分解は絶対に行わないでください

注意事項：注意事項を守らないと、けがや故障の原因となることがあります。

- カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください
- 極端に高温または低温の場所、埃や湿気の多い場所での保管や設置、また高い電磁波にさらさないこと
- 製造元が推奨するコンポーネントや部品のみを使用する
- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えないこと
- 熱の蓄積を防ぐために、カメラ周辺の空気の循環を妨げないこと
- レーザー光線はイメージセンサーを損傷する可能性があります。イメージセンサーの表面は、レーザービーム装置が使用されている場所には露出しないようにしてください。
- レンズカバーに付着したほこりをブローアで除去する
- カメラの表面は、乾いたやわらかい布で拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤で湿らせた柔らかい布で落とし、乾拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性の溶剤は、表面の仕上げを損なう可能性があるため使用しないでください
- 将来の輸送用コンテナを確保するため、パッケージを保存します。

その他：

- 製品仕様や外観は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- 機器シリーズによっては利用できない・表示されない項目があります。詳しくは製品仕様をご確認ください。

第2章 初期設定

2.1 ウィザード設定

デフォルトでは、NVRがロードされるとセットアップ・ウィザードが開始されます。[起動時にウィザードを実行しますか?]のチェックボックスをクリックすると、起動時のウィザードをオフにすることができます。

ステップ1：アクティブなadminアカウントにパスワードを設定します。



注

1. NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.3以上のみ、アクティベーション機能をサポートしません。
2. パスワードは8文字以上32文字以下で設定してください。
3. パスワードには、少なくとも1つの数字と1つの文字が含まれている必要があります。

ステップ2：ロック解除パターンを有効にし、少なくとも4点描画します。

必要に応じてロック解除パターンを有効にするかどうかを選択し、ロック解除パターンを設定することができます。アンロックパターンは、システムに素早くログインするのに便利です。



注

1. NVRのバージョンが7x. 9. 0. 11以上であることを確認してください。
2. NVR がアクティブなとき、ウィザードだけがアンロックパターンを有効にできます。

ステップ3：パスワードの再設定に使用するセキュリティ質問を設定します。

好きなものを3問選んで答えを設定することができます。また、カスタマイズされた問題も用意されています。

このステップを省略した場合は、[設定]→[ユーザー画面]で再度設定することも可能です。

注： NVRファームウェア・バージョンxx. 9. 0. 3以上のみサポートします。

ステップ4：日付と時刻の設定。

NTPサーバー経由でタイムゾーンと日付を選択するか、手動で日付と時刻を設定することができます。



注： タイムゾーンは(UTC+9 : 00)のJapan(Tokyo)、サマータイムは無効、日時設定は現時刻と必ず確認をしてください。

ステップ5：ネットワーク設定(初期IPアドレスは192. 168. 1. 200)をします。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先DNSサーバーを入力します。 _



ステップ6：ディスクの管理をします。



HDDを設置した場合は一覧に表示されます。

ステップ7：カメラ管理をします。

プロトコルとIPレンジをフィルタリングして、LAN内のすべてのカメラを検索・追加できます。カメラを選択し、[追加] をクリックしてNVRに追加します。



注

1. PoEポートに接続されたカメラを自動検出することができます（PoE NVRのみ）。
2. カメラのステータスが非アクティブと表示されている場合、まず[初期化] をクリックしてアクティブにしてください。

ステップ8：P2Pを設定する。



P2Pサービスを許可するために有効を選択します。P2Pを有効にすると、i-Sightを通してQRコードをスキャンし、リモートでリアルタイムのビューを取得することができます。

注： NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.9以上のみ、ウィザードでP2Pを直接有効にすることをサポートします。

ステップ9：録画の設定をする。

□ をクリックすると、全チャンネルの録画を開始することができます。



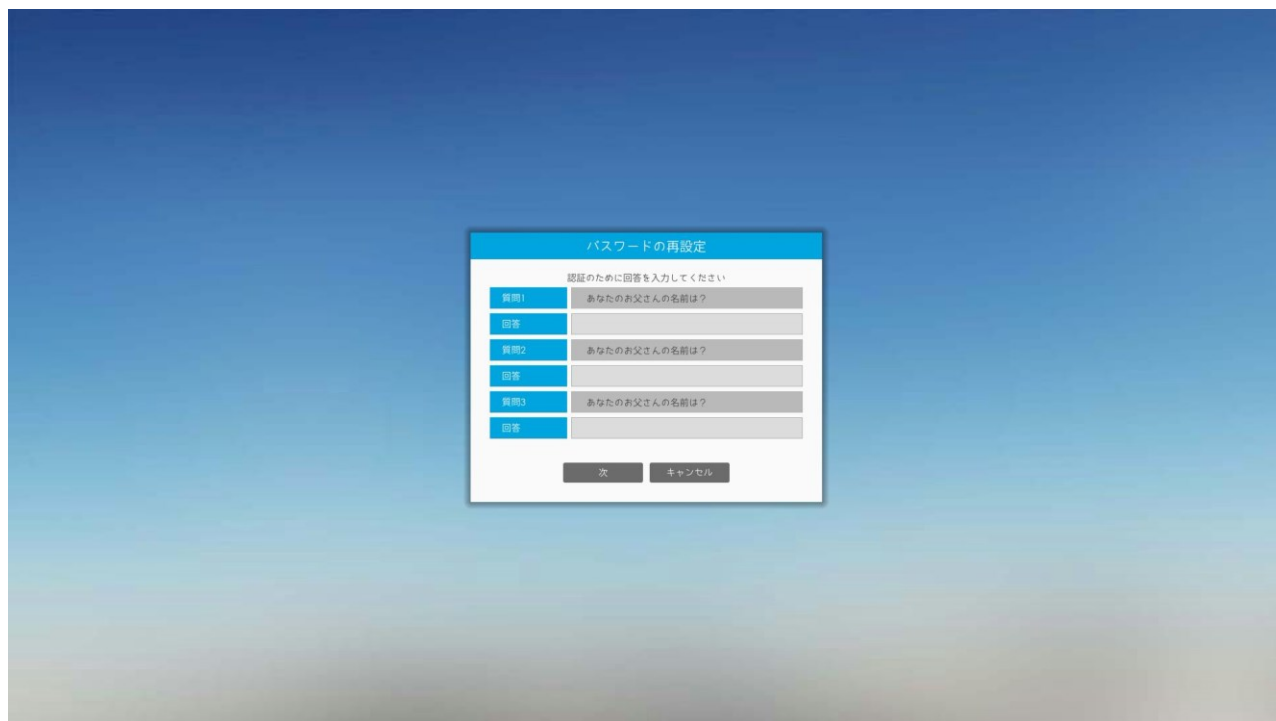
ステップ10：ログインの設定をする。

ログイン方法は2通りあります。



(1) ユーザー名とパスワードを入力し、システムにログインします。

パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた場合] をクリックして、パスワードを再設定してください。



注: NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.3以上のみ、パスワードを忘れた場合のリセットをサポートします。

(2) パターンロック解除を有効にしている場合、[パターンロックでログインする] をクリックして、パターンロック解除でシステムにログインします。



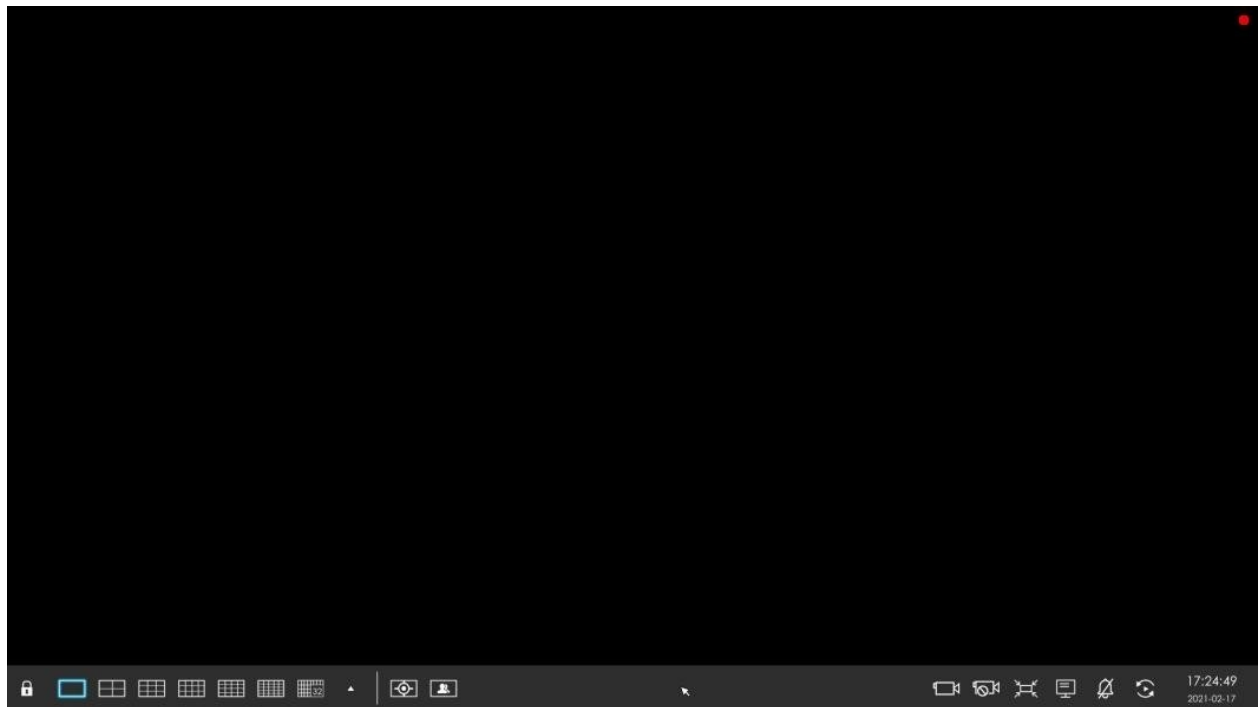
アンロックパターンを忘れた場合は、[パターンロックを忘れた場合] をクリックしてアンロックパターンをリセットしてください。



注：ユーザーが間違ったパスワードを4回入力すると、ログインロックがかかります。ロックされた後、同じユーザーが再びログインするには5分間待つ必要があります。

2.2 ライブビュー












2.2.1 ライブビュー画面



メインメニューとツールバーは、画面の右側または下側に自動的にポップアップまたは非表示にすることができます。

注：イベント通知がある場合、ツールバーは非表示になりません。

表1.

アイコン	説明	アイコン	説明
	ツールバーのロック/ロック解除		シングルスクリーン
	4画面		8画面
	1+7画面		9画面
	12画面		1+11画面
	2+10画面		16画面
	カスタムレイアウト		ターゲットモード
	滞留人数情報モード		全チャンネル録画開始（表示中の全チャンネルに対して）
	全チャンネル録画停止（表示中の全チャンネル対象）		映像のプロポーションを調整する（全表示チャンネル共通）
	画面表示設定 再生モード、カラー、ストリーム情報、チャンネル名、ボーダーライン、ページ情報、時間情報、イベント検出エリアのオン/オフなど、表示するすべてのチャンネルを設定します。 注： 1. ライブビュー画面でチャンネルがフルスクリーンするとき、イベント検出エリアとターゲットを追尾する検出フレームを表示することをサポートします。 2. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であることを確認してください。		サイレント機能 アラームアクションの通知のみをオフにします（表示中の全チャンネル）。 注：Do Not Disturb機能は、対応する設定の変更には有効ではありません。
	シーケンス		時刻情報。[表示設定]で常に表示させるか、ツールバーと同期して表示させるかを設定できます。

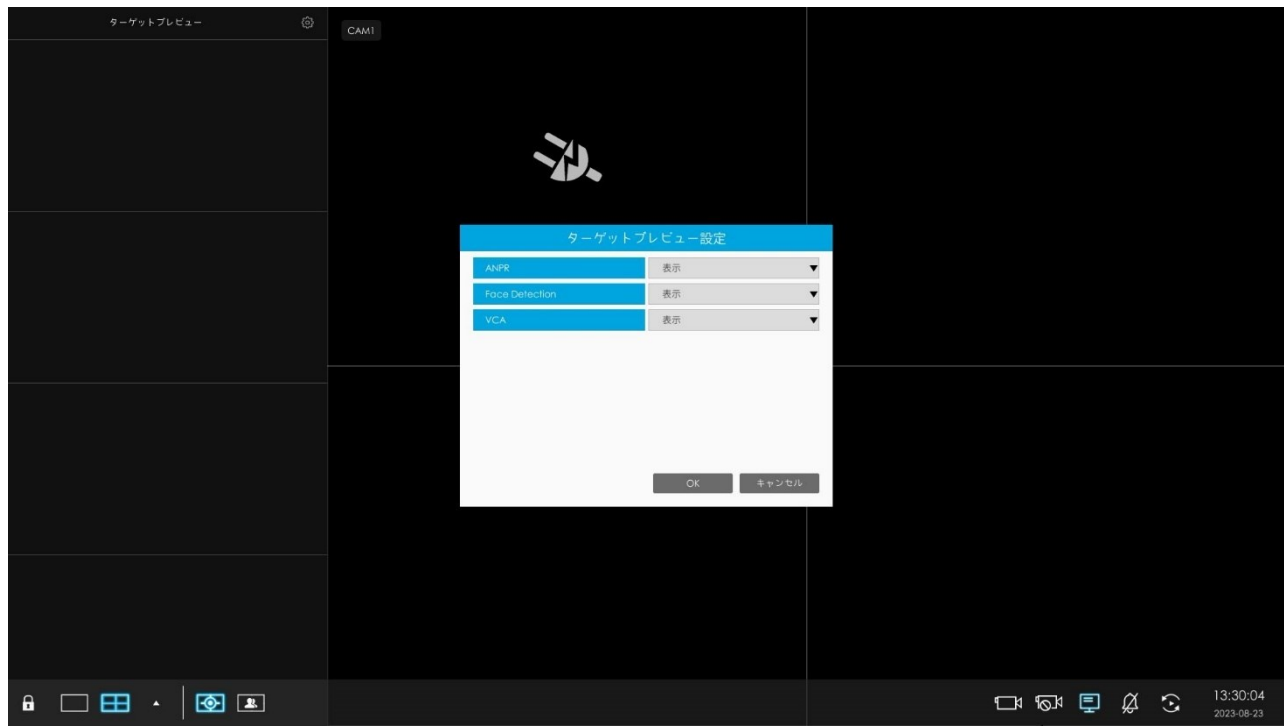
ライブビュー上で右クリックすると、クイック操作メニューがポップアップ表示されます。

表5.

項目	説明
メニュー	メインメニューを表示
シングルスクリーン	選択したチャンネルがフルスクリーンになります。チャンネルをダブルクリックすると、前の画面レイアウトに戻ることができます。
サブスクリーン	サブ画面に切り替えて操作する
マルチスクリーン	複数の画面レイアウトに切り替え可能
プレビューモード	通常モード、ターゲットモード、滞留人数モードが利用可能
情報表示	カメラ番号、ビットレート、フレームレート、フレームサイズなどのチャンネル情報を表示
前の画面	前の画面への切り替え
次の画面	次の画面への切り替え
ログアウト(admin)	現在のユーザーアカウントをログアウト

2.2.2 ターゲットモード

ターゲットモードに入った後、ターゲットプレビュー設定画面でANPRとVCAイベントの関連する検出結果の表示/非表示を選択することができます。



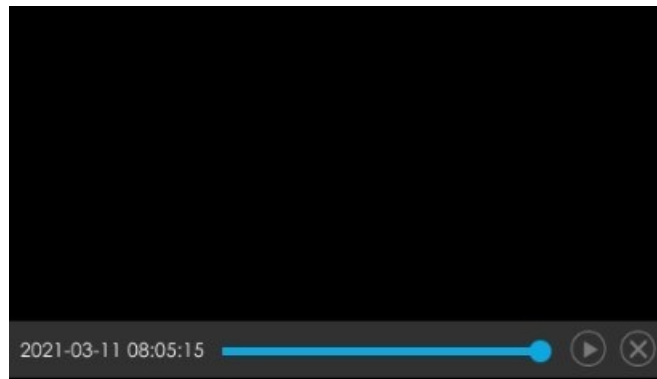
注

1. カメラのバージョンが4X. 7. 0. 77以上であることを確認し、NVR側のターゲット・モードでカメラに対応する結果が表示されるようにします。
2. カメラの機種が、人・車両検知オブジェクト設定に対応した機器であることを確認してください。

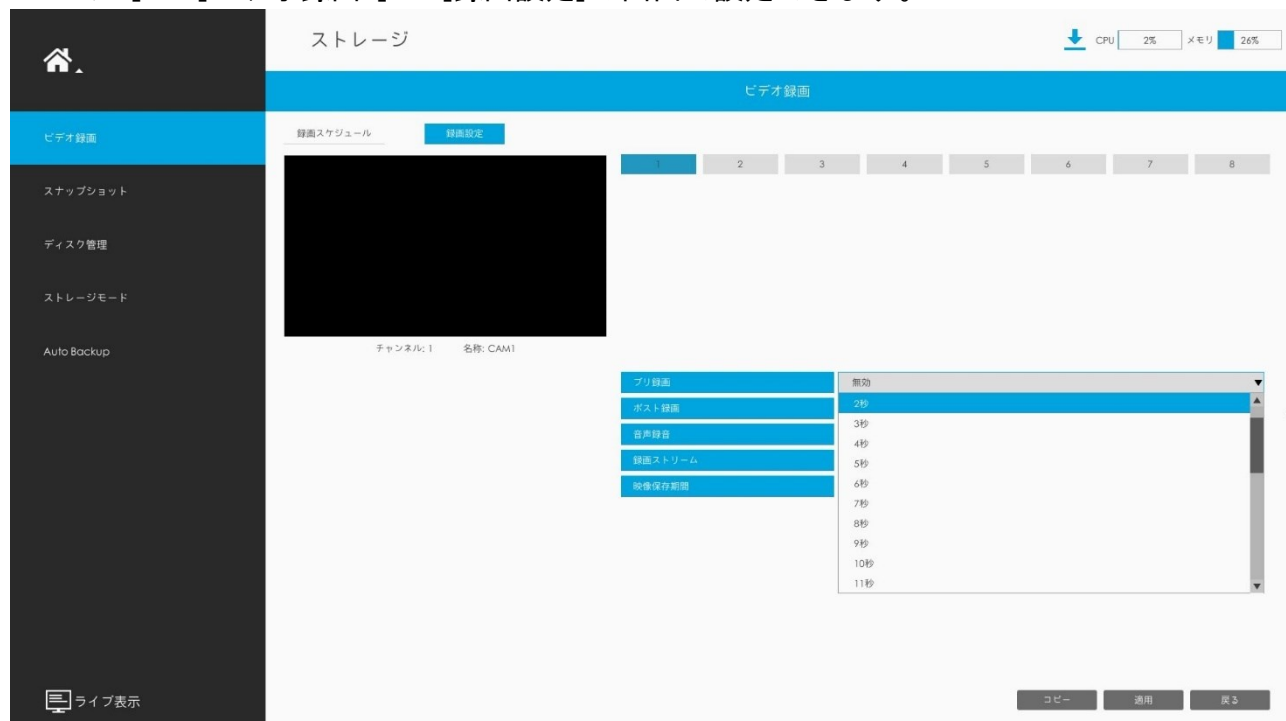
VCAイベントの検出結果を表示する場合、検出されるとスナップショット、チャンネル名、イベント、検出オブジェクト、検出時間などのリアルタイム情報が画面左側に表示されます。検出結果は、検出対象によって3種類に分かれます。検出対象によって、人間、車両、N/Aの3つの検出結果があります。

対応する録画をクリックすると、最新のX秒（10秒～20秒）の映像を確認することができます





- $X = 10 + \text{プリレコード時間(プリ録画)}$ 。録画前の時間は、メインメニュー[ストレージ]→[ビデオ録画]→[録画設定]の画面で設定できます。



- NVRに利用可能なHDDがあること、正しい録画設定がされていることを確認し、ライブビューで録画を確認できるようにします。

ANPR の関連する検出結果を表示するように選択した場合、検出されると、プレートスナップショット、チャンネル名、ナンバープレート番号、検出時間、プレートタイプなどのリアルタイムのナンバープレート情報が画面の左側に表示されます。2つのライセンスタイプがあります。

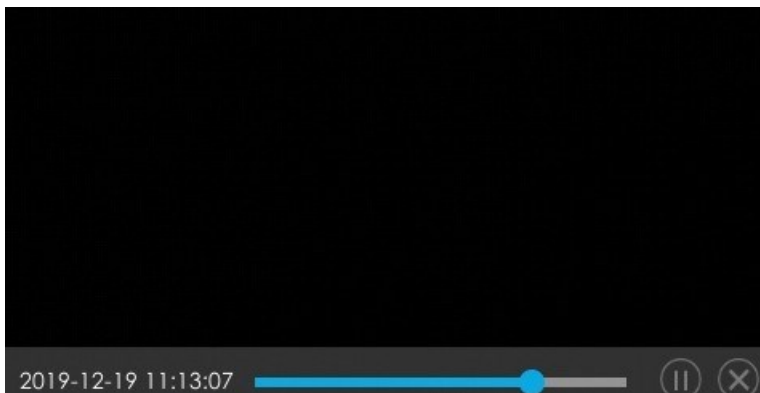
表2.

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライセンスフォーム ブラックリスト		ライセンスフォーム ホワイトリスト

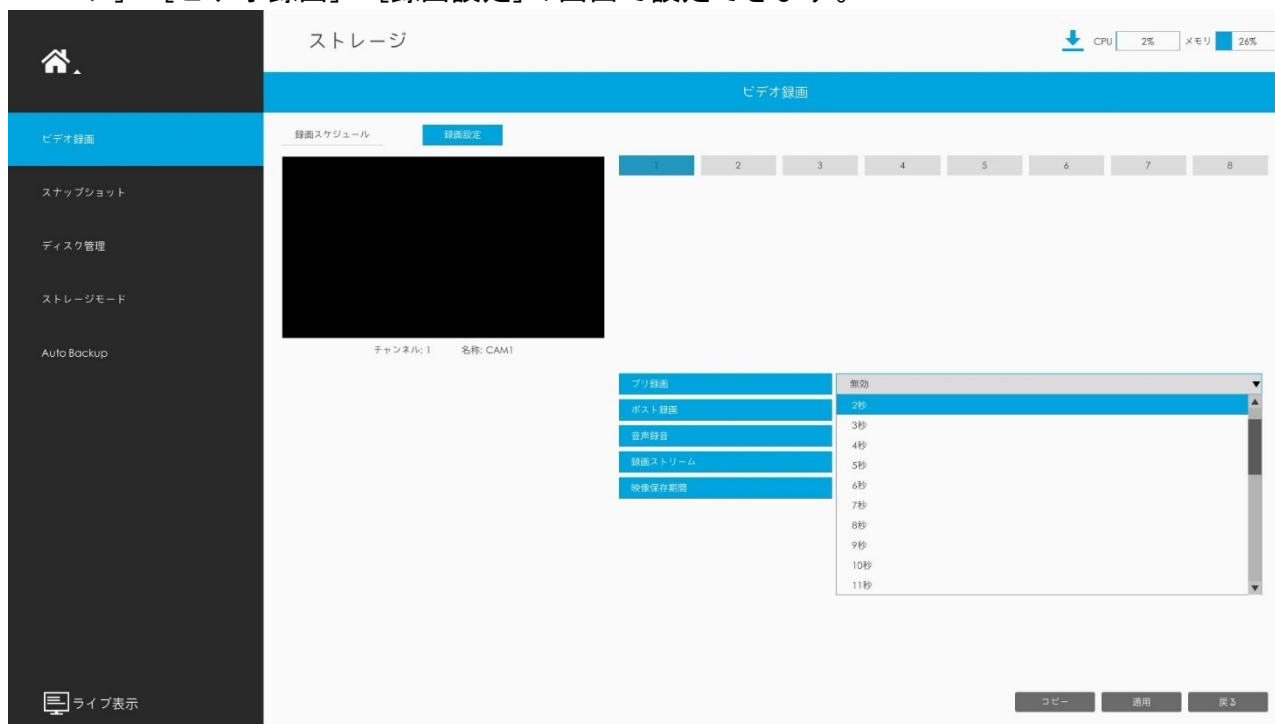
ブラック／ホワイトリストに存在しないナンバープレートには、プレートタイプは表示されません。ただし、ナンバープレート情報を右クリックすることで、ブラック／ホワイト

リストに素早く追加したり、ブラック／ホワイトリストから削除したりすることができます。

また、ナンバープレート情報をクリックすると、最新のX秒（10秒～20秒）の動画を確認することができます。



- $X = 10 + \text{プリレコード時間(プリ録画)}$ 。録画前の時間は、メインメニュー[ストレージ]→[ビデオ録画]→[録画設定]の画面で設定できます。




- NVRに利用可能なHDDがあること、正しい録画設定がされていることを確認し、ライブビューで録画を確認できるようにします。
- NVRがナンバープレート情報を取得できることを確認します。ポストタイプとしてデフォルトのモードであるTCPを設定してください。これは、カメラウェブページ → 詳細設定 → ANPR → 設定画面で設定することができます。

2.2.3 滞留人数情報モード

モードに入ると、占有・ライブビュー・画面が全画面でポップアップ表示されます。設定されたグループ内のすべてのカメラの入場人数、退場人数、退場人数などのリアルタイム


のカウント結果、および現在の退場人数が設定された最大退場人数に達しているかどうかを示す信号機の状態が、この画面に表示されます。





- 入場可能人数：リアルタイムで残り人数の値を表示し、最小値は0（入場可能人数 = 最大滞留可能人数 - 滞在人数、最大滞留可能人数は、スマート解析 → Analysis Settings → 人数カウントの画面で設定します）滞留人数、退場人数、入場人数をリアルタイムに表示します。（Stays値 = In値 - Out値、最小滞留人数は0人）
- 表示設定： をクリックして、どのグループのデータをリアルタイムで表示するかを選択します。

トラフィックライトの状態は2つあります。






表3.

項目	説明
<p>緑のライト </p>	<p>現在の滞留人数が設定された最大滞留人数に達していない。緑ライトのリマインダーの表示は下です。スマート分析→分析設定→人数のカウントの画面で緑ライトのリマインダーを設定します。</p>

項目	説明
赤のライト 	現在の滞留人数が設定された最大滞留人数に達した場合。また、赤ライトのリマインダーの表示は下です。スマート分析→分析設定→人数のカウントの画面で赤ライトのリマインダーを設定します。
リセット	滞留人数・ライブビュー・画面のグループ・カウント・データをリセットします。
退出	 をクリックして、占有状況ライブビュー画面を終了します。

ライブビューで表示される各チャンネルには、異なるステータスを示す複数のアイコンが表示されます。

表4.

アイコン	説明
	ビデオロスを示す
	動体検知アラームを表示します。
	現在のチャンネルが録画中であることを示す。
	例外アラームを表示します。クリックすると詳細が確認できます。
	VCAアラームを表示します。


シングルチャンネル用クイックオペレーション

ライブビューの画面でチャンネルを左クリックすると、クイックメニューが表示されます。






表6.

アイコン	説明	アイコン	説明
	手動で録画		画像設定
	PTZ制御		オリジナル/リサイズ
	オーディオのオン/オフ		双方向オーディオ
	デジタルズーム		手動でスナップショット
	インスタント再生		フィッシュアイモード
	メニューを閉じる		サブストリームに切替
	アラーム設定		

 注：右クリックでインスタント再生を終了することができます。

2.2.4 フィッシュアイモード

 をクリックすると、フィッシュアイモードになり、フィッシュアイチャンネルがフルスクリーンで表示されます。 またはこのページの他のアイコンをクリックすると、NVR側歪み補正に入ります。その後、インストール・モードの設定と

フィッシュアイツールバーのカメラの表示モードを設定します。終了後、 をクリックして、歪み補正を終了します。

 注

3. NVR側の歪み補正は、サードパーティ製デバイスを含むすべてのデバイスで利用可能です。
4. NVRは1チャンネルの歪み補正のみをサポートします。

設置モード：シーリングマウント/ウォールマウント/テーブルマウント


表示モード：10/1P/2P/4R/103R/1P3R

フィッシュアイ自動追尾：フィッシュアイ自動追尾は、デジタルパン/チルト/ズームを実行することにより、自動的に移動するオブジェクトを追尾するために欠けている

任意の詳細を避けることができます。

注：フィッシュアイ自動追尾機能は、フィッシュアイネットワークカメラのカメラ側歪み補正およびリージョナルビューの天井モードでのみサポートされます。

2.2.5 PTZモード

 をクリックすると PTZ モードになり、選択したチャンネルが全画面表示されます。

PTZパネルでPTZ、プリセット、パトロール、パターン、30秒間の点灯、レンズ初期化、補助フォーカスの操作が可能です。

一方、ツールバーには4つのアイコンがあります。その説明は以下の通りです。


表7.

アイコン	説明	アイコン	説明
	ツールバーのロック/アンロック		3Dポジショニングの有効化/無効化
	PTZマニュアルトラッキング		PTZコントロールパネルの表示/非表示

注


- 30秒間の点灯、レンズ初期化、補助フォーカス、PTZ手動追尾を使用する前に、カメラのバージョンが 4X.7.0.74 以降であることを確認してください。
- また、フィッシュアイチャンネルはPTZ操作に対応しており、フィッシュアイビューのオンボード監視角度を調整することができます。


2.2.6 双方向オーディオ

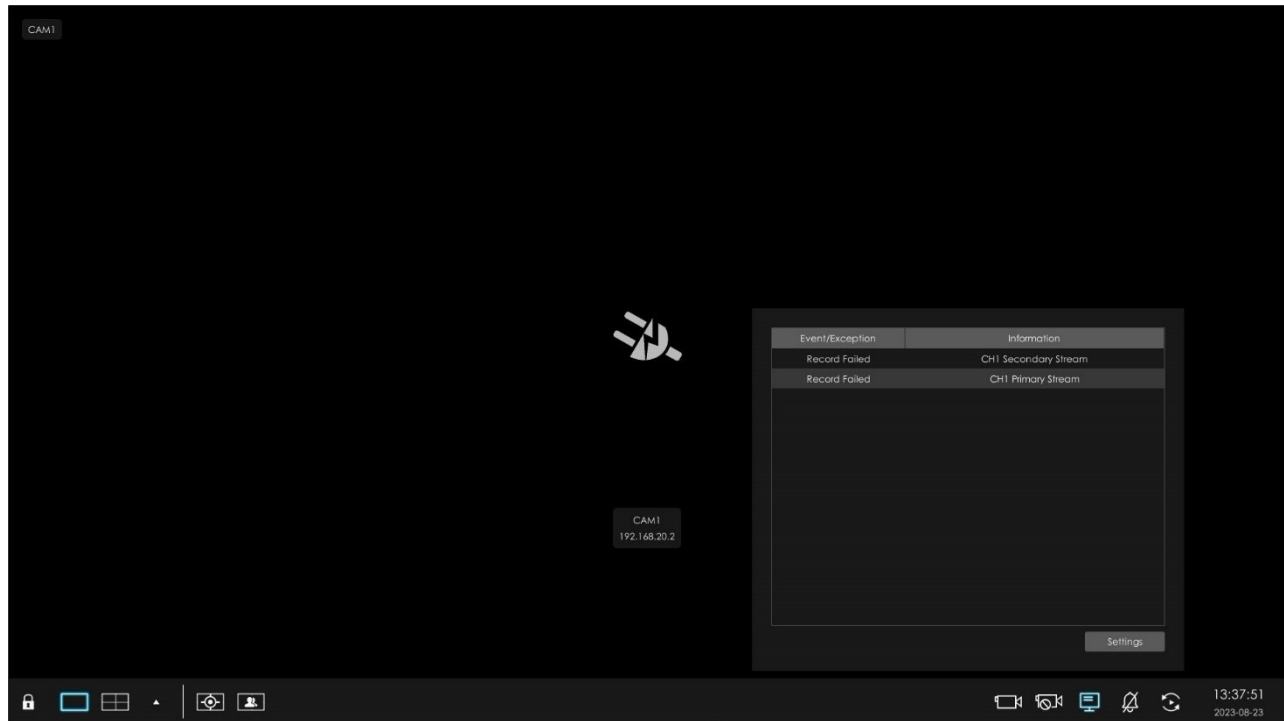
 をクリックして、NVRとカメラ間の通信を実現する双方向オーディオを有効にし、NVRのローカル・モニター側でカメラと会話できるようにします。



2.2.7 イベントのお知らせ

対応するイベントが発生すると、ボトムバーのプロンプトアイコン () が自動的に点滅します。これをクリックすると、アラームの詳細を確認することができます。そしてそれは手動でロックを解除することができます。

また、 をクリックすることで、どのアラーム通知を受けるかを選択することができます。



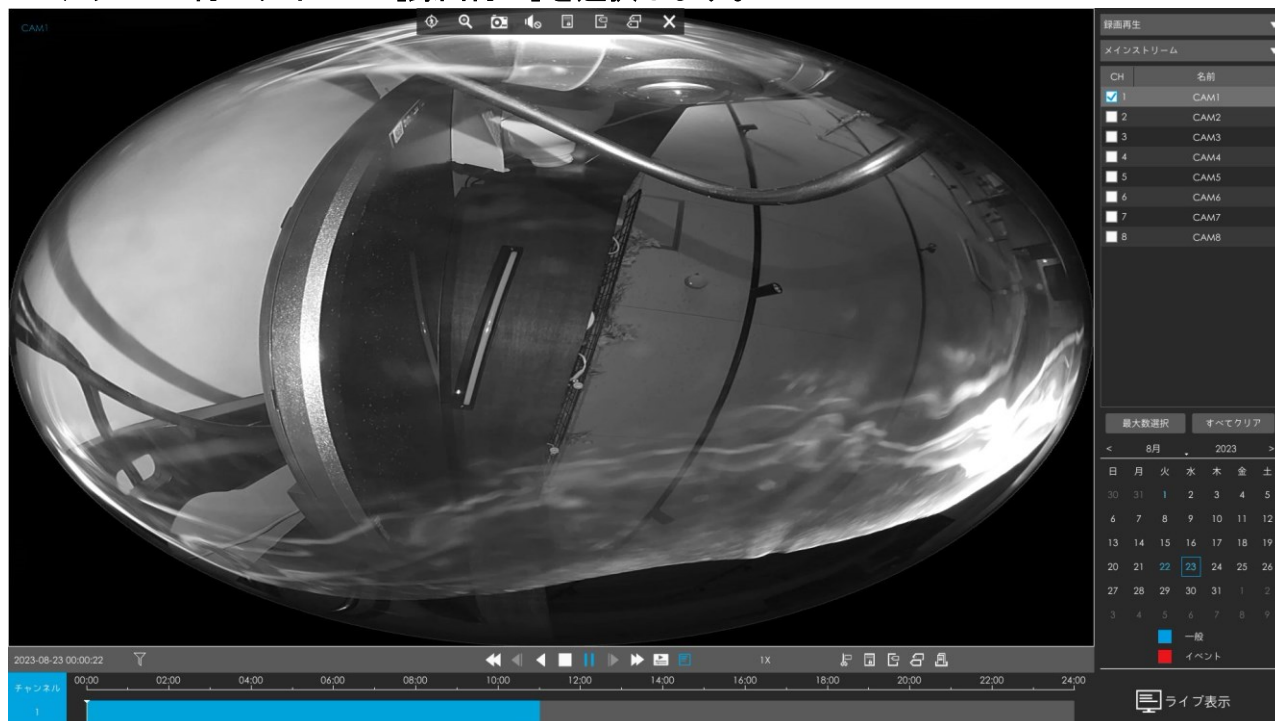
第3章 ローカル設定

3.1 [表示] 録画再生

再生は、録画した時間に合わせて動画を再生したり、録画した動画ファイルを指定した時間帯に再生することができます。多チャンネルの同期再生に対応します。

3.1.1 一般的な再生

ステップ1：再生タイプで [録画再生] を選択します。



ステップ2：ストリームタイプを選択します。

メインストリームとサブストリームがあります。

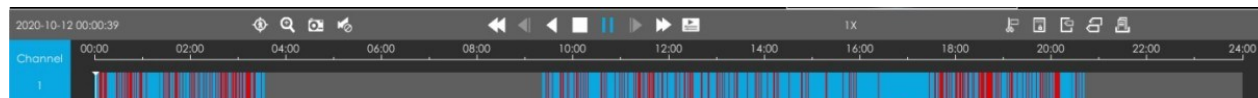
ステップ3：チャンネルを選択するチャンネルを選択します。

再生したいチャンネルを選択します。[最大数選択] をクリックして、再生する最大チャンネルを選択できます。再生レイアウトは選択されたチャンネルの数量に応じて自動的に調整されます。

ステップ4：を選択します。

青文字の日は、録画ファイルがあることを意味します。

動画再生ツールバーの説明



各チャンネルに再生バーがあり、選択したチャンネルに対応する再生バーは1つだけです。再生バーには、複数の種類の録画を表示することができます。これは、この録画期間中にどのようなイベントが発生したかを示しています。それぞれの色の意味は次のとおりです。

青色⇒般 色⇒イベント

上のバーを例にとると、この期間には連続録画とイベント録画があることを意味します。マウスを再生バーに合わせると、録画した映像のその瞬間の様子がサムネイルで表示されます。映像を一時停止する際、マウスをスクロールして映像のコマ送りやコマ戻しができます。

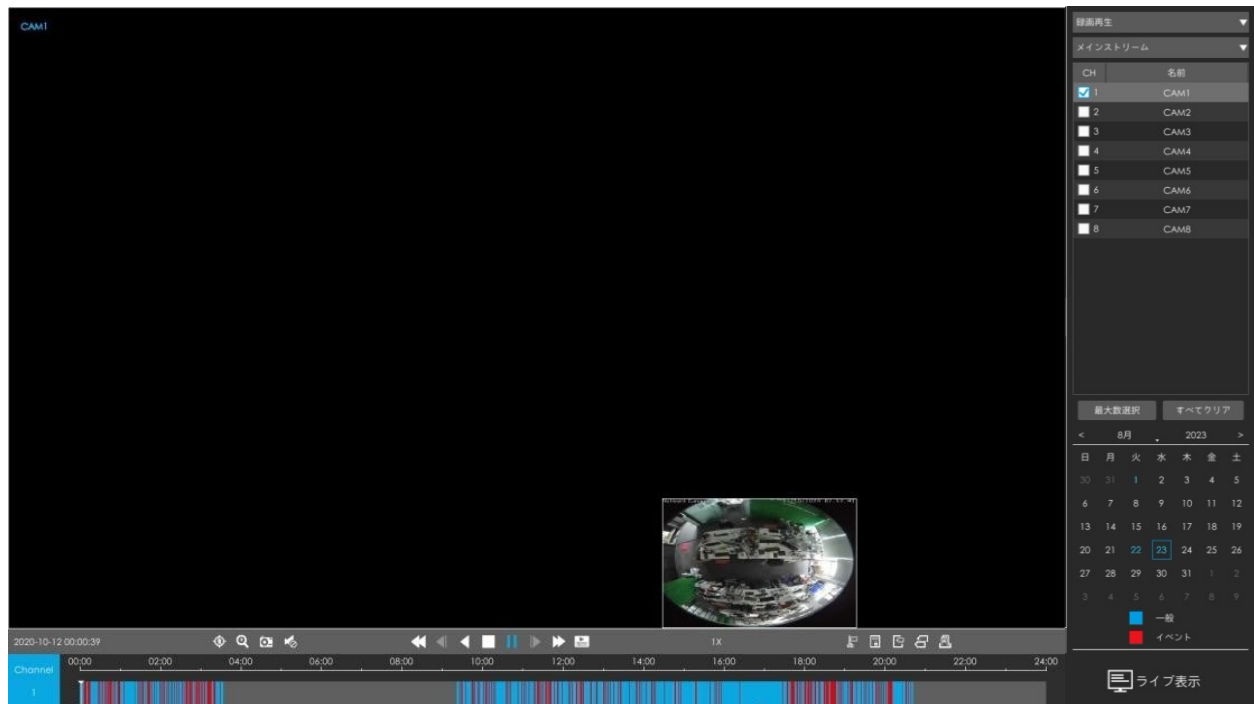


表8.

アイコン	説明	アイコン	説明
	スマート検索		デジタルズーム
	スナップショット		再生オン
	音声オフ		スピードダウン(遅く)
	スピードアップ(速く)		ステップリバース(コマ戻し)

アイコン	説明	アイコン	説明
	一步前へ(コマ送り)		逆再生
	再生		停止
	一時停止		タイムラインカット(A-B)
	ビデオファイルのロック		クイックタグ
	カスタムタグ		ファイル管理
	タイムバーの拡大		タイムバーのズームアウト
	最高のデコード性能		スマートプレイスピード

スピードアップ/ダウン：再生が一時停止しているときでも、速度を調整することができます。

ビデオファイルのロック：ビデオがロックされると、そのビデオがあるファイル全体が書き換えられなくなります。

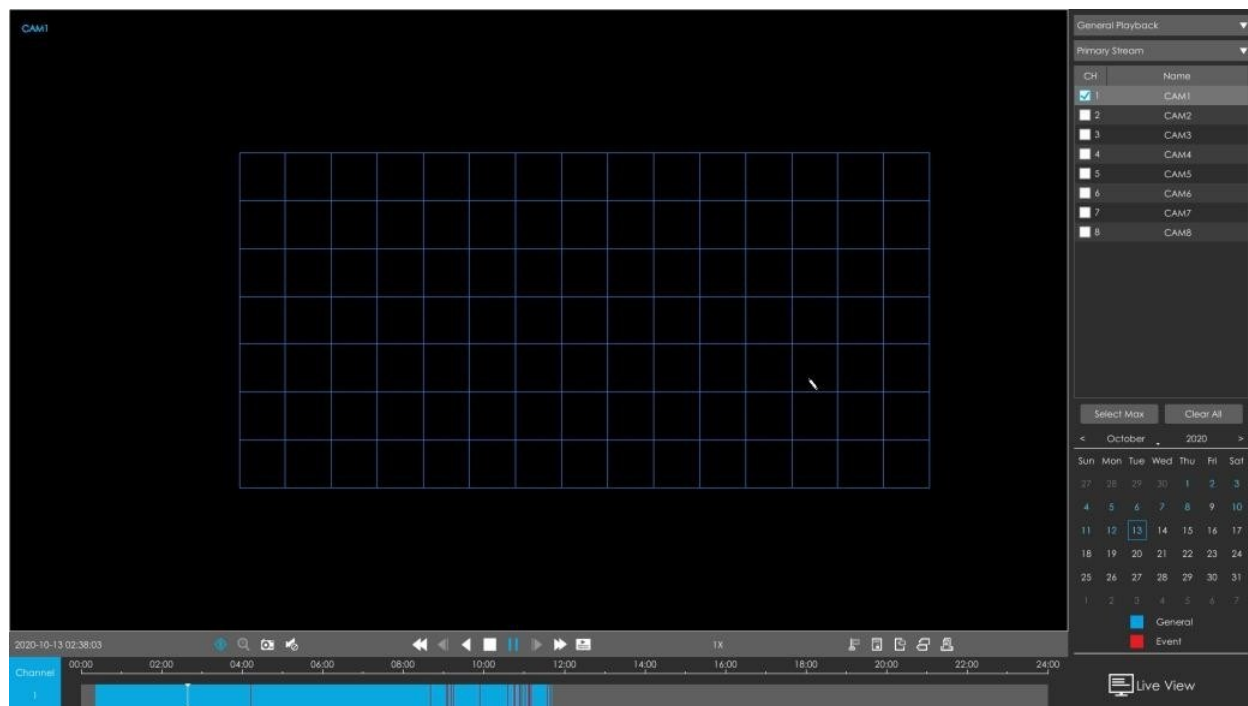
NVRは、再生ページで対応するファイルを直接識別できるように、再生バーでのロックされたアイコンを表示します。また、取得画面でロック・ステータスを変更することもできます。


タグ動画：クイックタグとカスタムタグは、再生画面でのタグ操作に使用できます。NVRは再生バー上にタグ付けされたアイコンを表示し、再生ページで対応するファイルを直接識別することができます。Retrieve 画面でタグを使用してビデオをバックアップしたり、再生画面でタグを使用して再生することができます。


最高のデコード性能：この機能を使用する際の注意点を説明します。

注

1. このボタンは、NVRのHDMI2/VGA2が有効な場合にのみ使用できます。
2. このボタンは、[一般再生]、[イベント再生]、[タグ再生]にのみ存在します。
3. この機能を有効にすると、別の画面は黒くなります。
4. このオプションのステータスは一時的なものです。再生画面を終了すると、この機能は自動的にオフになります。もう一方の画面はプレビューを復元し、2つの画面のデコードリソースは再割り当てされます。




 **スマートプレイスピード**：一般ビデオとイベントビデオの再生速度を設定し、需要に応じて一般ビデオをスキップすることができます。

 **注**：NVRファームウェアバージョンxx.9.0.9以上のみがスマートプレイスピードをサポートします。

スマート検索：NVRは関連するすべての動体イベントを検索し、選択したエリアのすべてのイベント録画ファイルを再生することができます。以下は、この機能を使用するステップです。

(1) 再生画面に移動し、再生するチャンネルを選択します。

(2)  をクリックすると、スマート検索が有効になります。

(3) フレーム内にエリアを描画し、NVRはそのエリアのすべての動体イベントを検索した後、ビデオファイルを再生します。

録画再生

メインストリーム

CH	名前
<input type="checkbox"/>	CAM1
<input type="checkbox"/>	CAM2
<input type="checkbox"/>	CAM3
<input type="checkbox"/>	CAM4
<input type="checkbox"/>	CAM5
<input type="checkbox"/>	CAM6
<input type="checkbox"/>	CAM7
<input type="checkbox"/>	CAM8

最大数選択 すべてクリア

< 8月 2023 >

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

一般
 イベント

ライブ表示

スマートプレースード OFF

一般的なビデオもスキップ 有効

一般的なビデオの再生速度 1X

イベントビデオの再生速度 1X

適用 キャンセル

2023-08-23 00:00:00

チャンネル

00:00 02:00 04:00 06:00 08:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 22:00 24:00

1X

録画再生

メインストリーム

CH	名前
<input type="checkbox"/>	CAM1
<input type="checkbox"/>	CAM2
<input type="checkbox"/>	CAM3
<input type="checkbox"/>	CAM4
<input type="checkbox"/>	CAM5
<input type="checkbox"/>	CAM6
<input type="checkbox"/>	CAM7
<input type="checkbox"/>	CAM8

最大数選択 すべてクリア

< 8月 2023 >



日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9


一般
 イベント

ライブ表示

注

1. NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.10以降のみスマート・検索をサポートします。
2. カメラのバージョンがxx.7.0.76以上であることを確認してください。
3. スマート検索とスマートプレイスピードは併用できません。
4. スマート検索は、1チャンネル再生時のみ有効です。

フィッシュアイモード： をクリックして フィッシュアイモードに入ると、フルスクリーンのフィッシュアイチャンネルが表示されます。 またはこのページの他のアイコンをクリックすると、NVR側の歪み補正に入ります。その後、フィッシュアイ ツールバーでカメラのインストール・モードと表示モードを設定できます。終了後

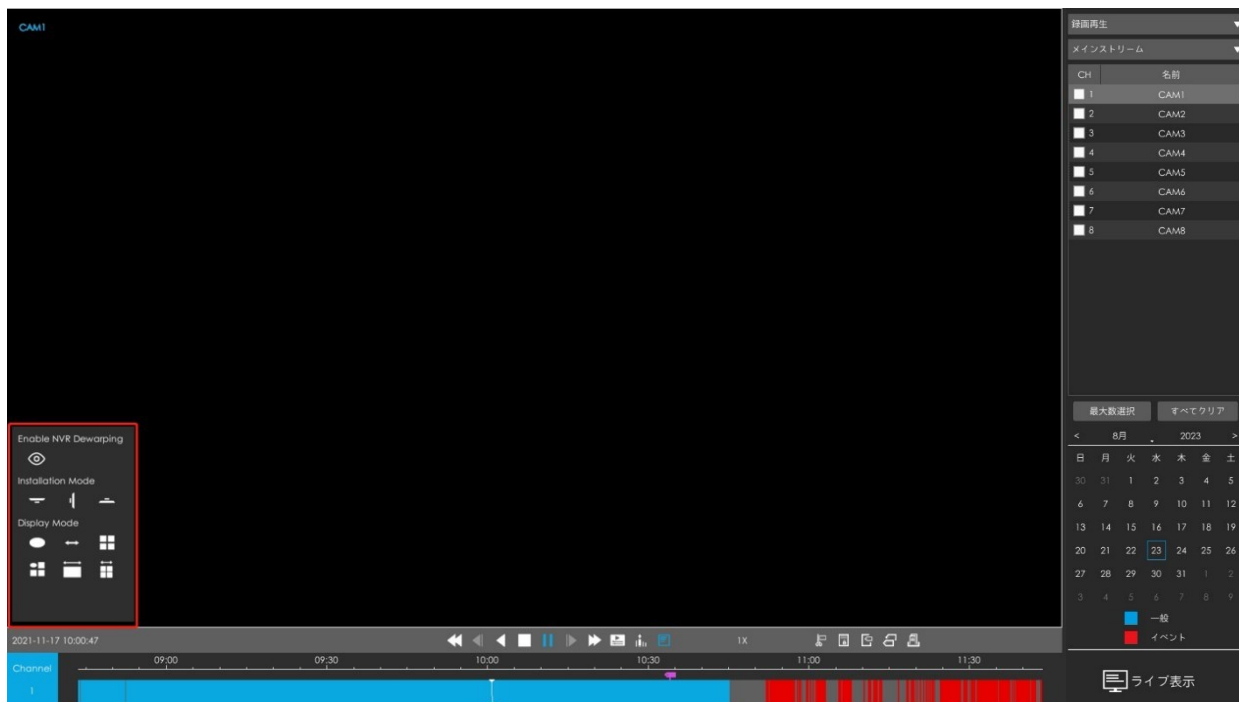
 をクリックすると、歪み補正が終了します。

注

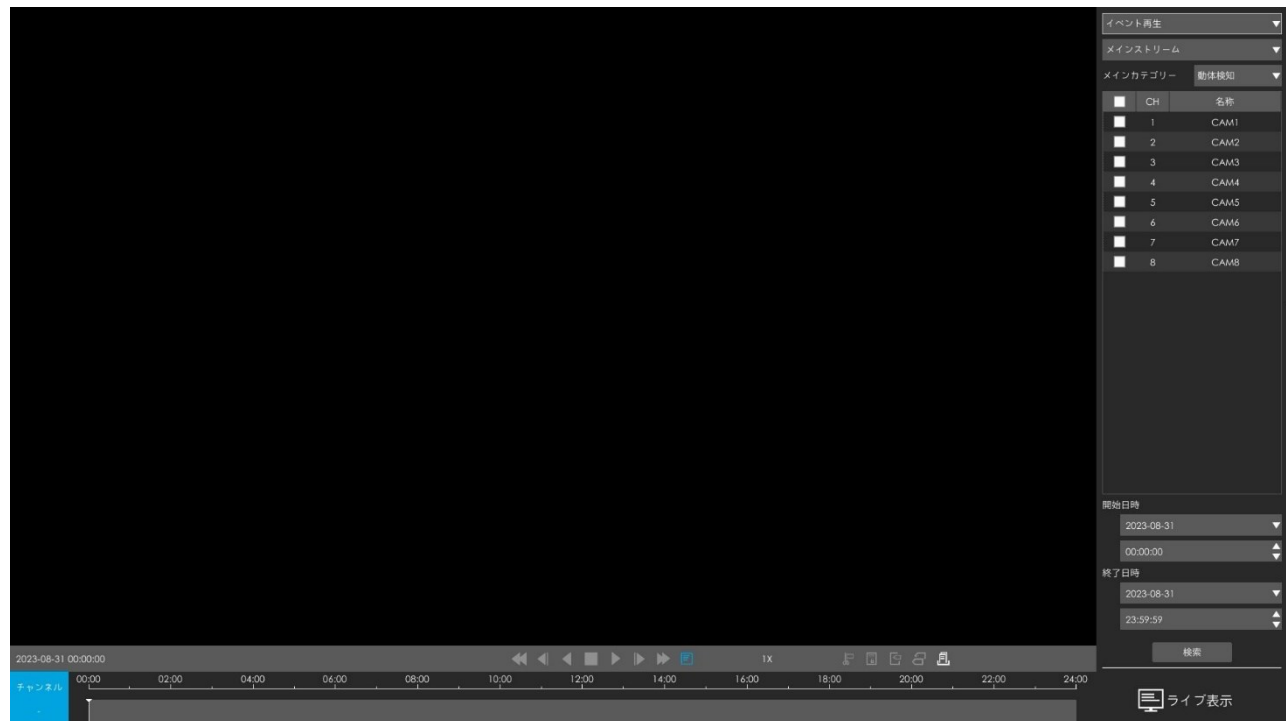
1. NVR側の歪み補正は、サードパーティ製デバイスを含むすべてのデバイスで利用可能です。
2. NVRは1チャンネルの歪み補正のみをサポートします。

設置モード：天井/壁面/テーブル取付

表示モード：10/1P/2P/4R/103R/1P3R



3.1.2 イベント再生



ステップ1：再生タイプに[イベント再生]を選択します。

ステップ2：ストリームタイプ（ストリームの種類）を選択します。
メインストリームとサブストリームがあります。

ステップ3：チャンネルを選択します。

再生したいチャンネルを選択します。選択したチャンネルの量に応じて、再生レイアウトが自動的に調整されます。

ステップ4：イベントの種類を選択します。

特に、物体検出オプションは、メインタイプがVCAで、サブタイプが複数のVCAイベントのうちの一つである場合にのみ利用可能です。を満たす映像を検索し、再生することができます。選択された物体検出に応じて、対応する条件を設定します。物体検出は3つのオプションがあります。[すべて]、[人]、[車両]の3つのオプションがあります。人・車両検知対象機能をサポートする VCA イベントは以下の通りです。

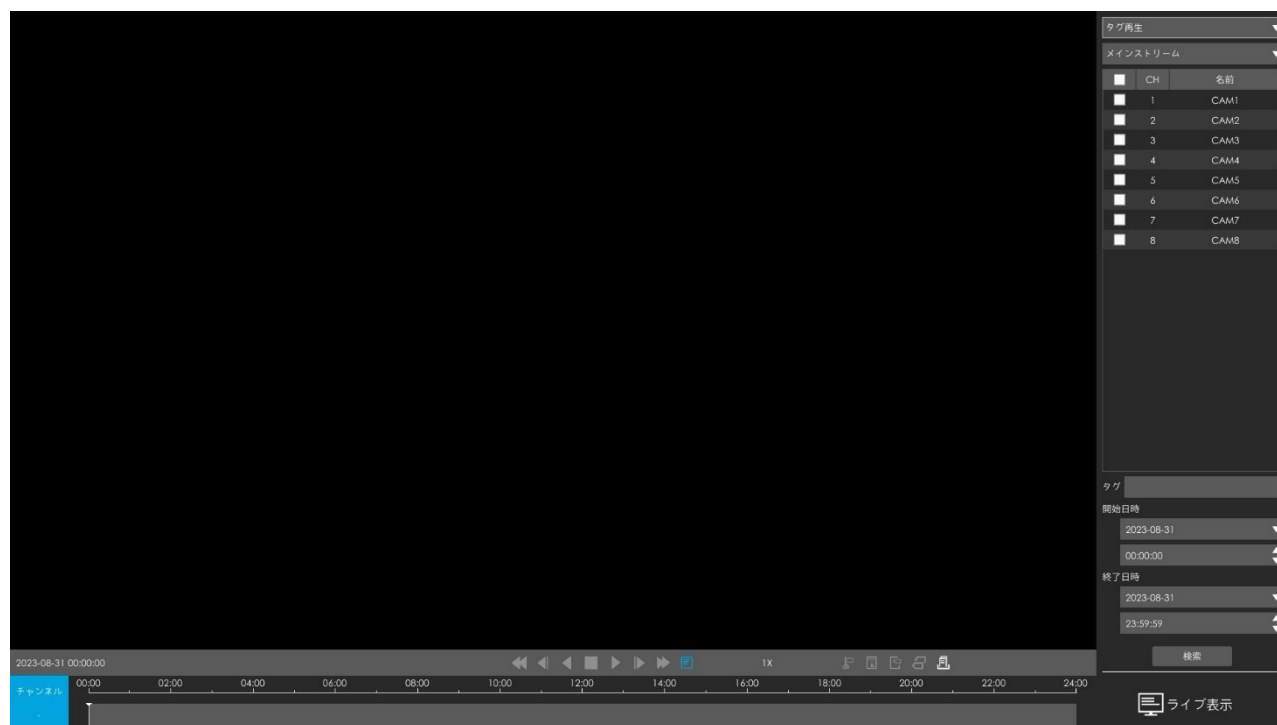
- 侵入検知
- 退出検知
- 高度な動体検知
- ラインクロス検知
- 滞留検知

ステップ5：開始時刻と終了時刻を選択し、[検索]をクリックしてレコードを検索します。

ステップ6：[検索]をクリックした後、すべての動画がリストされます。再生前と再生後の時間を設定し、▶ をクリックしてビデオを再生します。

動画再生ツールバーは、再生バーでロックやタグ付けされていないアイコンを除き、一般再生と同じです。

3.1.3 タグ再生



ステップ1：再生タイプに[タグ再生]を選択します。

ステップ2：ストリームタイプ（ストリームの種類）を選択します。
メインストリームとサブストリームがあります。

ステップ3：チャンネルを選択します。
再生したいチャンネルを選択します。選択したチャンネルの量に応じて、再生レイアウトが自動的に調整されます。

ステップ4：タグ名やタグのキーワードを入力する。

ステップ5：開始時刻と終了時刻を選択します。

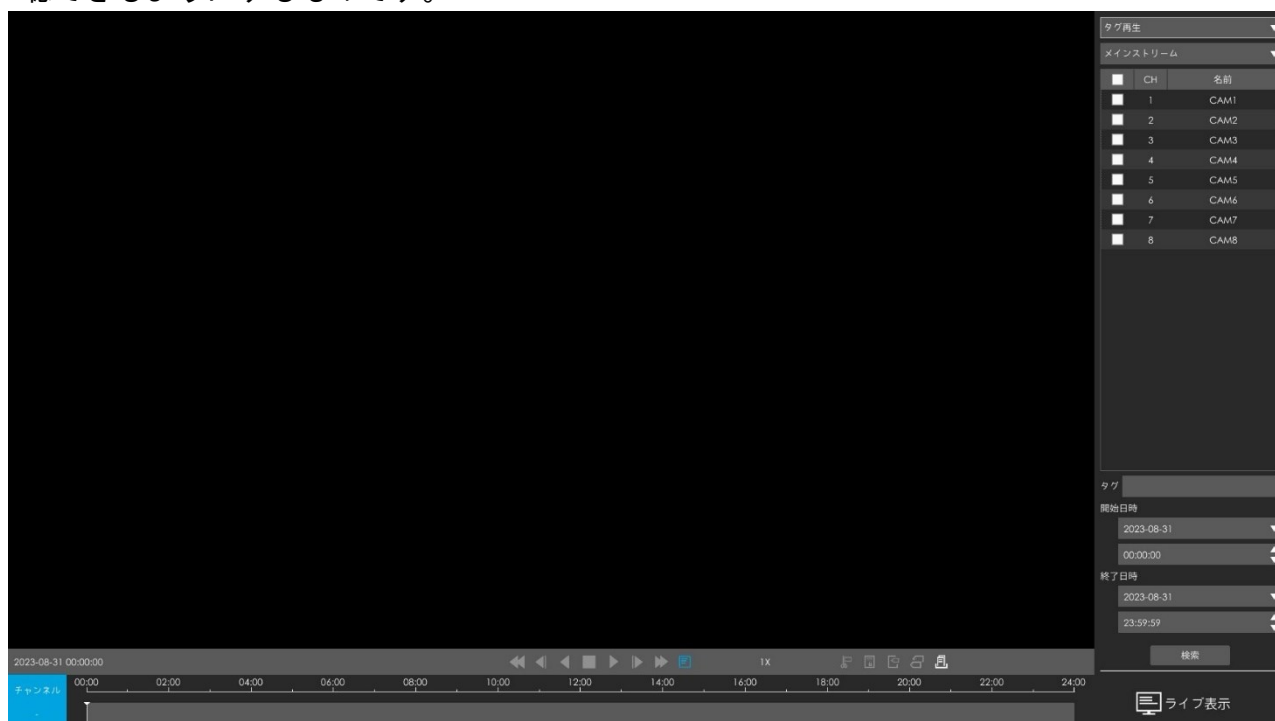
ステップ6:[検索] をクリックすると、タグ付けされた動画がすべてリストアップされます。
再生前と再生後の時間を設定し、▶ をクリックして、タグ付けされたビデオを再生します。



動画再生ツールバーは、再生バーでロックやタグ付けされていないアイコンを除き、一般再生と同じです。

3.1.4 分割再生

分割再生は、ビデオチャンネルを選択し、時間範囲を設定することで、再生視聴時のニーズに合わせてビデオファイルを指定時間帯に分割し、異なる時間のビデオを同時に視聴できるようにするものです。



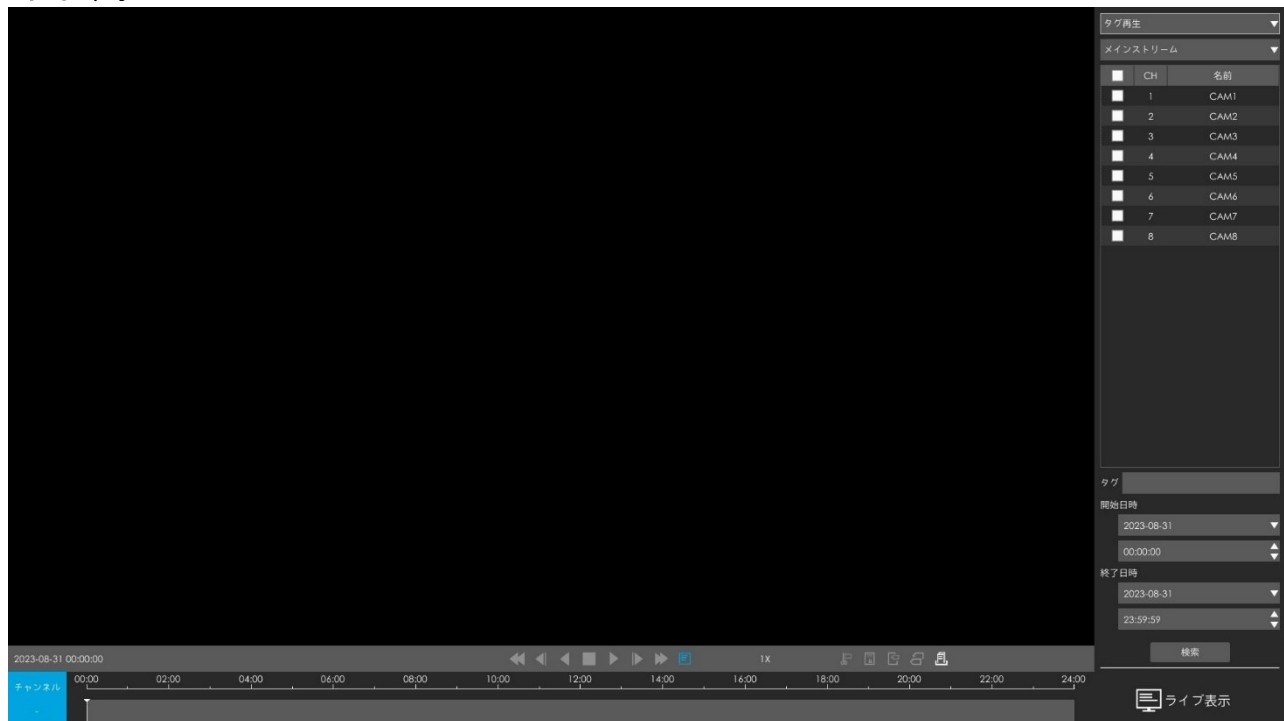
ステップ1：再生方式で[分割再生]を選択します。


ステップ2：ストリームタイプを選択します。
メインストリームとサブストリームがあります。

ステップ3：チャンネルを選択するチャンネルを選択します。
再生したいチャンネルを選択する。一度に選択できるのは、1チャンネルだけです。

ステップ4：開始時刻と終了時刻を設定します。
開始時刻と終了時刻を設定し、[検索]ボタンをクリックすると、選択したチャンネルの再生録画が検索されます。期間は24時間以内です。

ステップ5：[検索]をクリックすると再生が始まり、デフォルトでは4つの分割画面で表示されます。



ステップ6：異なる分割画面数を選択します。
ツールバーの 、4/9/16画面再生に対応します。どれか一つをクリックして、異なるレイアウトに切り替えることができます。選択に従って、ビデオを自動的に分割して再生します。

3.1.5 静止画再生

ステップ1：再生タイプで“静止画再生”を選択します。

ステップ2：チャンネルを選択します。



ステップ3：ライブビュースナップショットなど、スナップショットの種類を選択します。
ライブビュースナップショットおよび再生スナップショットとは、ライブビューおよび再生ページで手動で撮影した画像ファイルのことを指します。

連続スナップショットは、ストレージ→スナップショット→スナップショットスケジュール画面で、連続的なスナップショットのスケジュールを設定する必要があります。

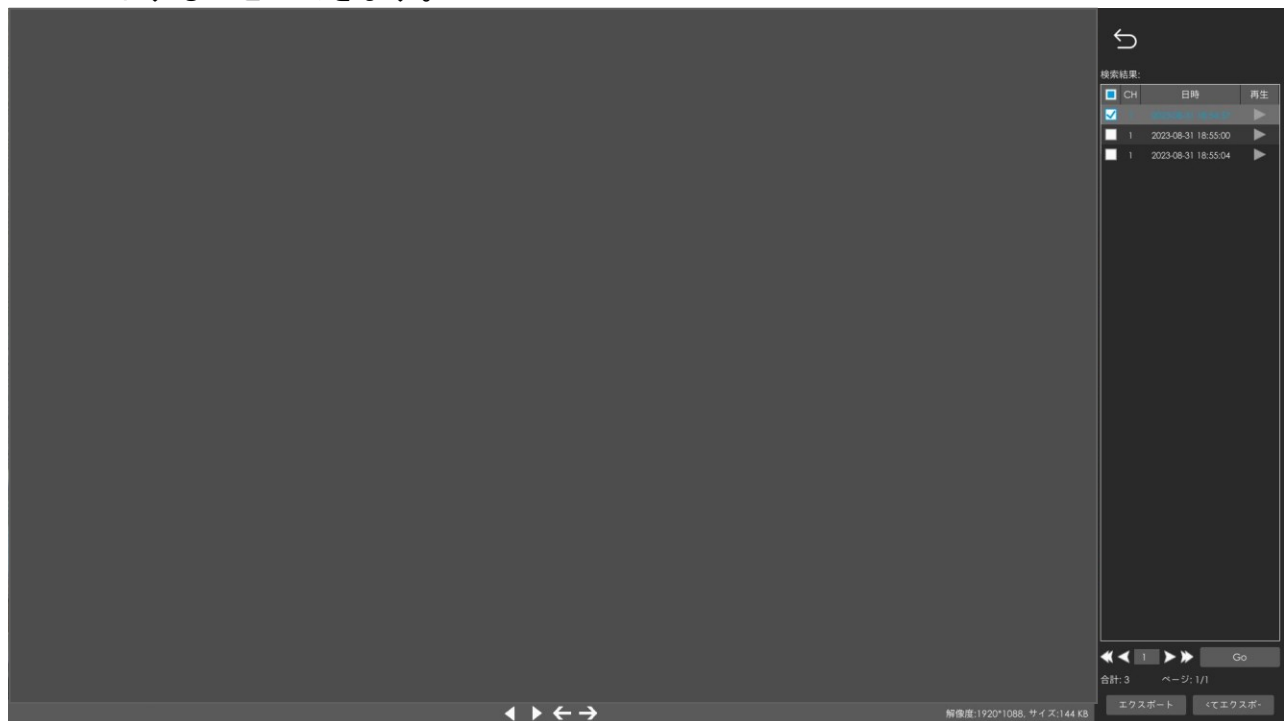
イベントスナップショットには、動体検知、アラーム入力、VCA、スマート分析、オーディオアラームが含まれます。対応するイベントを選択し、[検索]をクリックすると、イベントスナップショット・ファイルを取得できます。


ステップ4：開始時刻と終了時刻を選択します。


ステップ5：[検索]をクリックすると、すべてのスナップショットがリストアップされます。

 をクリックすると選択した画像が再生され、 をクリックすると画像が自動再生されます。

- [エクスポート] または [すべてエクスポート] をクリックすると、画像をエクスポートすることができます。



- エクスポートするファイルパスとスナップショット解像度を選択します。スナップショット解像度には、自動、704*576、640*360 があり、デフォルトでは自動が選択されています。
- [エクスポート] をクリックすると、「ダウンロードの進行状況」パネルでダウンロードの状況を確認するための情報がポップアップ表示されます。
- ダウンロードプロセスパネルで、ファイルのダウンロードプロセスを確認することができます。
-
- すべてのファイルがダウンロードされるまでの所要時間です。 をクリックするとパネル内のダウンロード録画をすべて削除

-  クリックすると、デバイスの状態が表示され、新規フォルダー、フォーマット、リフレッシュという操作を行うことができます。

 注

1. ダウンロードファイルは一度に 10 万個を超えることはできません。
2. 一度にダウンロードできるのは 1 つのファイルのみで、ファイルは順番にダウンロードされます。

表10.


アイコン	説明	アイコン	説明
	逆再生		プレイ
	前の写真		次の写真
	検索インターフェースに戻る		

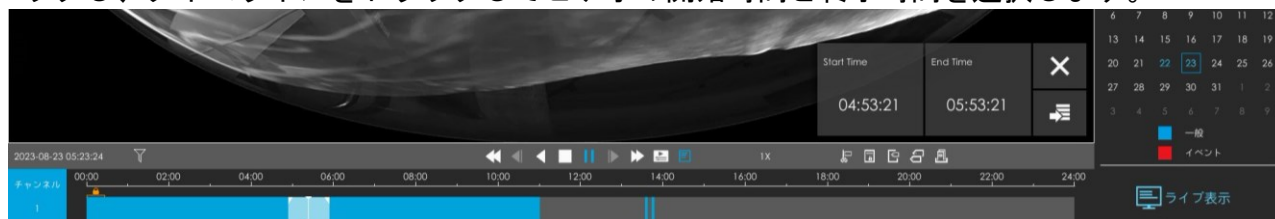
3.1.6 ファイル管理


再生インターフェースを終了するまで、今回行ったすべての操作を一覧表示します。

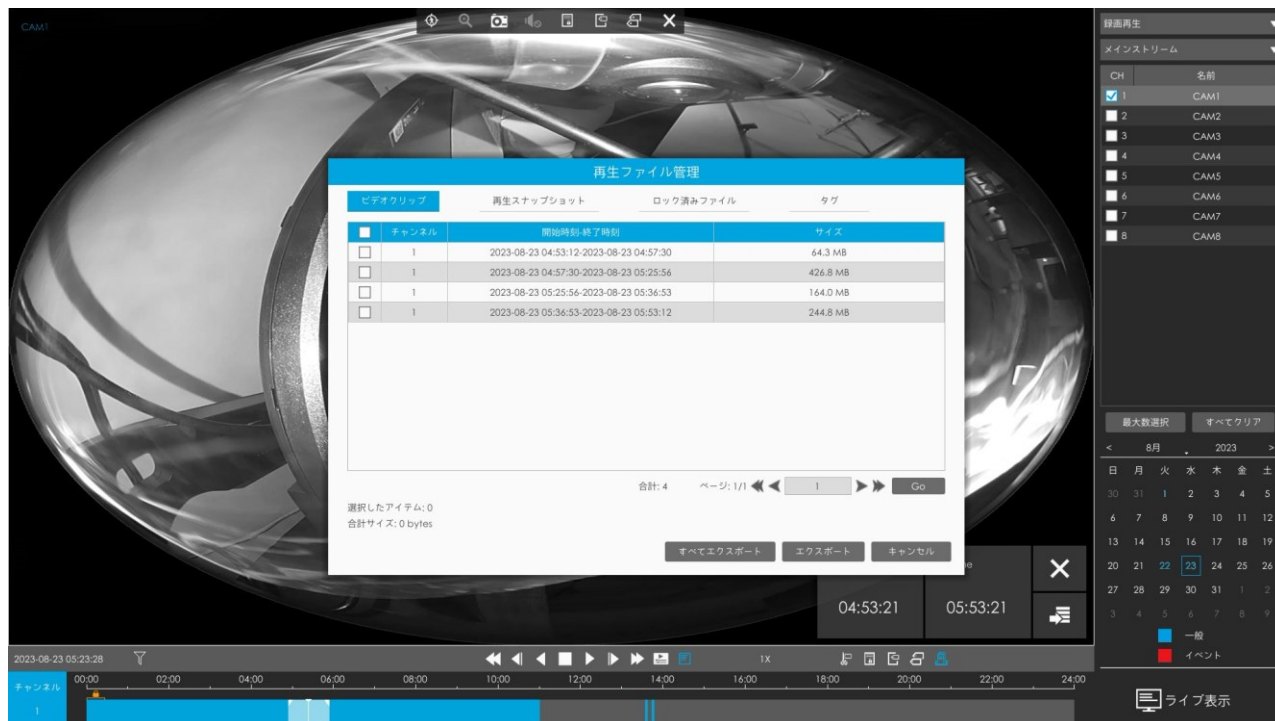
操作には、ビデオのクリップ、スナップショット、ファイルのロック、タグ付けが含まれます。また、クリップしたビデオ、再生したスナップショット、ロックしたファイルを USB ドライブや eSATA にエクスポートすることができます。

ステップ1：録画したファイルをカットします。

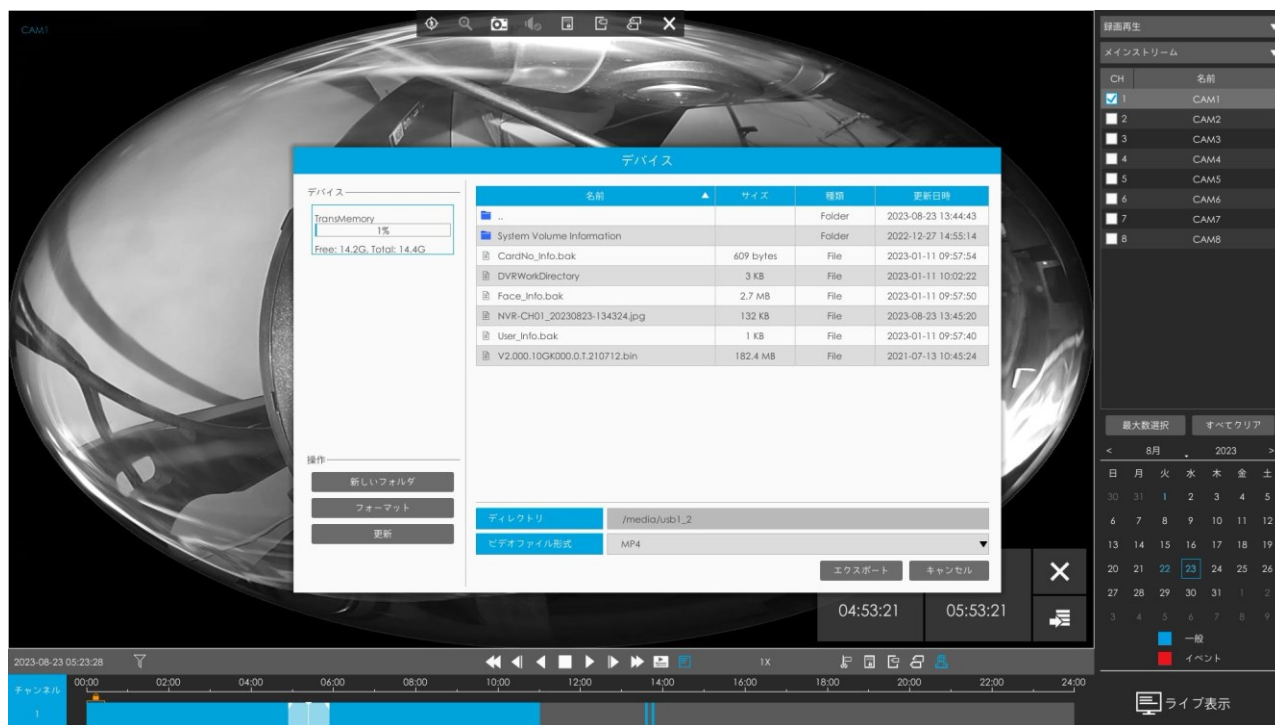
バックアップしたいチャンネルと日付を選択し、タイムラインで時間を選択して  をクリックし、タイムラインをドラッグしてビデオの開始時間と終了時間を選択します。



ステップ2：  をクリックして、ファイル管理画面をポップアップします。クリップした動画を選択し、[エクスポート] をクリックして動画をエクスポートします。



ステップ3: エクスポートされたビデオを保存するデバイスを選択して、[エクスポート] をクリックします。



📌 注: ここで直接、ストレージデバイスのフォーマットと新しいフォルダーを作成することもできます。

ダウンロードの進行状況パネルでダウンロードの状況を確認するための情報をポップアップで表示します。

📌 注: ファイルのダウンロード時間は、バックアップするビデオの時間長によって異なります。

すべてのファイルがダウンロードされるまでの所要時間です。🗑️をクリックするとパネル内のダウンロード録画をすべて削除します。

🔍をクリックすると、デバイスの状態が表示され、新規フォルダー、フォーマット、リフレッシュという操作を行うことができます。

📌 注

- ダウンロードファイルは一度に10万個を超えることはできません。
- 一度にダウンロードできるのは1つのファイルのみで、ファイルは順番にダウンロードされます。

3.2 [表示]バックアップ

3.2.1 普通バックアップ

設定したストリームタイプ、レコードタイプ、ファイルタイプの違いによる録画ファイルの検索をサポートします。

チャンネル	<input type="checkbox"/> All
	<input type="checkbox"/> CAM1 <input type="checkbox"/> CAM2 <input type="checkbox"/> CAM3 <input type="checkbox"/> CAM4 <input type="checkbox"/> CAM5 <input type="checkbox"/> CAM6 <input type="checkbox"/> CAM7 <input type="checkbox"/> CAM8
日時	
ストリームタイプ	メインストリーム
録画タイプ	すべて
ファイルタイプ	すべて
開始日時	2023-08-23 00:00:00
終了日時	2023-08-23 23:59:59

ステップ1：検索条件を設定し、[検索] をクリックして動画を検索します。

検索結果は、[リスト]と[チャート]のいずれかを選択できます。デフォルトの検索結果は、リストとして表示されます。

The screenshot shows the 'バックアップ' (Backup) page. On the left is a navigation menu with '普通バックアップ' (Normal Backup) selected. The main area features a video player for 'チャンネル: 1' (Channel: 1) named 'CAM1'. Below the player are playback controls and metadata: '開始時刻: 2023-08-23 00:00:00', '終了時刻: 2023-08-23 00:26:13', and 'ファイルサイズ: 393.6 MB'. To the right is a 'チャート' (Chart) section displaying a grid of 20 video thumbnails, each with a checkbox and a timestamp. A red box highlights the 'リスト' (List) icon in the top right corner of the chart area. At the bottom right, there are buttons for 'すべてバックアップ' (Backup All), 'バックアップ' (Backup), and '戻る' (Back).

ステップ2 : バックアップしたいファイルを選択し、[バックアップ]。また[すべてバックアップ]をクリックすると、録画したすべてのビデオをバックアップできます。
 一般バックアップ 画面では、ビデオの再生、ロック、ロック解除がサポートされていません。▶ をクリックすると再生され、🔒 をクリックするとロックされます。動画がロックされると、その動画があるファイル全体は上書きされません。

This screenshot shows the same backup interface but with the 'リスト' (List) view selected. The video player is still visible on the left. The main area is dominated by a table listing backup files. The table has columns for 'チャンネル' (Channel), 'ディスク' (Disk), '開始時刻-終了時刻' (Start-End Time), 'サイズ' (Size), '再生' (Play), and 'ロック' (Lock). The table contains 20 rows of data, each representing a video file. At the bottom right, there are buttons for 'すべてバックアップ' (Backup All), 'バックアップ' (Backup), and '戻る' (Back).

チャンネル	ディスク	開始時刻-終了時刻	サイズ	再生	ロック
1	1	2023-08-23 00:00:00-00:26:13	393.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 00:26:13-00:54:40	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 00:54:40-01:05:38	164.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 01:05:38-01:34:03	426.4 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 01:34:03-02:02:30	426.8 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:02:30-02:13:28	164.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:13:28-02:41:53	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:41:53-03:10:20	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:10:20-03:21:16	164.0 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:21:16-03:49:41	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:49:41-04:18:08	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:18:08-04:29:05	163.9 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:29:05-04:57:30	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:57:30-05:25:56	426.8 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 05:25:56-05:36:53	164.0 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 05:36:53-06:05:18	426.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:05:18-06:33:45	427.1 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:33:45-06:44:38	163.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:44:38-07:13:03	427.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:13:03-07:41:30	427.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:41:30-07:52:20	162.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:52:20-08:20:45	427.1 MB	▶	🔒

ステップ3 : MP4、AVIとPS形式を含むエクスポートされる形式を選択して、[エクスポート] をクリックして選択されたファイルをエクスポートします。

バックアップ

CPU 2% メモリ 33%

普通バックアップ

普通バックアップ

イベントバックアップ

画像バックアップ

ライブ表示

デバイス

デバイス

TransMemory
Free: 14.2G, Total: 14.4G

操作

新しいフォルダ

フォーマット

更新

ディレクトリ /media/usb1_2

ビデオファイル形式 MP4

エクスポート キャンセル

名前	サイズ	種類	更新日時	サイズ	再生	ロック
..		Folder	2023-08-23 13:44:43	393.4 MB	▶	🔒
System Volume Information		Folder	2022-12-27 14:55:14	426.7 MB	▶	🔒
CardNo_Info.bak	609 bytes	File	2023-01-11 09:57:54	164.3 MB	▶	🔒
DVRWorkDirectory	3 KB	File	2023-01-11 10:02:22	426.4 MB	▶	🔒
Face_Info.bak	2.7 MB	File	2023-01-11 09:57:50	426.8 MB	▶	🔒
NVR-CH01_20230823-134324.jpg	132 KB	File	2023-08-23 13:45:20	164.3 MB	▶	🔒
NVR-CH01_20230823-045312_E20230823-04...	64.4 MB	File	2023-08-23 13:48:39	426.5 MB	▶	🔒
User_Info.bak	1 KB	File	2023-01-11 09:57:40	163.9 MB	▶	🔒
V2.000.10GK000.0.1.210712.bin	182.4 MB	File	2021-07-13 10:45:24	426.5 MB	▶	🔒
				426.5 MB	▶	🔒
				426.5 MB	▶	🔒
				164.0 MB	▶	🔒
				426.6 MB	▶	🔒
				427.1 MB	▶	🔒
				163.5 MB	▶	🔒
				427.3 MB	▶	🔒
				427.3 MB	▶	🔒
				162.6 MB	▶	🔒
				427.1 MB	▶	🔒

秘密量: 9.92 GB 選択容量: 393.6 MB

合計: 32 ページ: 1/1

Go

すべてバックアップ バックアップ 戻る

ダウンロードプロセスパネルでは、すべてのファイルのダウンロードに必要な残り時間など、ファイルのダウンロードプロセスを確認することができます。🔒をクリックすると、パネル内のすべてのダウンロード記録が削除されます。

🔒をクリックすると、デバイスの状態が表示され、新規フォルダ、フォーマット、リフレッシュという操作を行うことができます。

📌 注

- ダウンロードファイルは一度に10万個を超えることはできません。
- 一度にダウンロードできるのは1つのファイルのみで、ファイルは順番にダウンロードされます。

3.2.2 イベントのバックアップ

イベントタイプに応じた画像や映像の検索とバックアップをサポートします。イベントタイプには、動体検知、アラーム入力、VCA、スマート分析、オーディオアラームがあります。

バックアップ

CPU 0% メモリ 26%

イベントバックアップ

メインカテゴリ	動体検知	
ストリームタイプ	メインストリーム	
開始日時	2023-08-23	00:00:00
終了日時	2023-08-23	23:59:59
プレ再生	0x	
ポスト再生	10x	
チャンネル	<input type="checkbox"/> All	
	<input type="checkbox"/> CAM1	<input type="checkbox"/> CAM2
	<input type="checkbox"/> CAM3	<input type="checkbox"/> CAM4
	<input type="checkbox"/> CAM5	<input type="checkbox"/> CAM6
	<input type="checkbox"/> CAM7	<input type="checkbox"/> CAM8

ライブ表示

検索 戻る

特に、メインタイプがVCAでサブタイプが複数のVCAイベントのうちの一つである場合にのみ、イベントバックアップ画面で物体検知オプションが利用可能です。選択した物体検知に従って、対応する条件を満たした結果を検索し、バックアップすることができます。物体検知には3つのオプションがあります。[すべて]、[人]、[車両]の3つのオプションがあります。


人・車両検知対象機能をサポートする VCA イベントは以下の通りである。

- 侵入検知
- 退出検知
- 高度な動体検知
- ラインクロス検知
- 滞留検知

ステップ1：検索条件を設定し、[検索]ボタンをクリックすると、動画が検索されます。
検索結果は、[リスト]と[チャート]のいずれかを選択できます。デフォルトの検索結果は、リストとして表示されます。



ステップ2: バックアップしたいファイルを選択し、[バックアップ]をクリックします。また、[すべてバックアップ]をクリックして、すべての録画されたビデオをバックアップすることもできます。

イベントバックアップの画面で、 をクリックして動画を再生することができます。



ステップ3: エクスポートする形式を選択します。MP4、AVIとPS形式が含まれ、[エクスポート] [バックアップ]をクリックして、選択されたファイルをエクスポートします。

ダウンロードプロセスパネルでは、すべてのファイルのダウンロードに必要な残り時間など、

ファイルのダウンロードプロセスを確認することができます。🗑️をクリックすると、パネル内のすべてのダウンロード記録が削除されます。

🔍をクリックすると、デバイスの状態が表示され、新規フォルダー、フォーマット、リフレッシュという操作を行うことができます。

📌 注

- ダウンロードファイルは一度に10万個を超えることはできません。
- 一度にダウンロードできるのは1つのファイルのみで、ファイルは順番にダウンロードされます。

3.2.3 画像バックアップ

画像タイプに応じた画像の検索とバックアップをサポートします。画像タイプは、すべて、ライブビュースナップショット、再生スナップショット、連続スナップショット、イベントスナップショットがあります。



The screenshot shows a web interface for 'Backup' (バックアップ) with a sub-section for 'Image Backup' (画像バックアップ). The interface includes a sidebar with navigation options: '普通バックアップ' (Normal Backup), 'イベントバックアップ' (Event Backup), and '画像バックアップ' (Image Backup). The main content area has search filters for 'Image Type' (画像タイプ) set to 'すべて' (All), 'Start Time' (開始日時) set to '2023-08-23', and 'End Time' (終了日時) set to '2023-08-23'. Under 'Channels' (チャンネル), there are checkboxes for 'All' and cameras 'CAM1' through 'CAM8'. A '検索' (Search) button and a '戻り' (Back) button are visible at the bottom right. The top right corner shows system status: CPU 5% and Memory 27%.

ステップ1: 検索条件を設定し、[検索]ボタンをクリックすると、動画が検索されます。

ステップ2: バックアップしたいファイルを選択し、[バックアップ]をクリックします。また、[すべてバックアップ]をクリックすると、録画したすべてのビデオをバックアップすることができます。

バックアップ

CPU 0% メモリ 30%

普通バックアップ

イベントバックアップ

画像バックアップ

ライブ表示

普通バックアップ

チャンネル: 1 名称: CAM1

2023-08-23 00:00:00

開始時刻: 2023-08-23 00:00:00
終了時刻: 2023-08-23 00:26:13
ファイルサイズ: 393.6 MB

チャンネル	ディスク	開始時刻-終了時刻	サイズ	再生	ロック
1	1	2023-08-23 00:00:00-00:26:13	393.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 00:26:13-00:54:40	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 00:54:40-01:05:38	164.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 01:05:38-01:34:03	426.4 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 01:34:03-02:02:30	426.8 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:02:30-02:13:28	164.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:13:28-02:41:53	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 02:41:53-03:10:20	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:10:20-03:21:16	164.0 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:21:16-03:49:41	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 03:49:41-04:18:08	426.7 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:18:08-04:29:05	163.9 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:29:05-04:57:30	426.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 04:57:30-05:25:54	426.8 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 05:25:54-05:36:53	164.0 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 05:36:53-06:05:18	426.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:05:18-06:33:45	427.1 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:33:45-06:44:38	163.5 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 06:44:38-07:13:03	427.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:13:03-07:41:30	427.3 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:41:30-07:52:20	162.6 MB	▶	🔒
1	1	2023-08-23 07:52:20-08:20:45	427.1 MB	▶	🔒

総容量: 9.92 GB 合計: 32 ページ: 1/1

マテバックアップ バックアップ 戻る

ステップ3: 自動、704*576、640*360などのスナップショット解像度を選択し、[エクスポート]をクリックして、選択したスナップショットをエクスポートします。

バックアップ

CPU 2% メモリ 33%

普通バックアップ

イベントバックアップ

画像バックアップ

ライブ表示

普通バックアップ

デバイス

TransMemory
Free: 14.2G, Total: 14.4G

操作
新しいフォルダ
フォーマット
更新

名前	サイズ	種類	更新日時	サイズ	再生	ロック
..		Folder	2023-08-23 13:44:43	393.6 MB	▶	🔒
System Volume Information		Folder	2022-12-27 14:55:14	164.3 MB	▶	🔒
CardNo_Info.bak	609 bytes	File	2023-01-11 09:57:54	426.4 MB	▶	🔒
DVRWorkDirectory	3 KB	File	2023-01-11 10:02:22	426.8 MB	▶	🔒
Face_Info.bak	2.7 MB	File	2023-01-11 09:57:50	164.3 MB	▶	🔒
NVR-CH01_20230823-134324.jpg	132 KB	File	2023-08-23 13:45:20	426.5 MB	▶	🔒
NVR-CH01_S20230823-045312_E20230823-04...	64.4 MB	File	2023-08-23 13:48:39	426.7 MB	▶	🔒
User_Info.bak	1 KB	File	2023-01-11 09:57:40	164.0 MB	▶	🔒
V2.000.10GK000.0.T.210712.bin	182.4 MB	File	2021-07-13 10:45:24	426.5 MB	▶	🔒
				426.7 MB	▶	🔒
				163.9 MB	▶	🔒
				426.5 MB	▶	🔒
				426.8 MB	▶	🔒
				164.0 MB	▶	🔒
				426.6 MB	▶	🔒
				427.1 MB	▶	🔒
				163.5 MB	▶	🔒
				427.3 MB	▶	🔒
				427.3 MB	▶	🔒
				162.6 MB	▶	🔒
				427.1 MB	▶	🔒

総容量: 9.92 GB 選択容量: 393.6 MB 合計: 32 ページ: 1/1

マテバックアップ バックアップ 戻る

ダウンロードプロセスパネルでは、すべてのファイルのダウンロードに必要な残り時間など、ファイルのダウンロードプロセスを確認することができます。🗑️をクリックすると、パネル内のすべてのダウンロード記録が削除されます。

🗑️をクリックすると、デバイスの状態が表示され、新規フォルダー、フォーマット、リフレッ

シュという操作を行うことができます。

注

- ダウンロードファイルは一度に10万個を超えることはできません。
- 一度にダウンロードできるのは1つのファイルのみで、ファイルは順番にダウンロードされます。

3.3 [表示]スマート分析

ANPRログ、顔検出結果、人数カウント結果、ヒートマップ結果をページ内で取得できるほか、ANPR、顔検出、人数カウント、ヒートマップの設定も可能です。

3.3.1 分析検索

3.3.1.1 ANPR

ANPRログの検索とバックアップができます。

対応する情報を入力し、[検索] をクリックします。全体のANPRログのリストが表示します。ナンバープレートスナップショットは、ログリストに表示され、完全なイメージビデオとナンバープレート情報は、ページの左側に表示されます。ナンバープレートタイプオプションは、ユーザーが迅速にナンバープレートタイプに応じてブラックリスト、ホワイトリストと訪問者をフィルタリングするために便利です。また、プレートの色、車両の種類、車両の色、車両の速度と方向によってANPRの結果をフィルタリングすることができます。

▶ をクリックすると動画が再生されます。

ANPRログのバックアップには、2つの方法があります。

・希望のナンバープレートをバックアップ

ステップ1: バックアップしたいライセンスプレートにチェックを入れ、[バックアップ]をクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類、ビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

すべてバックアップ


ステップ1: [すべてバックアップ]ボタンをクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類とビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

3.3.1.2 顔検出 (Face Detection)

顔検出の結果を検索・バックアップすることができます。

該当する情報を入力し、[検索]をクリックして検索すると、顔検出の結果が表示されます。結果一覧には顔のスナップショットが表示され、ページの左側には完全な画像ビデオと顔の属性情報が表示されます。顔検出の結果は、年齢、性別、眼鏡、マスク、帽子などの顔属性でフィルタリングすることができます。

 クリックすると動画が再生

顔検出結果のバックアップには、2つの方法があります。

顔検出のログをバックアップする。

ステップ1: バックアップしたい顔検出結果にチェックを入れ、[バックアップ]をクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類、ビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

すべてバックアップ

ステップ1: [すべてバックアップ]ボタンをクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類とビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

3.3.1.3 人数カウント

人数カウントの結果を検索・バックアップすることができます。

スマート分析

CPU 6% メモリ 27%

人数カウント

検索タイプ: People Counting by Camera

チャンネル: All CAM1 CAM2 CAM3 CAM4 CAM5 CAM6 CAM7 CAM8

Line: All Total Line 1 Line 2 Line 3 Line 4

レポートタイプ: 日次レポート

統計タイプ: 入場人数

開始時間: 2023-08-23 00:00:00

検索 戻る

ステップ1：検索条件を入力する。

- 検索タイプ：カメラ別人数カウント、グループ別人数カウント、リージョナル人数カウントなど、最初に検索の種類を選択します。

(1) [カメラで人数カウント (People Counting by Camera)] を選択する。

- チャンネル：対応するチャンネルを確認します。多チャンネルレポートの同時検索に対応しています。
- Line：検出ラインを確認します。マルチチャンネルレポートの同時検索に対応しています。
- レポートタイプ：日報、週報、月報、年報があります。
- 統計タイプ：入場人数、退場人数、合計を表示できます。
- 開始時間：検索を開始する時刻を入力します。

(2) [グループ別人数カウント (People Counting by Group)] を選択する。

- グループ：グループを選択します。
- レポートタイプ：日報、週報、月報、年報があります。

- 統計タイプ：入場人数、退場人数、合計を表示できます。
- 開始時間：検索を開始する時刻を入力します。

(3) [リージョナル人数表示 (Regional People Counting)] を選択する。

- チャンネル：対応するチャンネルを確認します。多チャンネルレポートの同時検索に対応しています。
- リージョン (Region)：検出エリアを確認します。複数エリアのレポートの同時検索に対応しています。
- 滞在期間 (Length of Stay)：滞在期間を選択します。
- レポートタイプ：日報、週報、月報、年報があります。
- 開始時間：検索を開始する時刻を入力します。

ステップ2: [検索] をクリックすると、対応する結果が表示されます。
 ステップ3: 人数カウントの結果をバックアップします。

(1) 必要なグループをバックアップする。

ステップ1: バックアップしたいグループを選択し、バックアップをクリックします。
 ステップ2: ファイル形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Smart Analysis' (スマート分析) interface. The main menu on the left includes 'Analysis Search' (分析検索), 'ANPR', 'Face Detection', '人数カウント' (highlighted), 'Heatmap' (ヒートマップ), 'POS', and 'Analysis Settings' (分析設定). The top right shows system status: CPU 3%, Memory 31%. The main area is titled '人数カウント' (People Counting). A 'デバイス' (Device) dialog box is open, showing a file list with columns for Name, Size, Type, and Update Time. The file format is set to 'CSV'. The background features a grid for '入場人数' (Entry Count) over a 24-hour period.

名前	サイズ	種類	更新日時
..		Folder	2023-08-23 13:44:43
System Volume Information		Folder	2022-12-27 14:55:14
CardNo_Info.bak	609 bytes	File	2023-01-11 09:57:54
DVRWorkDirectory	3 KB	File	2023-01-11 10:02:22
Face_Info.bak	2.7 MB	File	2023-01-11 09:57:50
NVR-CH01_20230823-134324.jpg	132 KB	File	2023-08-23 13:45:20
NVR-CH01_S20230823-045312_E20230823-04...	64.4 MB	File	2023-08-23 13:48:38
User_Info.bak	1 KB	File	2023-01-11 09:57:40
V2.000.10Gx000.0.1.210712.bin	182.4 MB	File	2021-07-13 10:45:24

(2) すべてをバックアップする。

ステップ1: [すべてバックアップ]をクリックします。

ステップ2: ファイル形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

3.3.1.4 ヒートマップ

ヒートマップの結果を検索したり、エクスポートしたりすることができます。

スマート分析

CPU 9% メモリ 27%

ヒートマップ

Report Auto Backup Settings

チャンネル: 1 名称: CAM1

ヒートマップ 有効

閾値 5

最小オブジェクトサイズ 10

最小滞留時間 30 1-300 秒

シーン変更の適応性 5

地域 すべて選択 すべて削除

Heatmap Schedule 編集

コピー 適用 戻る

ステップ1: 検索条件を入力します。

ステップ2: 対応するチャンネルを確認します。

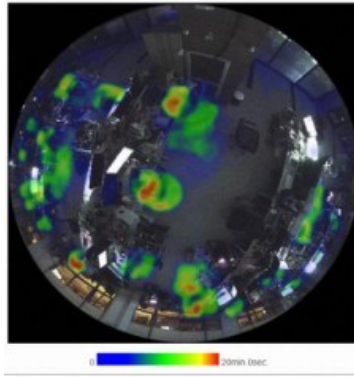
多チャンネルレポートの同時検索に対応しています。

ステップ3: [メインタイプ]を選択します。

スペースヒートマップと時間ヒートマップがあります。

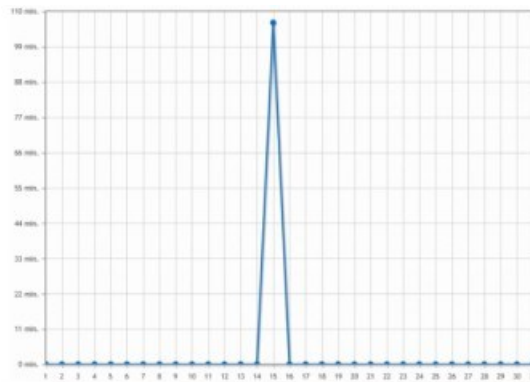
(1) スペースヒートマップ

スペースヒートマップは、異なる色の画像として表示されます。色の違いは、熱量の違いを表しています。赤は最も高く、青は最も低いことを表しています。



(2) タイムヒートマップ

時間ヒートマップは、時間帯別の熱量を折れ線グラフで表示します。



ステップ4: レポートの種類を選択します。日報、週報、月報、年報があります。

ステップ5: 検索したい時刻を入力します。

ステップ6: [検索] をクリックすると対応する結果が得られ、[エクスポート] をクリックするとそれをエクスポートすることができます。

3.3.1.5 POS

POSの結果を検索し、バックアップすることができます。

スマート分析

CPU 2% メモリ 27%

POS

POS No. 1

POS 無効

POS Name POS 1

POS Protocol General

Connection Mode TCP

Connection Mode Settings 編集

Live View Display 有効

Display Channel チャンネルを選択

Display Region リセット

Character Encoding Unicode (UTF-8)

Font Size Medium

Font Color 黒

Overlay Mode Page

Display Time 5 5~360s

Timeout 5 5~360s

Privacy Settings 編集

有効期限 編集

アクション 編集

Please configure record channel in Action interface if needed.

適用 戻る

ステップ1：検索条件を入力する。

- POS No.：最初にPOS番号を選択します。
- POSコンテンツ：検索したいPOS情報のキーワードを入力します。
- 開始時刻：検索したい開始時刻を入力します。
- 終了時刻：検索したい終了時刻を入力します。

ステップ2：[検索]をクリックすると、対応する結果が表示されます。

POSの結果をバックアップする方法は2つあります。

必要なPOS情報をバックアップする。

ステップ1: バックアップしたいPOS情報にチェックを入れ、[バックアップ]をクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類とビデオファイルの形式を選択して、エクスポートボタンをクリックします。

すべてバックアップ

ステップ1: [すべてバックアップ]ボタンをクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類とビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。

3.3.2 分析設定

3.3.2.1 ANPR

ANPRの設定には、[設定][管理リスト][ブラックリストモード][ホワイトリストモード][ビジターモード]があります。ANPR機能を使用する際の注意点を説明します。

注

- 利用可能なHDDをNVRに挿入します。
- 対応するファームウェアのバージョンにアップグレードしてください。
 - カメラV4X. 7. 0. 72-r16以上
 - NVR: V7X. 9. 0. 7-r7またはそれ以上
- カメラとNVRの両方がLPR/AMPR機能をサポートしていることを確認します。NVRでは最大16のAMPRチャンネルがサポートされています。

NVRがナンバープレート情報を取得できることを確認します。ポストタイプとしてデフォルトのモードであるTCPを設定してください。これは、カメラウェブページ → LPR → 設定 → 一般画面で設定することができます。

設定

ANPR 機能を有効にするには、次の 5 つのステップを実行します。カメラがナンバープレートを検出し、NVRがナンバープレート情報の受信を開始します。

チャンネル	設定
<input type="checkbox"/> All	
<input type="checkbox"/> CAM1	
<input type="checkbox"/> CAM2	
<input type="checkbox"/> CAM3	
<input type="checkbox"/> CAM4	
<input type="checkbox"/> CAM5	
<input type="checkbox"/> CAM6	
<input type="checkbox"/> CAM7	
<input type="checkbox"/> CAM8	
ナンバープレートタイプ	すべて
ナンバープレート	
Plate Color	すべて
Vehicle Type	すべて
Vehicle Color	すべて
Vehicle Speed	すべて
方向	すべて
開始日時	2023-08-23 00:00:00
終了日時	2023-08-23 23:59:59

ステップ 1: チャンネルを選択し、ANPR 機能を有効にします。

- ライセンス: カメラにデータが蓄積されます。
- ライセンスステータス: 有効、無効、期限切れ、非活性化など、現在のライセンスステ


ータスを表示します。

ステップ2：処理解像度を選択します。

検出する距離が遠いほど、高い解像度が必要です。デフォルトでは1280*720です。

ステップ3: LPRナイトモード を有効にしてから、LPRナイトモード有効時間 を設定します。

2つのオプションが利用可能です。カスタマイズと自動です。[自動]オプションは、昼と夜の自動切り替えをサポートします。

 **注**：LPRナイトモード有効時間の自動オプションが利用できるように、カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であることを確認してください。

ステップ4：ANPR機能有効時間を設定します。


ステップ5：検出トリガー、信頼度、ナンバープレートフォーマット、リピートプレートチェックタイム、特徴識別を含む検出パラメータを設定します。

検出トリガー：常時とカメラアラーム入力を選択できます。カメラアラーム入力を選択した場合、アラーム入力トリガーされたときのみ、情報を検出します。

Confidence Level（信頼度）：Confidence Levelを設定することができ、レベルが高いほど、より正確に識別することができます。

リピート・プレート・チェックタイム：設定した時間内に同じナンバー・プレートの情報がNVRに受信されることはありません。

ナンバープレート形式：ナンバープレート形式を設定すると、設定した数と形式のナンバープレートを選別し、認識精度を向上させることができます。

-  をクリックして、ナンバープレート形式を追加します。
- License Plate Character Count (1~9) を選択します。
- 検出したいナンバープレート形式を記入してください。AはLetters、1はNumber、*はUnrestricted Typeを表します。

正しい文字数の結果のみをプッシュする

検出されたライセンスのカウントが設定と一致しない場合、自動的に文字を補完または削減して正しい文字カウント結果をプッシュします。

注

1. カメラのVersionが4X.7.0.74以上であることを確認してください。
2. 最大で8つのルールを追加することができます。

特徴の識別：選択された特徴の識別は ANPR のログの画面に表示されます。

ステップ6: 検出された ROI エリアを設定します(最大 4 エリアまで)。

ナンバープレートはROIエリアでのみ検出されます。

リスト管理

NVR ANPRシステム用のナンバープレート・リストを作成します。ナンバープレートをアップロードし、異なるライセンス・タイプで設定することができます。最大で10000のプレートを追加できます。

ナンバープレートを追加する方法は2つあります。

一つずつ追加していく

ステップ1: 追加ボタン[追加]をクリックします。

ステップ2: ナンバープレートを入力し、ライセンスタイプを選択します。

ステップ3: [OK]をクリックすると、ナンバープレートがリストに追加されます。

テンプレートのインポートによる一括追加

ステップ1: [テンプレートダウンロード] をクリックして、USBデバイスフォルダを選択し、OKをクリックして、テンプレートをダウンロードします。

ステップ2: テンプレートにあるように、すべての免許証の種類とナンバープレートを入力します。

ステップ3: [インポート]をクリックして、ファイルを選択し、OKをクリックして、すべてのナンバープレートをリストに追加します。

ブラックリストモード/ホワイトリストモード/ビジターモード

2つのライセンスタイプに基づき、より良いイベント管理のための3つのモードを提供します。

- ブラックリストモード: ブラックリストに登録されたナンバープレートのイベントを管理します。
- ホワイトリストモード: ホワイトリストに登録されたナンバープレートに対してイベントを管理します。
- ビジターモード: ライセンスタイプを持たないナンバープレートに対してのイベントを管理します。

ステップ1: ブラックリストモード/ホワイトリストモード/ビジターモードを必要に応じて有効化します。

ステップ2: 有効時間を設定します。つまり、その時間内はモードが動作することになります。

ステップ3: 警告音、電子メール通知、ポップアップ通知、PTZ動作、アラーム出力、ホワイトLED、トリガーチャンネル録画などのアクションを設定します。

- 音声通知：イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。次の2つの方法で効果的なスケジュールを設定できます。

1. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を指定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

- オーディオファイル：可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビーブ音です。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。

- 電子メール・通知：NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 添付画像：メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。
- ポップアップ通知：アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定]→[一般]→[デバイス]→[ポップアップ通知時間]でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継続時間通りに表示されます。

1. 操作の種類、ポップアップ通知と消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。

- PTZ動作：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。
以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。
- No: プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力：アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。

以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- クリックすると、ホワイトLEDを追加できます。
- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- フラッシュモード：点滅と常時があります。

- フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。Flash Modeが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。Flash Modeが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。
- その他：アラーム発生時に選択したチャンネルをトリガーして録画します。

注

1. リストはNVR専用で、追加したすべてのLPRカメラと連動します。カメラ側のリストと同期することはありません。
2. これらのモードを有効にし、対応するモードの有効時間と録画動作を設定し、ナンバープレートが検出されたときにリアルタイムのビデオを取得できるようにすることを忘れないでください（有効時間と録画動作はデフォルトで有効になっています）。

3.3.2.3 顔検出

顔検出の設定は、[顔キャプチャ]と[詳細設定]で構成されています。ここでは、顔検出機能を使用する際の注意点を説明します。

注

1. NVRに利用可能なHDDがあること、正しい録画設定がされていることを確認し、ライブビューで録画を確認できるようにします。
2. NVRが顔情報を取得できることを確認します。ポストタイプとしてデフォルトのモードであるTCPを設定してください。[IPカメラWEBページ → イベント → 顔検出 → 顔キャプチャ画面]で設定することができます。

顔キャプチャー(Face Capture)

ステップ1：チャンネルを選択し、顔検出機能を有効にします。

ステップ2：最小検知サイズを設定します。

ステップ3：検出エリアまたはシールドエリアを設定し、直接画面上にポリゴンエリアを描くことができます。

[すべて選択]または[すべて削除]をクリックして、エリア全体を選択または削除することもできます。検出エリア内の面のみが検出され、シールドエリア内の面は検出されません。

ステップ4：顔キャプチャスナップショットの設定を行います。

キャプチャモード：画質重視、フレーム重視、カスタマイズが可能です。


- 画質重視。このモードでは、顔が検出されたときに、最も良い画質の顔スナップショットをプッシュします。
- フレーム重視。顔検出時に最短時間で顔スナップショットをプッシュするモードです。
- カスタマイズスナップショット間隔、斜め顔角度制限、ピッチング顔角度制限、横顔角度制限、ぼかし制限など、検出条件をカスタマイズできるモードです。

注：画質重視モードを選択することをお勧めします。

ターゲットスナップショットタイプ：顔のみ、上半身、全身を選択可能です。

- ・顔だけ顔のみのスナップショットを撮影します。
- ・上半身のスナップショットを撮影します。
- ・ホールボディ全身のスナップショットを撮影します。

[背景]にチェックを入れると、画像全体のスナップショットをもう一枚撮影します。

 **注：** [背景]オプションのチェックの有無にかかわらず、カメラは画像全体を NVR 側にプッシュします。

- ・ スナップショット間隔：80ミリ秒、200ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2秒、4秒が選択可能です。このオプションは、Customizeモードではオプションです。
- ・ Oblique Face Angle Limit: 斜めの顔の角度制限を 1~180 に設定します。値が大きいほど、検出可能な斜めの顔の角度が大きくなります。このオプションは、カスタマイズモードではオプションです。
- ・ Pitching Face Angle Limit: Pitching Face Angle Limit を 1~180 で設定します。値が大きいほど、検出可能なピッチング顔の角度が大きくなります。カスタマイズモードでは、このオプションはオプションです。
- ・ Side Face Angle Limit: Side Face Angle Limit を 1~180 に設定します。値が大きいほど、検出可能な側面の角度が大きくなります。このオプションはカスタマイズモードではオプションです。
- ・ Blur Limit: Blur Limitを1~10で設定します。値を大きくすると、よりぼやけた顔を検出することができます。このオプションは、カスタマイズモードではオプションです。
- ・ スナップショット:スナップショットの枚数を1~5枚に設定し、設定したスナップショット間隔に基づきスナップショットを撮影します。

ステップ5：顔検出機能の有効時間を設定します。

ステップ6：警告音、電子メール通知、ポップアップ通知、PTZ動作、アラーム出力、ホワイトLED、トリガーチャンネル録画などのアクションを設定します。

アドバンスト

ここでは、属性認識を有効にし、検出する属性を設定することができます。または、顔検出の[顔プライバシーモード]を有効にします。

- ・ 属性の認識設定：属性には、年齢、性別、メガネ、マスク、帽子があります。必要に応じて属性を選択することができます。

- 顔プライバシー：顔プライバシーモードを有効にすると、顔検出検索エリアで検出された顔に自動的にモザイクがかかります。

注

- 属性認識機能は、顔認証機能と併用できません。
- 顔プライバシーモードを有効にするために、ビデオパラメータを以下のような推奨設定に変更します。

- H. 265ビデオコーデック(全ストリーム)
- プライマリーストリーム：1080P@25fps
- セカンダリーストリーム：704*576@25fps
- 第三次ストリーム：使用不可

3.3.2.4 人数カウント(People Counting Setting)

人数カウントの設定

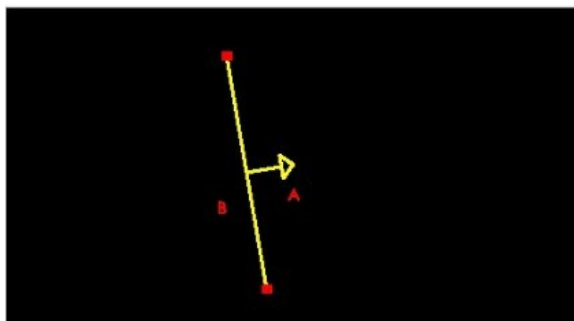
人数カウントは、設定した時間内に何人の人が出入りしたかをカウントすることができます。

ステップ1：チャンネルイベントを有効にします。

チャンネルと検出ラインを選択し、人数カウントを有効にします。

ステップ2：検出ラインを設定します。

[編集] をクリックした後、方向を選択して線を引きます。



注：最大4本の検出線の描画に対応し、個別に設定することができます。

ステップ3：オブジェクトのサイズ制限を設定する。

最小サイズ：[最小サイズ] は、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合にのみ、[人数カウント] の設定が有効になることを意味します。サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、人数カウントの設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：[最大サイズ] は逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、人数カウントの設定が有効になります。

ステップ4：検出感度を設定します。

ステップ5：編集ボタンをクリックして、カウント情報を設定します。

表11.

パラメータ	機能紹介
カウントの種類 (Count Type)	ライブビューに表示したい情報を選択することができます。
OSD	表示されているOSDの有効/無効を設定します。
OSDフォントサイズ (Font Size)	OSD表示のフォントサイズ。
OSDテキスト位置 (Text Position)	OSD表示の文字位置。
リセットカウント情報 (Reset Counting Information)	このボタンをクリックすると、OSD上のカウント情報がクリアされます
カウントデータのリセット (Reset Counting Date)	このボタンをクリックすると、データベース内のカウント情報がクリアされます。 注：このオプションを有効にすると、検索画面のカウント情報もクリアされます。
オートリセット (Auto Reset)	設定に応じて、カウント情報を自動的にクリアするために使用します。
日	オートリセットの日。
時間	オートリセットの時間。

ステップ6：[コピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

滞留人数ライブビュー設定


ページでは、占有状況・ライブビューに関する情報を設定することができます。

The screenshot shows the '滞留人数ライブビュー設定' (People Counting Settings) page. The page is titled '人数カウント' (People Counting) and has a sub-tab '滞留人数ライブビュー設定'. The settings are organized into several sections:


- グループ設定** (Group Settings): Includes 'グループ' (Group) set to 1, 'グループ名' (Group Name) set to Group1, and '人数カウント' (People Counting) set to 無効 (Disabled).
- 最大滞留人数** (Maximum People Count): Set to 99999.
- 緑ライトのリマインダー** (Green Light Reminder): Set to Welcome!!!
- 赤ライトのリマインダー** (Red Light Reminder): Set to Please wait till the green light turn on.
- フォントサイズ** (Font Size): Set to 中 (Medium).
- ライブビューカウントのリセット** (Reset Live View Count): Set to リセット (Reset).
- ライブビューカウントの自動リセット** (Auto Reset Live View Count): Set to 無効 (Disabled).
- 日** (Day): Set to 毎日 (Every Day).
- 時間** (Time): Set to 00:00:00.
- NVRカウントリセット** (Reset NVR Count): Set to リセット (Reset).
- アラームアクション** (Alarm Action): Set to 編集 (Edit).

注：カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であることを確認してください。

ステップ1：グループを設定します。

グループ設定：[編集] をクリックすると、グループ設定画面が表示されます。 をクリックしてグループを追加し、グループ名を編集し、グループ追加画面でグループに参加するチャンネルを選択することができます。最大 9 つのグループを追加することができます。

ステップ2：追加されたグループから、グループを選択します。

- グループ名：対応するグループ名が自動的に取得されます。
- 選択したグループNo. グループ設定]画面で対応するグループの をクリックすると、[グループ名]を変更できます。

ステップ3：選択したグループの人数カウントを有効にします。

ステップ4：人数カウントの関連パラメータを設定します。

- 最大滞留人数：最大滞在人数を1～99999の間で設定、初期値は99999です。
- 緑ライトのリマインダ：滞留人数・ライブビュー・画面でグリーンライトが点灯しているときのプロンプトを最大45文字で設定します。
- 赤ライトのリマインダ：占有ライブビュー画面で赤信号が点灯しているときのプロンプトを45文字以内で設定します。デフォルトのプロンプトは[Please

wait till the green light turn on] (緑色のライトが点灯するまでお待ちください) です。

- **フォントサイズ**：プロンプトのフォントサイズを選択します。3つのオプションがあります。小] [中] [大] の3つのオプションがあります。
- **ライブビューカウントのリセット**：滞留人数・ライブビュー・画面のグループ・カウント・データをリセットします。
- **ライブビューカウントオートリセット/日/時間**：ライブビューカウント自動リセットを有効にすると、設定した時刻にグループカウントのデータが自動的にリセットされます。
- **NVRカウントリセット**：NVR側に保存されているグループ・カウント・データをリセットし、占有ライブビュー画面のグループ・カウント・データもリセットします。
- **アラーム**：現在のグループの滞在人数が設定した最大滞在人数に達すると、アラームが発生します。警告音、電子メール通知、PTZ動作、アラーム出力、ホワイトLEDなどのアラームアクションを設定することができます。


これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

リージョナル人数カウントの設定(Regional People Counting Setting)

リージョナル人数カウントを有効にすると、検知エリアの人数と各人の滞在時間をリアルタイムで確認することができます。

The screenshot displays the 'Regional People Counting Settings' page. On the left is a navigation menu with options like '分析検索', '分析設定', 'ANPR', 'Face Detection', '人数カウント', 'ヒートマップ', and 'POS'. The main area shows a camera feed from 'CAM1' with two channel settings: '最小サイズ(1x1-320x240)' and '最大サイズ(1x1-320x240)', both set to 3x3. The configuration panel on the right includes: 'Region No.' set to 1, 'Regional People Counting' checked as '有効', 'Region' set to '1', 'Object Size Limits' set to '編集', 'Max. Stay' set to '1-60', 'Min. Stay' set to '1-60', 'Max. Length of Stay' set to '1-1800s', 'Regional People Counting Schedule' set to '編集', and 'アクション' set to '編集'. A warning message at the bottom states 'このチャンネルはこの機能をサポートしていません。' (This channel does not support this function).

ステップ1：チャンネルと設定するエリア番号(Region No.)を選択し、リージョナル人数カウント(Regional People Counting)を有効にします。

 注：カメラのバージョンが4X.7.0.78以上であることを確認してください。

ステップ2：検出エリア(Region)を設定する。



ステップ3：最小サイズと最大サイズを設定します(Object Size Limits)。

- 最小サイズ：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- 最大サイズ：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4：感度を設定します。

レベル1～10があり、初期値は5です。感度が高いほど、動いている被写体が写り込みやすくなります。

ステップ5：アラームのトリガーを設定します。閾値が一定値を超えるとアラームが発生します。

ステップ6：警告音、電子電子メール通知、ポップアップ通知、PTZ動作、アラーム出力、ホワイトLED、トリガーチャンネル録画などのアラームアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

レポート自動バックアップの設定(Report Auto Backup Settings)

ここでは、人数カウントレポートの自動バックアップを設定することができます。そして、定期的に直近の日、直近の週、またはすべてのCSVレポートを外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。

スマート分析

CPU 3% メモリ 28%

人数カウント

People Counting Settings 滞留人数ライブビュー設定 Regional People Counting Settings Report Auto Backup Settings

レポートタイプ People Counting by Camera

Report Auto Backup 無効

チャンネル All 1 2 3 4 5 6 7 8

Day 毎日

Time 00:00:00

File Format CSV

Line All Total Line 1 Line 2 Line 3 Line 4

Backup Time Range Last day

Backup to External Device Email

適用 戻る

ステップ1：カメラ別人数、グループ別人数、エリア別人数など、レポートの種類を選択します。

ステップ2：レポート自動バックアップを有効にし、チャンネルまたはグループを選択します。

ステップ3：曜日と時間を設定します。

ステップ4：検出ラインを選択します。

ステップ5：[最終日]を含む[バックアップ時間範囲]と[すべてエクスポート]を選択します。

ステップ6：レポートを外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。

3.2.2.5 ヒートマップ

NVRはNVR上のカメラのヒートマップ機能の設定を直接サポートし、ヒートマップの結果をスマート分析で検索およびエクスポートすることができます。

ヒートマップ

スマート分析

CPU 2% メモリ 26%

ヒートマップ

チャンネル All CAM1 CAM2 CAM3 CAM4 CAM5 CAM6 CAM7 CAM8

メソッドタイプ スペースヒートマップ

レポートタイプ 日次レポート

開始時間 2023-08-23 00:00:00

検索 戻る

- 感度：レベル1～10があり、初期値は5です。感度が高いほど、動く被写体をより簡単に録画することができます。
- 最小オブジェクトサイズ：オブジェクトの最小サイズを1～100の間で設定します。デフォルト値は10です。この値より小さいオブジェクトは結果に録画されません。
- 最小滞留時間：1から300の間で最小滞留時間を設定します。デフォルト値は30です。設定した[最小滞在時間]よりも長くオブジェクトが滞在した場合、結果には録画されません。
- シーン変更の適応性：レベル1～10があり、デフォルトは5です。シーンチェンジ適応度は、カメラがシーンの変化に適応できるかを示し、検出の精度を高めることができます。値が高いほど、カメラはより速く変化するシーンに適応します。
- 地域：画面を描画して検出検索エリアを設定します。[すべて選択]ボタンで全検索エリアを選択、[すべて削除]ボタンで現在描画している検索エリアを削除することができます。

注

1. カメラのバージョンが4X. 7. 0. 74以上であることを確認する。
2. カメラ側でヒートマップスケジュールを設定してください。
3. ヒートマップ機能は、以下のカメラでのみ動作します。

- フィッシュアイカメラ：デュワーピングモードが10で、デュワーピングルールがカメラ側の歪み補正であることを確認してください。
- パノラミニバレットカメラ：レンズディストーション補正機能がオンになっていることを確認してください。

レポート自動バックアップの設定(Report Auto Backup Setting)

ここでは、ヒートマップレポートの自動バックアップを設定することができます。また、定期的に直近1日、直近1週間、またはすべてのレポートを、CSV形式で外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。

The screenshot shows the 'Report Auto Backup Settings' page. The left sidebar contains navigation options: Home, Analysis Search, Analysis Settings, ANPR, Face Detection, People Counting (highlighted), Heatmap, and POS. The main content area is titled 'スマート分析' (Smart Analysis) and '人数カウント' (People Counting). It features a top status bar with CPU (3%) and Memory (28%) usage. Below the title, there are four tabs: 'People Counting Settings', '滞留人数ライブビュー設定', 'Regional People Counting Settings', and 'Report Auto Backup Settings' (selected). The settings are organized into several sections: 'Report Type' (set to 'People Counting by Camera'), 'Report Auto Backup' (set to '無効'), 'Channels' (checkboxes for All, 1-8), 'Day' (set to '毎日'), 'Time' (set to '00:00:00'), 'File Format' (set to 'CSV'), 'Line' (checkboxes for All, Total, Line 1-4), 'Backup Time Range' (set to 'Last day'), and 'Backup to' (checkboxes for External Device, Email). At the bottom right, there are '適用' (Apply) and '戻る' (Back) buttons.

ステップ1：レポート自動バックアップ(Report Auto Backup)を有効にし、チャンネルを選択します。

ステップ2：曜日と時間(Day・Time)を設定します。

ステップ3：スペースヒートマップやタイムヒートマップなどのレポートタイプを選択します。

ステップ4：最終日を含むバックアップ時間範囲とすべてをエクスポートを選択します。

ステップ5：レポートを外部デバイス(External Device)または電子メール(E-mail)にエクスポートすることができます。

3.2.2.6 POS


ここでは、いくつかの基本的なPOS情報を設定することができます。POSマシンとNVR間の通信が可能で、NVR側でPOS機能を有効にすると、NVRはPOSマシンから送信された情報を取得し、設定されたチャンネルのライブビューにPOS情報を表示することが可能です。

ステップ1：POS番号を選択し、POS機能を有効にします。

- POSの名前：必要に応じてPOS名をカスタマイズすることができます
- POS プロトコル：POS 通信プロトコルを表示します。デフォルトは General です。
- 接続モード：POS機との接続モードを選択、TCPまたはUDPは任意です
- 接続モードの設定：POS機のIPアドレスとPOSポートの設定

ステップ2：ライブビュー表示を有効にすることができます。有効にすると、各設定ページのライブビューとプレビューボックスにPOS情報が表示されるようになります。

表示チャンネル：POS情報を表示するチャンネルを選択します。

 **注：**情報の重複を防ぐため、異なるPOSマシンの情報を同じチャンネルで表示することはできません。

- Character Encoding（キャラクタエンコーディング）：POS機から送信される情報のエンコード形式。デフォルトはUnicode (UTF-8) です。
- フォントサイズ：POS情報のフォントサイズを設定します。
- フォントカラー：POS情報のフォントカラーを設定します。
- オーバーレイモード：ライブビューでチャンネル表示検索エリアが一杯になったときのオーバーレイモードを設定します。ページまたはロールはオプション
- 表示時間：ライブビューでの単一POS情報の表示時間を設定します。
- タイムアウト：POS情報の有効期限を設定し、設定時間内に送信された複数のメッセージは再び同じメッセージに統合されます
- プライバシーに関する設定：プライバシー保護のため、必要に応じて一部の情報を*に設定することができます

ステップ3：POS機能有効時間を設定します。

ステップ4: NVRがPOSマシンから送信された情報を取得すると、アラームが作動します。警告音、電子メール・リンク、PTZ動作、アラーム出力、ホワイトLEDおよびその他を含むアラーム・アクションを設定することができます。

これらの動作の詳細設定については、[3.5.2.1 ANPR]を参照してください。

3.4 [管理] カメラ

設定前に、カメラがNVRと同じネットワークに接続されていること、NVRのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認してください。

3.4.1 カメラ管理

チャンネル	チャンネル名	編集	削除	状態	IPアドレス	チャンネルID	ポート	プロトコル	MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル
1	CAM1				192.168.20.2	1	1.80	MSSP			IP-S3008PI

ステップ1. カメラを追加します。

(1) デバイス検索画面でカメラを追加します。[カメラ]→[カメラ検索]

1. IPレンジ、NIC、プロトコルを選択し、ALL、ONVIF、MSSPが含まれます。
2. [検索] ボタンをクリックすると、NVR と同じ LAN にあるカメラが検索されます。
3. チャンネルを一つ選択し、[追加] ボタンをクリック、パスワードを入力し、[追加] をクリックすると終了します。
4. をチェックすると、ネットワークカメラが同じパスワードの場合、一括で追加され、TCP、UDP または自動転送プロトコルを選択できます。[OK] をクリックして、一括追加を終了します。

- MSSP : LAN内の異なるネットワークセグメントを持つカメラを全て検索することができます。

(2)カメラ管理画面からカメラを追加します。[カメラ]→[カメラ管理]

チャンネルNo. を選択し、必要事項を入力後、[追加]ボタンをクリックします。カメラ

接続には3つのプロトコルがあります。

- ONVIF : ONVIF プロトコルを持つ ONVIF IP カメラを追加することができます。(デフォルトはポート80)
- RTSP : RTSP プロトコルストリーム (ポート : 554) で任意の IP カメラを追加できます。追加するには、IP カメラの完全なリソース パスを入力する必要があります。
- MSSP : MSSPプロトコルで同一LAN上にあるカメラを追加することができます。


オフラインカメラをNVRに追加するには、(2)を使用します。記入したデバイス情報が正しい限り、NVRはデバイスが接続されているかどうかを判断し、カメラのステータスを自動的に更新します。

カメラの追加には、ユーザー名・パスワードの入力が必要です。

注

1. マルチストリームモードでフィッシュアイカメラを追加する場合、NVRはすべてのチャンネルを独立したチャンネルとして区別して追加しますが、これはディスプレイ・モードに依存します。例えば、フィッシュアイカメラの表示モードが103Rの場合、追加されるチャンネルは4つです。オリジナルビューのチャンネルIDは1、最初のリージョンビューのチャンネルIDは2となります。このように、要求に応じて追加するIDを選択することができます。

ステップ2 : 接続状態を確認する。

IPチャンネルを追加カメラ管理画面の[検索]ボタンをクリックすると、ステータスの下に  が表示されます。



のアイコンが表示された場合、ステータスバーの対応するアイコンにマウスを移動して、未接続を確認することができます。

ステップ3 : カメラの設定を行います。カメラを1台設定する

カメラの追加に成功したら、 をクリックして、チャンネル情報を再編集してください。

このチャンネルのパラメータを再編集するために、パラメータページに移動し、録画 ストリームタイプ を 一般 または イベント から選択して、異なるパラメータを個別に設定することができます。一般ストリームでは、ストレージを節約するために低いパラメータを設定することをお勧めします。設定後、[OK]をクリックして保存します。

注

1. イベント録画ストリーム設定には、動体検知、VCA、カメラアラーム入力、スマート分析などのイベントが含まれます。
2. フィッシュアイカメラの場合、カメラ編集設定画面で転送モード、設置モード、表示モード、チャンネルIDを変更することができます。



3. カメラのファームウェアのバージョンが4X7. 0. 75以上であることを確認してください。

カメラの一括設定

[一括設定] をクリックし、複数のチャンネルを選択し、カメラのパラメータを設定します。

カメラ設定

CPU 5% メモリ 28%

カメラ管理

カメラ管理 一括設定

伝送プロトコル
 映像コーデック
 フレームサイズ
 最大フレームレート
 ビットレート
 ビットレート制御
 フレーム間隔
 スマートストリーム

サブストリーム
 映像コーデック
 フレームサイズ
 最大フレームレート
 ビットレート
 ビットレート制御
 フレーム間隔
 スマートストリーム

待機設定 NVRと時刻同期

チャンネル: 1 名称: CAM1

チャンネル	チャンネル名	編集	削除	状態	IPアドレス	チャンネルID	ポート	プロトコル	MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル
1	CAM1				192.168.20.2	-	1_80	MSSP	1CC3142A3F95	43.7.1.79-47	NC5376-PB

空き受信帯域: 78.00Mbps

設定の編集 削除 更新 適用 戻る

ステップ1：カメラを削除する。

■ クリックしてこのチャンネルを削除するか、複数のデバイスを選択して、[削除] をクリックして削除することができます。

ステップ2：PoE チャンネルを設定する(PoE NVR の場合のみ)

1. カメラをPoEポートに接続すると、自動的にカメラが検出されます。
2. カメラのパスワードがNVRの管理者パスワードと同じであれば、認証に成功し、内部NICのIPv4アドレスと同じネットワークセグメントに変更され、カメラは正常に接続されます。
3. カメラのパスワードがNVRの管理者パスワードと異なる場合、PoEチャンネルは以下のように表示されます。[Disconnected : Incorrect Password]

注

1. NVRがPoEポート経由で接続された非アクティブなカメラを検出すると、カメラはNVRのパスワードを同期させ、カメラは正常に接続されます。マルチストリームモードのフィッシュアイカメラでは、デフォルトですべてのチャンネルが追加されます。
2. PoE NVRに接続されたサードパーティのPoEカメラを追加するステップです。
 - PoE NVRに接続する前に、カメラのIPセグメントをNVRのPoE NICと同じに設定します。
 - デバイス検索画面でNICのPoEを選択し、検索ボタンをクリックするとカメラが検索されます。
 - カメラを選択し、[追加] ボタンをクリックして追加します。

3.4.2 カメラ検索

プロトコルとNICを選択し、IP範囲を設定して、[検索] をクリックすると、NVRと同じLANで選択したプロトコルとNICをサポートするIPデバイスを迅速に検索します。

The screenshot shows a web interface for camera management. On the left is a dark sidebar with navigation options: Home, Camera Management, Camera Search (highlighted), PTZ Settings, Image, Audio, Details, and Camera Maintenance. At the bottom of the sidebar is a 'Live View' button. The main content area is titled 'カメラ設定' (Camera Settings) and 'カメラ検索' (Camera Search). It features a search filter bar with dropdown menus for 'プロトコル' (Protocol) and 'NIC選択' (NIC Selection), both set to 'すべて' (All). An 'IP範囲' (IP Range) field is set to '0.0.0.0 - 255.255.255.255'. Below the filter bar is a table with the following data:

No.	IPアドレス	IP編集	状態	ポート	プロトコル	NIC	MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル	ベンダー
<input type="checkbox"/>	1	192.168.20.2	<input checked="" type="checkbox"/>	アクテ...	80	MSSP	PvE			MSK

At the bottom right of the table area are buttons for '有効化' (Enable), 'IP編集' (Edit IP), '追加' (Add), and '戻る' (Back).

カメラのステータスが非アクティブと表示されている場合、NVRに追加する前にカメラを選択し、[有効化]ボタンをクリックして、まずカメラを有効化してください。また、チャンネルを選択して[IP編集]をクリックすると、そのチャンネルのIP情報を一括で編集することができます。

マルチストリームモードのフィッシュアイカメラでは、IP情報の一括編集時にデフォルトで全チャンネルが追加されます。

3.4.3 PTZ設定

3.4.3.1 設定

カメラ設定


PTZ設定

チャンネル: 1 名称: CAM1


このチャンネルはこの機能をサポートしていません。

[プリセット]

プリセット は、PTZ カメラを任意のプリセット位置に移動するように設定することができます。

ステップ1: PTZ方向キーを使って、プリセットの位置を回転させます。プリセット番号を選択し、 をクリックして、プリセット位置を保存します。最大300プリセットまで設定可能です。


ステップ2: プリセット番号を選択し、 をクリックしてプリセットポジションを削除

ステップ3: プリセット番号を選択し、 をクリックしてプリセット位置を確認します。

[パトロール]


カメラはあらかじめ設定された位置に沿って巡回します。経路の総時間と巡回速度は可変です。

ステップ1: パスを選択します。最大8パスまで設定可能です。

ステップ2:  をクリックして、プリセットポジションを追加します（最大 48 ポジションまで追加可能）。プリセットポジション番号、スキャンタイム、スキャンスピードなどプリセットポジションのパラメータを設定し、[OK]をクリックします。

ステップ3:  をクリックするとプリセットポジションが削除されます。

ステップ4:  をクリックすると、パスの巡回がプレビューされます。 をクリックすると停止します。

ステップ5:  をクリックすると、パスパトロールのプリセットポジションがすべて削除されます。

 注:

1. プリセットポジションは巡回経路を決定し、プリセットポジションの数値順に従って巡回を行います。
2. スキャンタイムは、パトロールがプリセットポジションに留まる時間です。
3. スキャン速度は、1つのプリセット位置から次の位置へのスピードドームの回転速度です。

[パターン]

カメラは一定の速度で前後に巡回します。始点と終点は1つだけです。

ステップ1: パターンを選択し、 をクリックします。最大4パターンまで設定できます。

ステップ2: マウスをドラッグするか、マウスで8つの方向キーをクリックして、PTZを回転させます。

ステップ3:  をクリックして、PTZの動作パターンを保存します。








ステップ4:  をクリックし、パターンをプレビューします。 をクリックすると停止します。[PTZ操作]をクリックします。



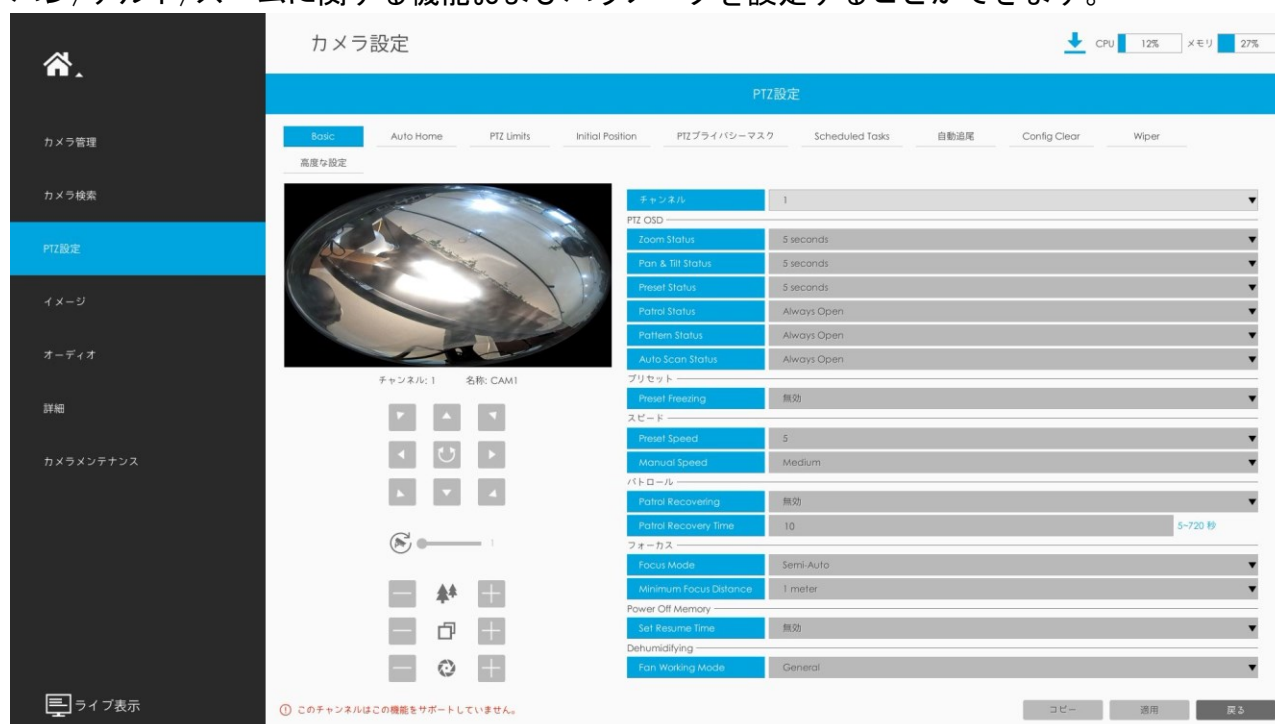
表12.

アイコン	説明	アイコン	説明
	PTZ方向制御、オートスキャンボタン		PTZスピード

	[ズーム+] [フォーカス+] [アイリス+]。		[ズーム-] [フォーカス-] [アイリス-]
	ズーム		フォーカス
	アイリス		

3.4.3.2 基本(Basic)

パン/チルト/ズームに関する機能およびパラメータを設定することができます。



ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：PTZ OSDパラメータを設定します。

ズームステータス、パン&チルトステータス、プリセットステータス（常時 Close/常時 Open/2s/5s/10s）、パトロールステータス、パターンステータス、自動スキャンステータス（常時 Open/常時 Close）を設定することができます。

ステップ3：プリセットフリーズを有効にすると、プリセットポジションへの移動経路とライブビューの両方を表示する代わりに、プリセットポジションのライブビューを直接表示することができます。

デジタルネットワークシステムの帯域幅の使用量を削減することができます。

ステップ4：速度を設定します。

- プリセット速度：プリセットを呼び出す速度を決定します。レベル1~10が使用可能です。
- 手動制御速度：スピードドーム専用で、手動制御のPTZ速度を決定します。低い/中/最高は利用できます。

ステップ5：パトロールを設定します。

- パトロール回復：パトロール回復を有効にします。
- パトロール回復時間：パトロール回復の時間を5秒から720秒の間で設定します。

ステップ6：フォーカスを設定します。

- フォーカスモード：3つのフォーカスモードが利用可能です。オート/セミオート/マニュアル
- 最短フォーカス距離：各フォーカスのステップ長を調整するための最短フォーカス距離を設定します。1m、1.5m、3m、6m、10m、20mが選択可能です。デフォルトの最短フォーカス距離は1mです。

ステップ7：パワーオフメモリを設定します。

カメラがあらかじめ設定された時間より長い間作業を停止した場合、その位置が録画されます。そしてそれは電源遮断から正常な仕事に戻った後位置に再開します。位置を録画するために 30 秒、60 秒、300 秒または 600 秒に再開の時間を置くことができます

ステップ8：除湿を設定します。

ファンワーキングモード：3つのファンワーキングモードが利用可能です。一般/強化/常時。

- 一般：ファンは毎日午前4時から午前7時までと午後5時から午後8時までオンになっています。
- 強化：ファンは毎日午後5時から午前7時までオンになっています。
- 常時：ファンは1日24時間稼働します。

3.4.3.3 PTZプライバシーマスク

NVRは、PTZカメラのプライバシー・マスクの設定をサポートします。一般的なプライバシー・マスクとは異なり、オブジェクトのプライバシーを保護し、カメラがどのようにパン/チルト/ズームしても、手動操作で指定した検索エリアを監視からマスクしたままにする3D座標系が特徴です。

The screenshot displays the PTZ Privacy Mask configuration screen. At the top, there's a 'カメラ設定' (Camera Settings) header with system status (CPU 1%, Memory 27%). The main area is titled 'PTZ設定' (PTZ Settings) and includes tabs for 'Basic', 'Auto Home', 'PTZ Limits', 'Initial Position', 'PTZプライバシーマスク' (selected), 'Scheduled Tasks', '自動追尾' (Auto Tracking), 'Config Clear', and 'Wiper'. A live camera view of a boat is shown on the left. The configuration panel on the right allows enabling the PTZ Privacy Mask, selecting an area type (Mask or Mosaic), and choosing a mask color (White). Below this is a table for managing individual mask areas.

ID	名前	種類	有効	アクティブズーム比率	編集	Area Edit	削除


プライバシーマスクは、以下のステップで追加することができます。

ステップ1：チャンネルを選択し、プライバシーマスクを有効にします。

ステップ2：検索エリアの種類をマスクまたはモザイクから選択します。

ステップ3.マウスをドラッグしてライブビューウィンドウ上で保護する必要のある検索エリアを選択し、[追加]ボタンをクリックしてテーブルに検索エリアを追加します。

最大で24個のマスクと4個のモザイク検索エリアを追加でき、各ゾーンは有効・無効を切り替えることができます。テーブルに追加された検索エリアは、[適用]をクリックするまで有効にはなりませんのでご注意ください。

ステップ4：  をクリックして、PTZプライバシーマスクの名前、プライバシーマスクのタイプ、アクティブズーム比を編集します。

ステップ5： [適用]を選択し、設定を保存します。

注

1. カメラのバージョンが4X. 7. 0. 73以上であることを確認する。
2. プライバシーマスクの設定には、2つの画面があります。PTZプライバシーマスクはPTZカメラにのみ適用され、プライバシーマスクは他のカメラにも適用することができます。

3.4.3.4 自動追尾

PTZカメラシリーズは、この機能を設定すると、移動する物体を自動的に追尾することができます。

ステップ1：チェックボックスにチェックを入れ、自動追尾を有効にします。

ステップ2.自動追尾中に動体検知アラームを作動させるには、[Report to Motion Detection] を有効にします。

ステップ3：[追跡表示(地域)]を有効にすると、自動追尾機能で追尾を表示することができます。

ステップ4：検出範囲を設定します。

ステップ5：検出感度を設定します。

ステップ6：最大追跡時間を設定します。

追跡時間は5～300sの間でなければなりません。トラッキング時間を超えるとカメラは追跡を停止します。

ステップ7：トラッキングのズーム比を選択します（オートモードとカスタマイズがあります）。

- トラッキングズーム比は、自動トラッキングを使用する際に、移動するオブジェクトのズーム比を調整するために使用されます。PTZは被写体の距離と速度に応じて自動的にズーム比を調整します。


自動モードでは、動いている物体を追尾します。カスタマイズを選択した場合、PTZはターゲットを追尾する際に、事前に設定したズーム比に調整されます。

- トラッキングの拡大率をカスタマイズする方法。
- ボタンでズーム比を設定します。
- [セット]をクリックすると、設定が保存されます。

ステップ8：[編集]をクリックして、IPカメラに同期させる自動追尾スケジュールを編集します。

ステップ9: [カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

ステップ10: [保存]をクリックして、設定を適用します。

 注: カメラのバージョンが4X.7.0.75以上であることを確認してください。

3.4.3.5 アドバンスト(高度な設定)

チャンネルを選択し、PTZ パラメータを設定します。また、[コピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。



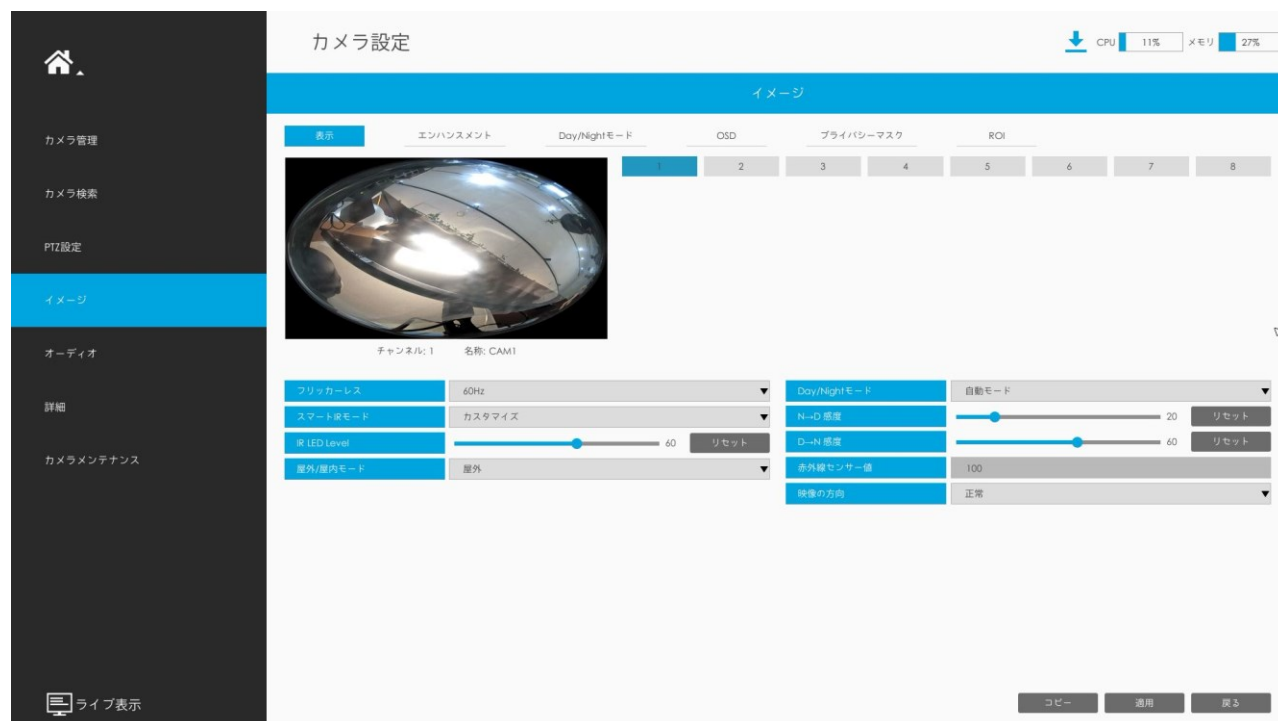
Basic	Auto Home	PTZ Limits	Initial Position	PTZプライバシーマスク	Scheduled Tasks	自動追尾	Config Clear	Wiper
高度な設定								
チャンネル		1						
接続タイプ		ONVIF						
フレームレート		9600						
データビット		8						
ストップビット		1						
パリティ		None						
プロトコル		PELCO_D						
アドレス		1						

 注

1. PTZ カメラを使用する前に、PTZ カメラの設定を行う必要があります。PTZとNVRのRS-485が正しく接続されていることを確認してください。
2. PTZプロトコルとIPチャンネルのアドレスは、PTZデコーダーのものと一致させる必要があります。

3.4.4 イメージ

3.4.4.1 表示



ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：設定を設定します。

フリッカーレス：50Hzと60Hzがあります。

スマートIRモード：ロービームとハイビームの組み合わせで、IR LEDの技術がアップグレードされ、対象物の距離に関係なく、より鮮明で質の高い画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整することができます。さらに、IR反射防止パネルを搭載し、赤外線の透過率を大幅に向上させました。赤外線の強さをオートモードまたはカスタマイズで設定し、最適な効果を得ることをサポートします。

- デイ/ナイト切り替えリフォーカス。このオプションを有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替えたときに、カメラは再フォーカスします。
- 屋外/屋内モード：チャンネルの屋外/屋内モードを設定します。
- デイ/ナイトモード：チャンネルのDay/Nightモードを設定します。
- 昼から夜への感度 (D→N感度)：ナイトモードを起動するための感度を設定します。
- 夜から昼への感度 (N→D感度)：デイモードのトリガーとなる感度を設定します。
- Day to Night 値：ナイトモードを起動するための最小照度を設定します。Night to Day 値：デイモードのトリガーとなる最大照度を設定します。

- 赤外線ライトセンサー値: IRライトセンサーの現在の値が表示されま
す。
- 映像の方向: 画像の回転を設定します。
- スモークドームカバー: この機能はプロドームカメラのみです。プロドームカメラにス
モークドームカバーが装着されている場合、この機能を有効にすると通常の映像が表
示されます。
- ローカルディスプレイのビデオ: ローカルディスプレイのNTSCまたはPALを選択します。
正しいアスペクト比を維持する: このオプションを有効にすると、解像度の比率を変更したとき
に画像が歪むのを防ぎます。

注

1. スモークドームカバーは、ProドームおよびPTZドームカメラにのみ対応しています。
2. IR LEDを搭載したカメラでは、スマートIRモードとIR LEDレベルがサポートされていま
す。
3. ホワイトLEDレベル は PTZバレットカメラにのみ対応しています。
4. オートモードの[昼→夜][夜→昼]感度は、180度パノラマバレット、ミニバレットのフ
ームウェアバージョンが4X. 7. 0. 74以上の場合のみ使用可能です。

ステップ3: ウィンドウの下部にある [カメラにコピー] をクリックして、画像設定を他のチ
ャンネルにコピーします。

ステップ4: [保存] を選択して、設定を保存します。

3.4.4.2 強化(エンハンスメント)

NVRで画像強化を設定すると、その設定はカメラに同期されます。

ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：設定します。

動体ブレを軽減：この機能を有効にすると、オブジェクトの動体ブラーを効果的に減らすことができます。デブラーレベルを1～100の間で調整できます。

- ビデオの吃音を減少：この機能は5MP@20fpsのカメラにのみ対応し、不安定な現象を低減させます。
- ホワイトバランス：チャンネルのホワイトバランスモードを選択します。
- デフォグモード：霧の中でより良い画像効果を得ることができます。
- デジタル画像補正：画像のブレを軽減します。
- 露出モード：自動モード、手動モード、スケジュールモードがあります。
- IRバランスモード：赤外線の過剰露出を避けるためにオンにします。
- BLC/WDR/HLC モード：シングルモード、デイ/ナイトモード、スケジュールモードをクリックして選択します。
- BLC/WDR/HLC：BLC(逆光補正)、WDR(ワイドダイナミックレンジ)、HLC(ハイライトコントロール)を設定する場合はクリックしてください。
- WDR：オフ、カスタマイズ、オンが選択可能です。
- WDRレベル：WDR を 低/高/自動 レベルで設定します。

- BLGリージョン：オフ、カスタマイズ、センターが選択可能（シングルモードの場合、WDRが無効のときのみ有効）。
- HLCのレベル：HLCのレベルを選択します。
- アンチフリッカーレベル：照明条件によっては画面に表示されるフリッカーを軽減し、10段階のアンチフリッカー調整が可能です。

ステップ3：ウィンドウの下部にある[カメラにコピー]をクリックして、画像設定を他のチャンネルにコピーします。

ステップ4：[適用]を選択して、設定を保存します。

3.4.4.3 デイ/ナイト設定(Day/Nightモード)

The screenshot shows the 'カメラ設定' (Camera Settings) interface. The 'Day/Nightモード' (Day/Night Mode) tab is selected. A camera preview window shows a fisheye view of a boat. Below the preview is a table of settings for different templates.

Template	タイマー	露出レベル	シャッター速度(最小)	高速シャッター	ゲインレベル制限	IR-CUT 間隔	IR-CUT	IR LED点灯	カラーモード	編集
-	Night	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	ON	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>
-	Day	5	1/30	1/100000	100	5s	ON	OFF	Color	<input checked="" type="checkbox"/>
1	-	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	OFF	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>
2	-	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	OFF	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>
3	-	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	OFF	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>
4	-	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	OFF	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>
5	-	5	1/30	1/100000	100	5s	OFF	OFF	8/W	<input checked="" type="checkbox"/>

At the bottom of the interface, there are buttons for 'Template Schedule', 'コピー' (Copy), '適用' (Apply), and '戻る' (Back).

ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：設定を設定します。

露出レベル：レベル 0～10から選択できます。

シャッター速度(最小)：最小シャッターを1～1/100000sに設定します。

高速シャッター：最大シャッター時間を1～1/100000sに設定します。

ゲインレベル制限：リミットゲインレベルを1～100に設定します。

IR-CUT間隔：モードが切り替わるまでのインターバル時間。

IR-CUT : IR-CUTのオン／オフを切り替えます。

IR LED点灯 : IR-LEDを点灯または消灯します。

カラーモード : Day/Night モードで、白黒または Color モードを選択します。

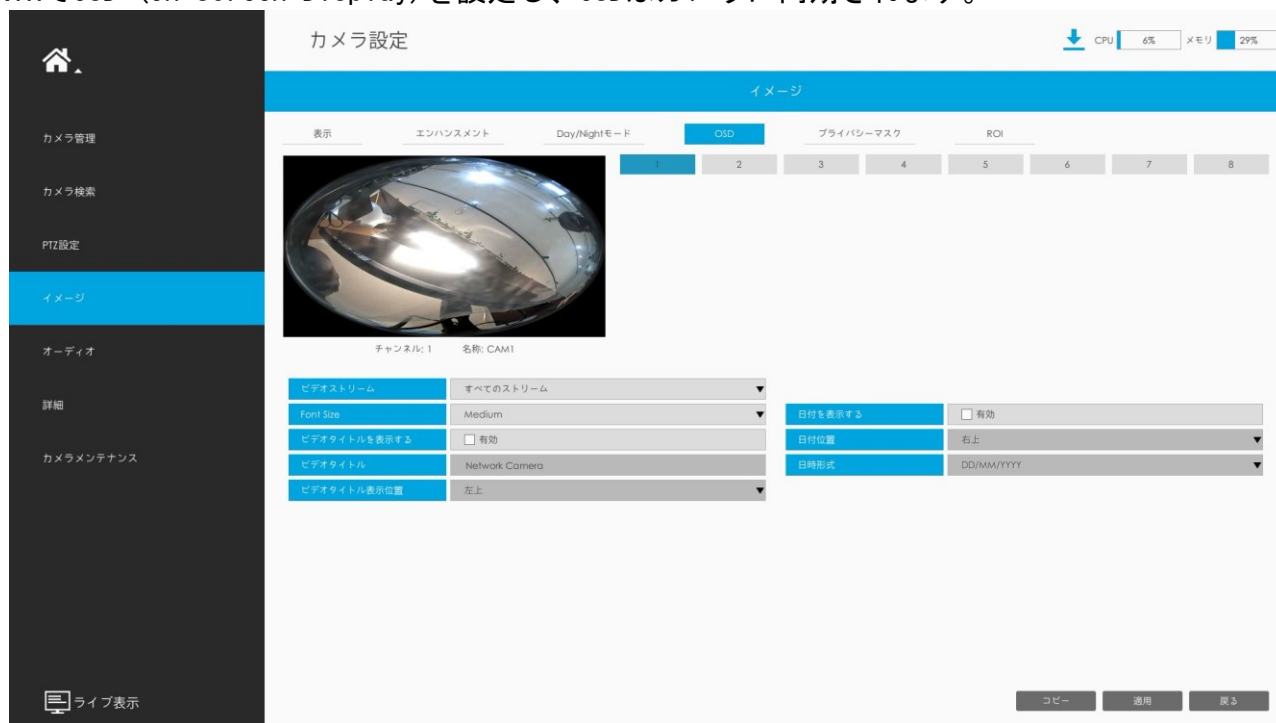
編集 : 上記のパラメータを編集します。

ステップ3 : ウィンドウの下にある[カメラにコピー]をクリックして、画像の設定を他のチャンネルにコピーします。

ステップ4 : [保存]を選択して、設定を保存します。

3.4.4.4 OSD

NVRでOSD (On Screen Display)を設定し、OSDはカメラに同期されます。



ステップ1 : チャンネルを選択します。

ステップ2 : すべてのストリーム、メインストリーム、サブストリームを含む、ビデオストリームを選択します。

ステップ3 : [ビデオのタイトルを表示する]と[日付を表示する]を有効にします。

- ビデオタイトル表示位置 : 有効にすると、ビデオタイトルが画面上に表示されます。
- タイトルの位置 : ビデオタイトルの位置を設定します。左上または右上に設定します。
- 日付位置 : 左上、右上、左下、右下のいずれかを設定します。
- 日時形式 : YYYY-MM-DD、MM/DD/YY、DD/MM/YYYYのいずれかを設定します。

ステップ4：ウィンドウのボタンにある[コピー]ボタンをクリックして、OSD設定を他のチャンネルにコピーしてください。

ステップ5：[保存]を選択し、設定を保存します。

3.4.4.5 プライバシーマスク

NVRはプライバシー・マスクの設定をサポートします。これは、モニターに表示するのが適切でないプライバシー・エリアをカバーするために使用されます。

The screenshot shows the 'カメラ設定' (Camera Settings) interface. The left sidebar contains navigation options: 'カメラ管理', 'カメラ検索', 'PTZ設定', 'イメージ' (selected), 'オーディオ', '詳細', and 'カメラメンテナンス'. The main area is titled 'カメラ設定' and includes a top status bar with 'CPU 1%' and 'メモリ 29%'. Below this is a 'イメージ' (Image) section with tabs for '表示', 'エンハンスメント', 'Day/Nightモード', 'OSD', 'プライバシーマスク' (selected), and 'ROI'. A live video feed of a camera is shown with 'チャンネル: 1' and '名称: CAM1'. Below the video are controls for 'プライバシーマスク' (Privacy Mask), including a checkbox for '有効' (Enabled), a dropdown for '種類' (Type) set to 'マスク', and a '地域' (Area) section with '追加' (Add), 'クリア' (Clear), and 'すべて削除' (Delete All) buttons. A table below these controls has columns for 'ID', '名前' (Name), '有効' (Enabled), and '削除' (Delete). A note at the bottom states 'Note: Support up to 24 Privacy Mask areas.' At the bottom right, there are buttons for 'コピー' (Copy), '適用' (Apply), and '戻る' (Back).

プライバシーマスクは、以下のステップで追加することができます。

ステップ1：チャンネルを選択し、プライバシーマスクを有効にします。

ステップ2：検索エリア種類から色も変更できます。"マスク"または"モザイク"から選択します。

ステップ3：マウスをドラッグしてライブビューウィンドウ上で保護する必要のある検索エリアを選択し、[追加]ボタンをクリックしてテーブルに検索エリアを追加します。

最大で24個のマスクと4個のモザイク検索エリアを追加でき、各ゾーンは有効・無効を切り替えることができます。テーブルに追加された検索エリアは、[適用]をクリックするまで有効になりませんのでご注意ください。

ステップ4：ウィンドウのボタンにある[コピー]ボタンをクリックして、プライバシーエリアを他のチャンネルにコピーします。

ステップ4：[保存]を選択し、設定を保存します。

注：ネットワークカメラのファームウェアのバージョンが4X.7.0.70以上であることを確認してください。

3.4.4.6 ROI

NVRはROI (Region Of Interest)の設定をサポートします。これは、帯域幅とストレージの最適化を達成するためにユーザーを支援するために設計された画像のクロップ機能です。



以下のステップでROIを追加することができます。

ステップ1: チャンネルを選択し、ROIを有効にします。

ステップ2.帯域幅とストレージの最適化を達成するために、メインストリームとサブストリームを含むビデオストリームタイプを設定します。マウスをドラッグして、プレビューウィンドウのエリアを選択します。そして、[追加]をクリックします。

ボタンをクリックすると、その検索エリアがテーブルに追加されます。最大で8つのエリアを追加でき、各ゾーンは有効・無効にすることができます。テーブルに追加された検索エリアは、[適用]をクリックするまで有効になりませんのでご注意ください。

ステップ3: ウィンドウの下部にある [コピー]ボタンをクリックして、ROIエリアを他のチャンネルにコピーします。

ステップ4: [保存]を選択し、設定を保存します。


注: ネットワークカメラのファームウェアのバージョンが4X.7.0.70以上であることを確認してください。

3.4.5 オーディオ



このオーディオ機能では、カメラのオーディオ画面パラメータを設定することができます。

- オーディオを有効にする：チェックボックスをオンにすると、オーディオ機能が有効になります。
- ノイズ除去：On/Offで設定します。オンに設定すると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます。
- エンコーディング：G. 711-ULaw、G. 711-ALaw、AAC LC、G. 722、G. 726が利用可能です。
- サンプルレート：8KHz、16KHz、32KHz、48KHzを選択可能。
- オーディオビットレート：AAC LCのみ使用可能で、最大256kbpsまで対応します。
- 入力ゲイン：入力オーディオのゲインレベルで、0～100です。
- オートゲインコントロール：音声の品質を向上させます。
- 出力の音量：出力の音量を調整します。

 注：カメラのバージョンがxx. 7. 0. 76以上であることを確認してください。

3.4.6 詳細

3.4.6.1 ウォーターマーク



以下のステップで、透かしを入れることができます。

ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：ウォーターマークを有効にするためにチェックボックスをクリックします。

ステップ3：ウォーターマーク文字列を入力します。

ステップ4：ウィンドウの下部にある[コピー]をクリックして、画像設定を他のチャンネルにコピーします。

ステップ5：[適用]を選択して、設定を保存します。

注：ウォーターマークは、サードパーティーでエクスポートする場合のみ表示されます。

3.4.7 カメラメンテナンス

NVRは、カメラのオンライン・アップグレードとローカル・アップグレードの両方をサポートします。

3.4.7.1 ローカルアップグレード

ステップ1：参照ボタンをクリックし、USBにダウンロードしたファームウェアを選択します。

カメラ設定

CPU 2% メモリ 29%

カメラメンテナンス

ローカルアップグレード 設定のインポート/エクスポート 再起動 リセット 診断情報 ログ

ファームウェア

リセット 工場出荷時設定に戻す (IPアドレスとユーザー情報を除く)

チャンネル	チャンネル名	状態	IPアドレス	チャンネルID	プロトコル	MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル	アップグレードの進行状況
<input type="checkbox"/>	1	CAM1	192.168.20.2	1	MSSP				-


ライブ表示

ステップ2：バージョンアップ後、IPアドレスとユーザ情報以外の設定を工場出荷時の状態に戻す必要があるかどうかを確認します。

ステップ3：アップグレードしたい該当チャンネルを選択し、[アップグレード]をクリックすると、カメラがアップグレードされます。

3.4.7.2 オンラインアップグレード(診断情報)

ステップ1：NVRに追加されたカメラの新しいバージョンがあるかどうかを確認するために、[確認]をクリックします。

カメラに新しいバージョンがある場合、対応するアップグレード欄のアイコン  が青色に変わり、最新バージョン欄に最新バージョンが表示されます。

カメラ設定

CPU 1% メモリ 29%

カメラメンテナンス

ローカルアップグレード 設定のインポート/エクスポート 再起動 リセット 詳細情報 ログ

エクスポート先 ブラウザ バックアップ

チャンネル	チャンネル名	状態	IPアドレス	チャンネルID	プロトコル	MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル	Backup Progress
<input type="checkbox"/>	1	CAM1	192.168.20.2	1	MSSP				-

更新 戻る

ライブ表示

ステップ2：アップグレードの確認方法は2通りあります。

- アップグレード欄の青いアイコンをクリックすると、カメラがアップグレードされます。
- 一括アップグレードを実現する方法です。アップグレードしたいカメラを選択し、[アップグレード]ボタンをクリックするだけです。

3.5 [管理] ストレージ

録画のための準備

ステップ1：NVRがインストールされ、HDDが初期化されたことを確認します。[ストレージ] → [ディスク管理]画面で確認してください。

ストレージ

CPU 1% メモリ 29%

ディスク管理

ディスク管理 全般設定

ポート	ベンダー	状態	合計	空き	プロパティ	種類	グループ	編集	削除
1	ST2000VM005-2U4102	正常	1.819 TB	1.004 TB	R/W	ローカル	1	<input checked="" type="checkbox"/>	-

総容量 1.819 TB

利用可能容量 1.004 TB

Note: It is risky to the data safety if too much bandwidth is occupied by NAS.

追加 更新 初期化 戻る

ステップ2 : HDDに十分な記憶容量があることを確認します。

[ストレージ]→[AutoBackup]の画面で、ストレージデバイスの容量不足の場合の[リサイクルモード(Recycle Mode)]を有効にする。

ストレージ

CPU 0% メモリ 29%

Auto Backup

Auto Backup 無効

Storage Device デバイスを選択 フォーマット

Available Capacity -

Backup Start Time 毎日 00:00:00

Backup Channel All

1 2 3 4 5 6 7 8

Backup Stream Type メインストリーム

Backup File Type MP4

Recycle 有効

Backup Status

Last Successful Backup

Note: Only the latest 24 hours' video will be backup.

適用 戻る

- リサイクルモード：すべてのストレージデバイスのリサイクルモードを有効または無効にすることができます。
- eSATA機能：ストレージとバックアップの両方が可能です。

3.5.1 ビデオ録画

3.5.1.1 録画スケジュール

ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：録画スケジュールを設定する

(1) [編集]をクリックして、スケジュールを編集します。曜日、録画タイプ、時間を選択し、編集を完了します。

(2) 操作の種類を選択します。連続、イベント（動体検知、オーディオアラーム、アラーム入力、VCA、スマート分析を含む）、消去のいずれかを選択します。そして、タイムテーブルの四角をドラッグして、録画有効時間を設定します。[すべて選択]または[すべて消去]をクリックすると、対応するすべてのスケジュールを設定または消去することができます、便利です。

ステップ3：[コピー]をクリックすると、同じレコードの設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

注: ナンバー・プレートが検出されたときのANPRの録画設定方法です。

ステップ1: [ストレージ]→[ビデオ録画]→録画スケジュール画面で、録画タイプとしてスマート分析を設定します。

スマート分析の隣にある感嘆符は、スマート解析に ANPR が含まれていることを示すために使用されます。

ステップ2: ブラックリストモード、ホワイトリストモード、ビジターモードが必要に応じて有効になっていることを確認します。

ステップ3: ブラックリストモード、ホワイトリストモード、ビジターモードの有効時間とトリガーチャンネルの録画動作を設定します（デフォルトでフル有効時間、トリガーチャンネルの録画が設定されています）。

3.5.1.2 録画設定

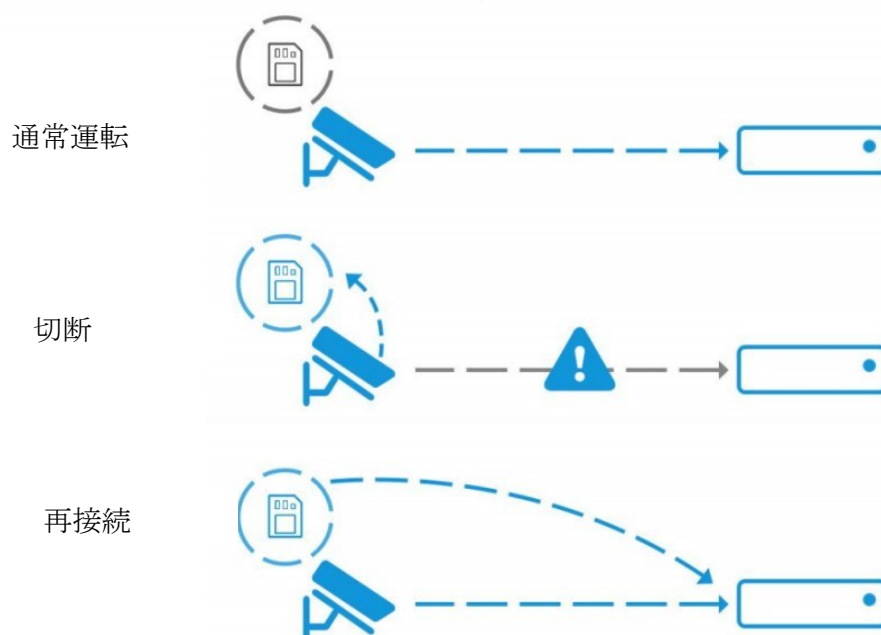
選択したチャンネルの一般的な設定を行います。[コピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

プリ録画	無効
ポスト録画	3分
音声録音	有効
録画ストリーム	メイン+サブストリーム
映像保存期間	無期限

- チャンネルを選択: 設定するチャンネルを選択します。
- 事前録画(プリ録画): イベントの事前録画の継続時間です。イベントがトリガーされる前に録画を開始します。
- ポスト録画: イベントのポスト録画の持続時間。イベント終了後も録画を継続します。
- 音声録画: 音声を記録するかどうかを選択します。
- 録画ストリーム: 録画のメイン ストリームまたはサブ ストリームを選択します。プライマリ+セカンダリ ストリームは、Tで終わるNVRモデルでのみ利用可能です。セカンダリー・ストリームが無効な状態で録画用に選択された場合、セカンダリ

一・ストリームが利用できないことを示すプロンプトがポップアップ表示されま
す。

- 映像保存期間：録画ファイルの期限を設定し、1~120日または無期間が利用可能です。
- ANR（自動atic Network Replenishment）：インターネットの中断による録画のギャ
ップを自動的に補充することができます。下図のように、NVRとカメラ間のネットワ
ーク接続が正常な場合、NVRはビデオを保存します。接続が失われた場合、カメラは
連続録画を開始し、代わりにSDカードにビデオを保存します。そして、再接続後、
NVRは一定期間内にカメラのSDカードから失われたビデオを自動的に取得し、デー
タの欠落を防ぎます。



注

1. ご使用の機器のファームウェアが正しいバージョンであることをご確認ください。
 - カメラV4X. 7. 0. 72以上
 - NVR: V7X. 9. 0. 6またはそれ以上
2. カメラにSDカードが搭載されていること。
3. カメラは、MSSPプロトコルによってNVRに追加される必要があります。
4. NVRに録画スケジュールがあるかどうかに関係なく、カメラはANR録画を行い、再接続後にNVRにリトリーブします。

3.5.2 スナップショット

ストレージ

CPU 3% メモリ 29%

スナップショット

スナップショット スナップショット設定

チャンネル: 1 名称: CAM1

すべてクリア すべて選択 編集

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 休日

消去 常時 イベント

イベント

- 動体検知
- Audio Alarm
- アラーム入力
- VCA
- スマート分析

コピー 適用 戻る

3.5.2.1 スナップショットスケジュール

ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：スナップショットのスケジュールを設定します。

(1) [編集]をクリックして、スケジュールを編集します。曜日と時間を選択し、編集を終了します。

ストレージ

CPU 4% メモリ 27%

スナップショット

スナップショット スナップショット設定

チャンネル: 1

スケジュールを編集

日: 日曜日

種類: 常時録画

Time

間隔1 00:00-00:00

間隔2 00:00-00:00

間隔3 00:00-00:00

間隔4 00:00-00:00

間隔5 00:00-00:00

間隔6 00:00-00:00

間隔7 00:00-00:00

間隔8 00:00-00:00

間隔9 00:00-00:00

間隔10 00:00-00:00

間隔11 00:00-00:00

間隔12 00:00-00:00

コピー OK キャンセル

すべて

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 休日

消去 常時 イベント

イベント

- 動体検知
- Audio Alarm
- アラーム入力
- VCA
- スマート分析

コピー 適用 戻る

(2)操作の種類を選択します。常時、イベント、消去を選択します。イベント録画には、動体検知、オーディオアラーム、アラーム入力、VCA、スマート分析などのイベントが含まれており、イベント再生でけんさくすることができます。そして、タイムテーブルの四角をドラッグして、録画の有効時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、対応するすべてのイベントスケジュールを設定または消去することができます。

ステップ3: [コピー]をクリックすると、同じスナップショットの設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.5.2.2 スナップショット設定

選択したチャンネルの一般的な設定を行います。[コピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

- チャンネルを選択: 設定するチャンネルを選択します。
- スナップショット間隔: スナップショット間隔を設定し、3~86400秒が利用可能です。
- スナップショット期限: スナップショットファイルの期限を設定し、1~120日または無祈願が利用可能です。

The screenshot displays the 'Storage' management interface. On the left is a dark sidebar with a home icon and menu items: 'ビデオ録画', 'スナップショット', 'ディスク管理', 'ストレージモード', 'Auto Backup', and 'ライブ表示'. The main content area is titled 'ストレージ' and includes system status indicators for CPU (7%) and Memory (29%). Below this is a 'スナップショット' section with two tabs: 'スナップショット' and 'スナップショット設定'. The 'スナップショット設定' tab is active, showing a video preview of a boat from 'チャンネル: 1' (CAM1). Below the preview are two configuration fields: 'スナップショット間隔' (Snapshot Interval) set to '10' seconds, and 'スナップショット期限' (Snapshot Retention) set to '無期限' (No Limit). At the bottom right, there are 'コピー' (Copy), '適用' (Apply), and '戻る' (Back) buttons.

3.5.2.3 一般設定

- リサイクルモード: すべてのストレージデバイスのリサイクルモードを有効または無効にすることができます。

eSATA機能: ストレージとバックアップの両方が可能です。

3.5.3 ディスク管理

ディスクの状態を確認したり、ネットワークディスクを追加したりすることができます。

ディスク管理

プロパティ:R/W、読み取り専用が選択可能です。

注：録画スケジュールを設定する前にHDDを初期化することで、録画が正常に行われるようになります。

The screenshot displays the 'Storage Management' (ディスク管理) interface. At the top, it shows system status: CPU 1% and Memory 29%. The main area is titled 'ディスク管理' and contains a table of disks. Below the table, there are two progress bars for '総容量' (Total Capacity) and '利用可能容量' (Available Capacity). A note at the bottom states: 'Note: It is risky to the data safety if too much bandwidth is occupied by NAS.' At the bottom right, there are buttons for '追加' (Add), '更新' (Refresh), '初期化' (Initialize), and '戻る' (Back).

ポート	ベンダー	状態	合計	空き	プロパティ	種別	グループ	編集	削除
1	ST2000VM005-2U4102	正常	1.819 TB	1.004 TB	R/W	ローカル	1	<input checked="" type="checkbox"/>	-

総容量: 1.819 TB
利用可能容量: 1.004 TB

Note: It is risky to the data safety if too much bandwidth is occupied by NAS.

3.5.2.1 ネットワークディスク

NAS (Network-Attached Storage) がネットワーク内にあり、録画ファイルやスナップショットを保存するために適切に設定されている必要があります。NASを追加するには、クリックしてから対応するNAS情報を入力します。

注

1. ネットワークディスクの追加には、NFS形式のNASが唯一のタイプです。
2. ネットワークディスクではなく、ハードディスクを使用することをお勧めします。

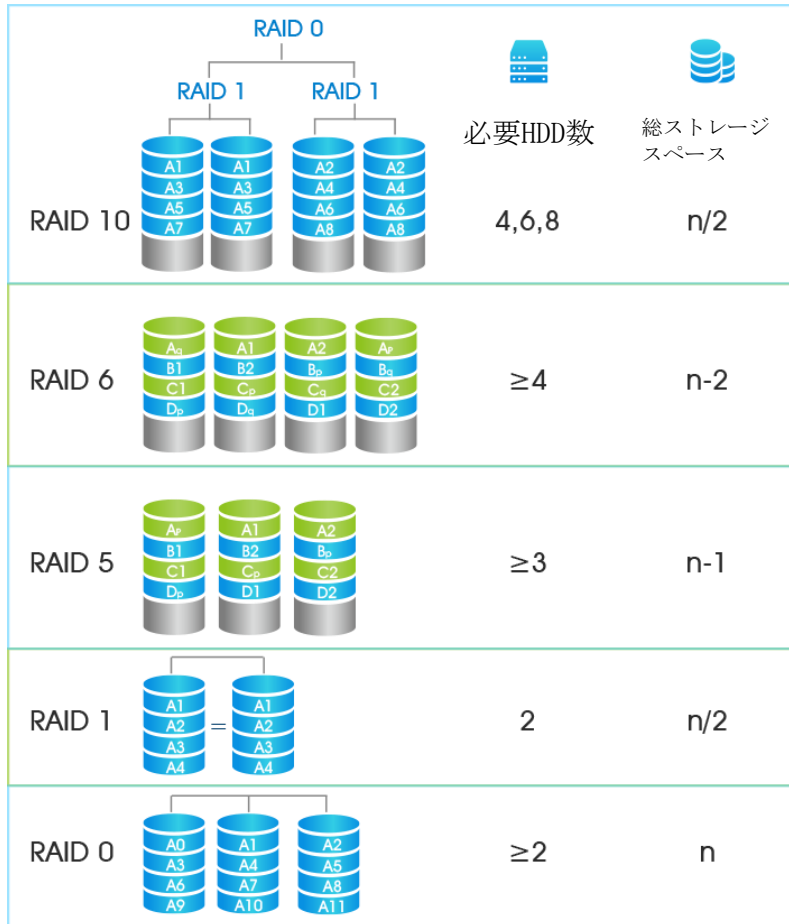


をクリックして、プロパティを編集します。これで、ストレージデバイスの準備が整いました。

- HDDの種類 : RAIDはRAID、NASはネットワーク添付ドストレージ、ローカルはノーマルディスクモードを意味します。

3.5.2.2 RAID

RAID (Redundant Array of Independent Disks) は、複数のディスクドライブのコンポーネントを論理的なユニットに結合するストレージ技術である。RAIDは、複数のハードディスクドライブにデータを保存し、1台のディスクが故障してもデータを復元できるよう、十分な冗長性を持たせています。



ステップ1：RAIDを有効にします。有効にするとNVRは再起動します。

ステップ2：HDDを選択し、[作成]または[クイック作成]をクリックして、新しいアレイを作成します。しばらくすると、新しいアレイが利用可能になります。

- ホットスペア：ディスクは、システムで作成されたすべてのアレイのホットスペアとして使用することができます。
- 再構築：アレイがDegraded状態のとき、デバイスはホットスペアディスクで自動的にアレイの再構築を開始し、データの高い安全性と信頼性を確保することができます。

注

1. RAIDを作成するための16TB以上の容量をサポートし、RAIDのデータは正常に読み書きすることができます。ユーザーの大容量ストレージへの要求に応えます。
2. Quick CreateはRAID5のみ。

3.5.4 ストレージモード

3.5.4.1 クォータ

スナップショットやレコーディングなど、チャンネルごとにストレージ容量を設定できるため、より柔軟にストレージを割り当てることができます。

ストレージ

CPU 5% メモリ 29%

ストレージモード

クォータ

グループ

クォータ 無効

チャンネル 1

使用済みレコード容量 (GB) 211

使用済みスナップショット容量 (GB) 0

レコードクォータ (GB) 0 4-16384

スナップショットクォータ (GB) 0 4-16384

注意：0GBはクォータがないことを意味し、その優先度はクォータがあるものよりも低くなります。

チャンネル	チャンネル名	使用済みレコード容量 (GB)	使用済みスナップショット容量 (GB)	レコードクォータ (GB)	スナップショットクォータ (GB)
1	CAM1	211	0	0	0
2	CAM2	621	0	0	0
3	CAM3	0	1	0	0
4	CAM4	0	0	0	0
5	CAM5	0	0	0	0
6	CAM6	0	0	0	0
7	CAM7	0	0	0	0
8	CAM8	0	0	0	0

ライブ表示

コピー 適用 戻る

ステップ1：クォータを有効にする。

ステップ2：クォータを有効にしたいチャンネルを選択します。すると、対応するチャンネルの使用録画容量と使用スナップショット容量が自動的に表示されます。

ステップ3：録画とスナップショットに対して別々にクォータを設定します。そして、クォータは4から16384GBの範囲です。デフォルトは0GBです。

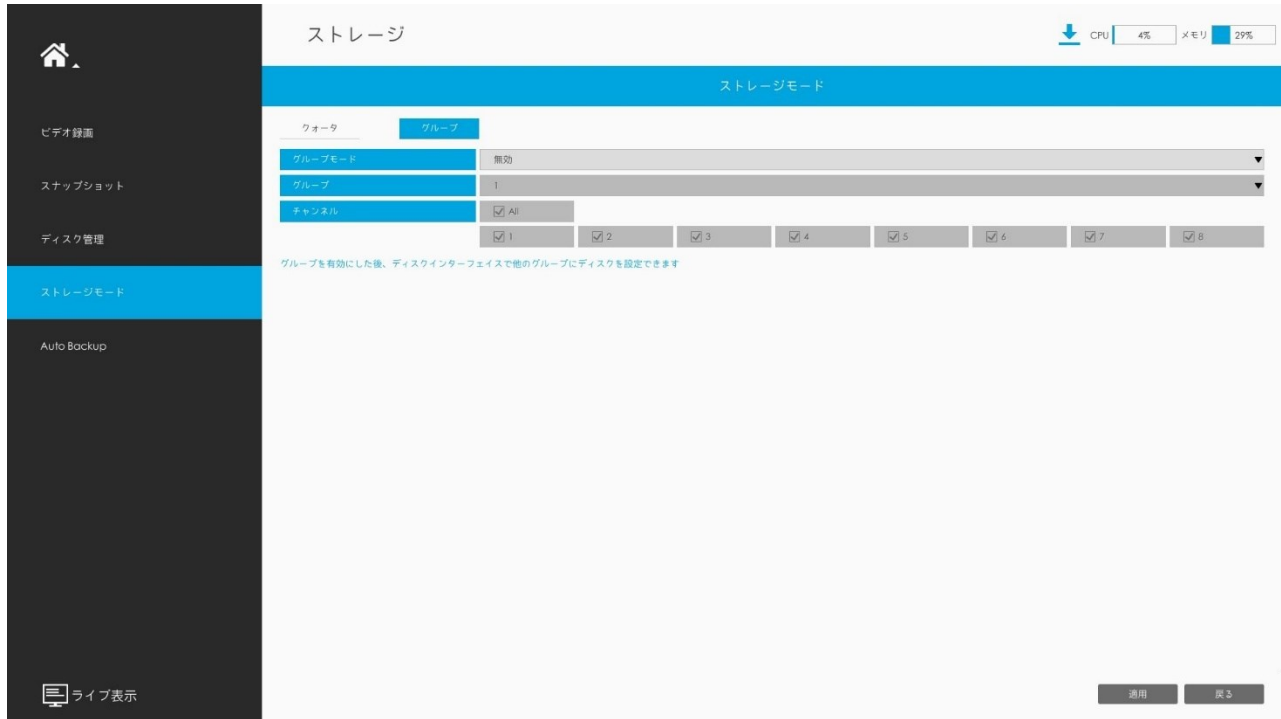
ステップ4：[適用]をクリックして、現在の画面の設定を有効にします。

[コピー]をクリックして、チャンネルコピー画面をポップアップし、選択したチャンネルのクォータ設定を希望するチャンネルにコピーし、[OK]をクリックして、設定を有効にします。

各チャンネルのクォータステータスは、[ストレージモード]→[クォータ画面の下部]にある表に表示されます。


3.5.4.2 グループ

ディスクをグループ分けすることで、異なるチャンネルの録画ファイルを異なるグループに分けて保存することができます。



ステップ1：グループを有効にする。

ステップ2：[ディスクの管理]画面に切り替えます。 をクリックして、各ディスクのグループ番号を設定する。

 注：最大16グループまで追加可能です。

ステップ3：グループと、そのグループに録画したいチャンネルを選択します。

3.5.5 自動バックアップ(AutoBackup)

The screenshot shows the 'Auto Backup' configuration page. The interface includes a sidebar on the left with navigation options like 'ビデオ録画', 'スナップショット', 'ディスク管理', 'ストレージモード', and 'Auto Backup'. The main area is titled 'ストレージ' and 'Auto Backup'. It contains a table of settings:

Auto Backup	無効
Storage Device	デバイスを選択
Available Capacity	-
Backup Start Time	毎日 00:00:00
Backup Channel	<input type="checkbox"/> All <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8
Backup Stream Type	メインストリーム
Backup File Type	MP4
Recycle	有効
Backup Status	
Last Successful Backup	

Below the table, there is a note: "Note: Only the latest 24 hours' video will be backup." At the bottom right, there are buttons for '適用' (Apply) and '戻る' (Back).

ステップ1：自動バックアップを有効にします。

ステップ2：ストレージデバイスをUSBデバイス、NAS、またはeSATAディスクとして選択します。

ステップ3：バックアップ開始時刻を設定します。

ステップ4：バックアップチャンネルを選択するためにチェックボックスをオンにします。また、 All をクリックして、すべてのチャンネルを選択することもできます。

ステップ5：バックアップストリームタイプをメインストリームまたはサブストリームに設定します。

ステップ6：バックアップファイルの種類をMP4、AVI、PSに設定します。

ステップ7：自動バックアップ機能のリサイクルモードを有効または無効にすることができます。

ステップ8：[適用]をクリックして設定を保存すると、最新24時間分の動画が自動的にストレージデバイスにバックアップされます。

注

1. 自動バックアップの状態はバックアップステータスバーで確認でき、対応するステータスは以下の通りです。
 - ストレージデバイスなし
 - サポートされていないストレージデバイスのフォーマット
 - スタンバイ
 - 働く (xx%)
2. すでにバックアップに成功している動画がある場合は、[Last Successful バックアップ]バーにバックアップ終了時刻が表示されます。

3.6 [管理] イベント

3.6.1 動体検知

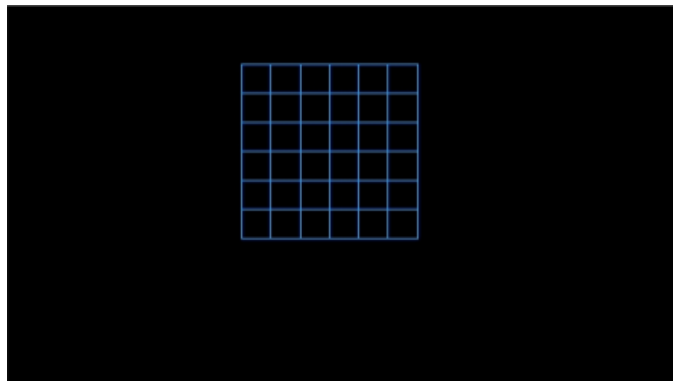
The screenshot displays the 'Event Settings' (イベント設定) page for motion detection (動体検知). The page includes a sidebar with navigation options like 'Audio Alarm', 'ビデオロス', and 'アラーム入力'. The main content area shows a camera feed with a grid overlay, a channel name 'CAM1', and configuration options for sensitivity, duration, and actions. The 'Motion Detection' (動体検知) section is currently active, and the 'Sensitivity' (感度) slider is set to 5. The 'Motion Detection' (動体検知) checkbox is checked, indicating it is enabled.


ステップ1：動体検知を有効にする。

チャンネル、感度を選択し、 をクリックして動体検知を有効にします。

ステップ2：動体検知のトリガーとなるエリアを設定します。

ライブビューウィンドウ上で四角をドラッグすることで、エリアを設定することができます。



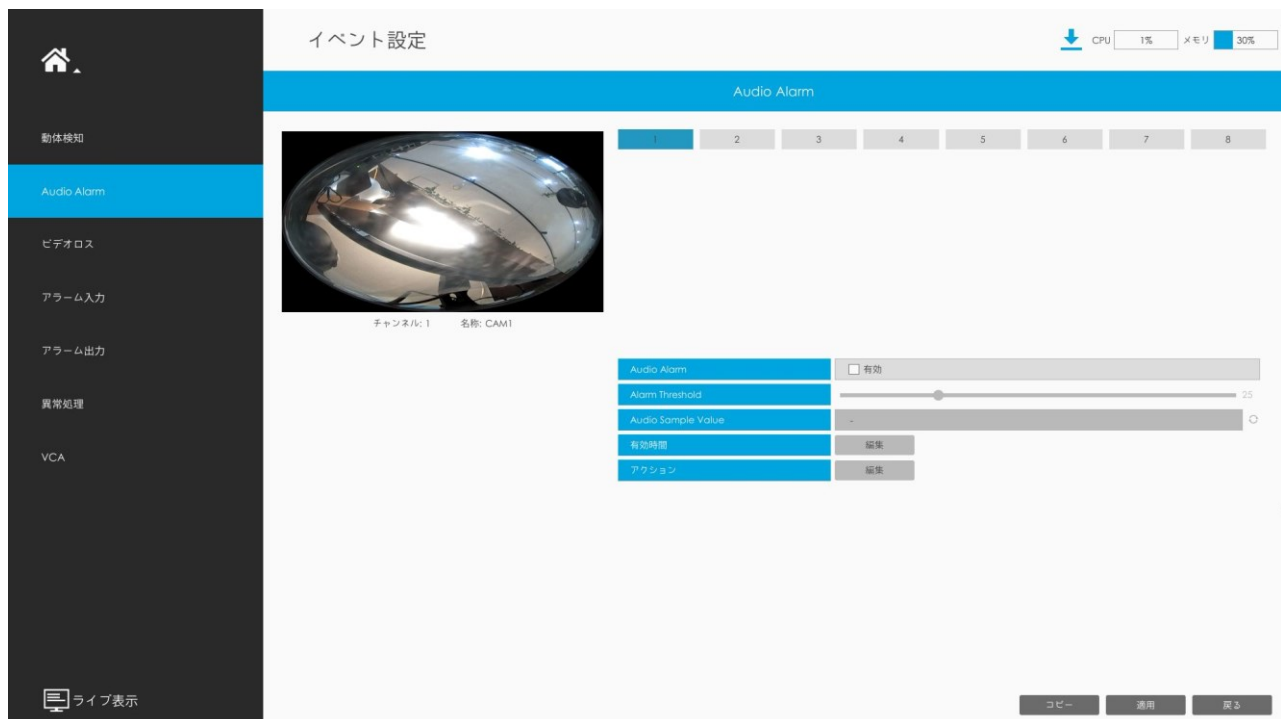
 **注：** 動体検知検索エリアは、カメラに同期して表示されます。

ステップ3： [編集] をクリックして、動体検知の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。[すべて選択] または [すべてクリア] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。

ステップ4： [編集] をクリックし、動体検知アラームのアクションを設定します。

3.6.2 音声通知(Audio Alarm)



イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。次の2つの方法で効果的なスケジュールを設定できます。

1. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を指定します。

を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。

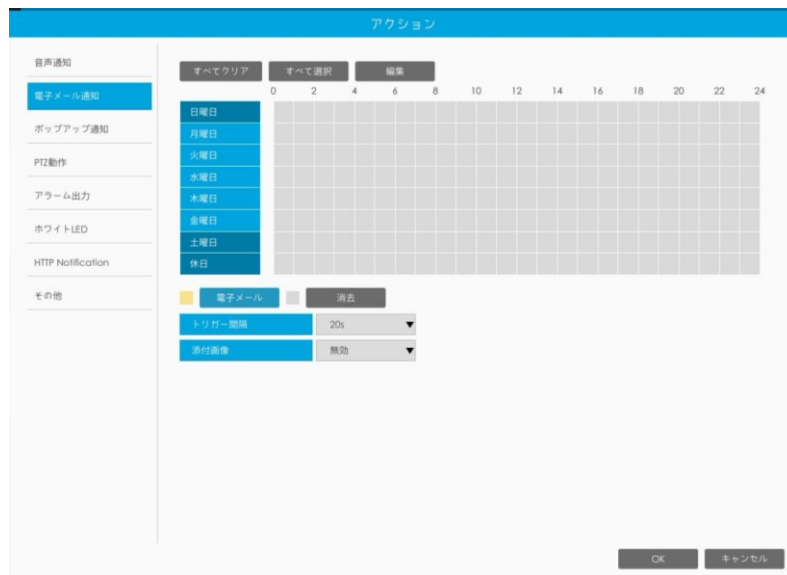
2. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

- オーディオファイル(AudioFile) : 可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。
- トリガー間隔 : イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 電子メール通知 : NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。

2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

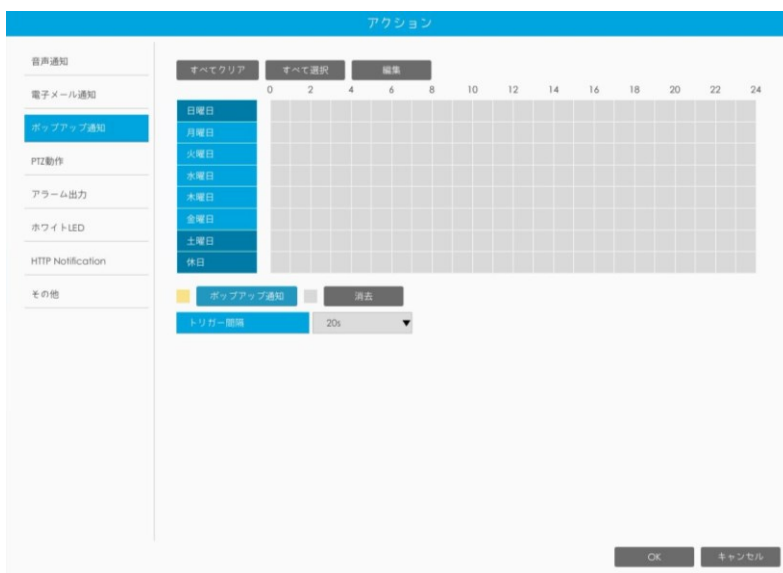
- トリガー間隔 : イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 添付画像 : メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



- ポップアップ通知 : アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定] → [一般] → [デバイス] → [ポップアップ通知時間] でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継

続時間通りに表示されます。

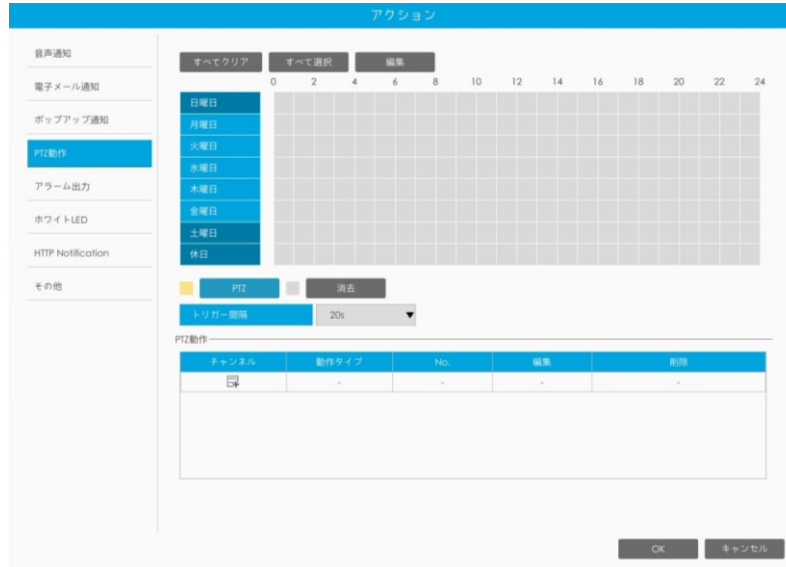
1. 操作の種類、ポップアップ通知と消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



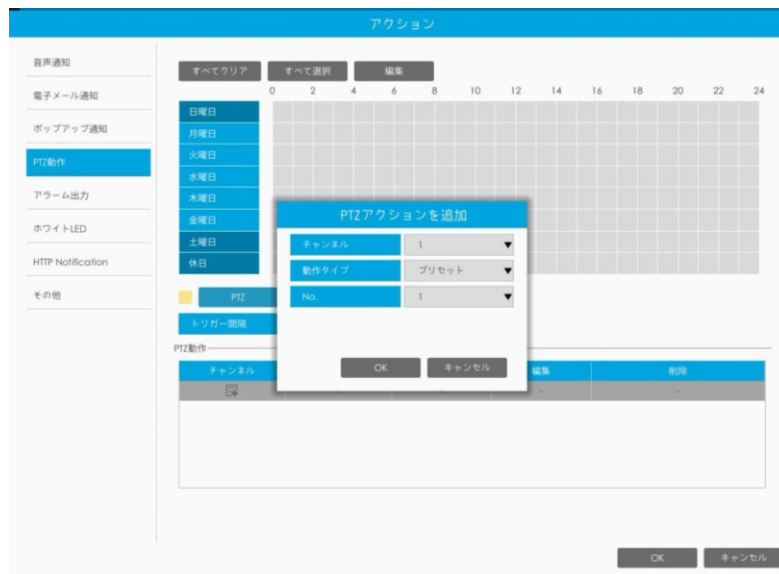
- PTZ動作：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。

以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

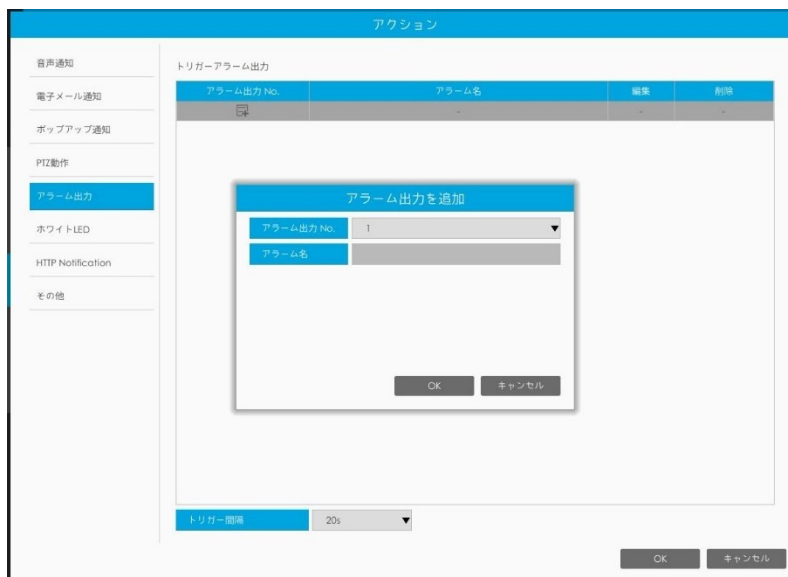
1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。



また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。



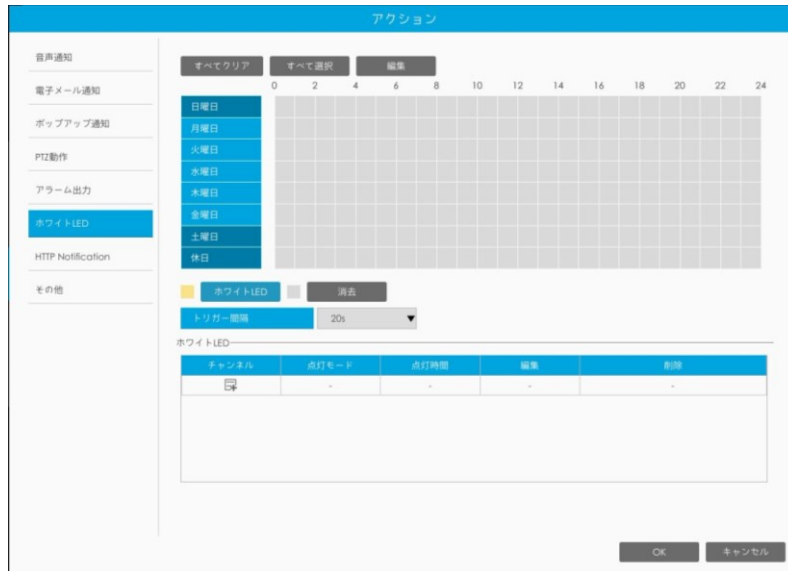
- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。
- No：プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力：アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。




- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。


以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



また、 をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- フラッシュモード：点滅と常時があります。
- フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。フラッシュモードが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。フラッシュモードが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。
- その他：アラーム発生時に選択したチャンネルをトリガーして録画します。

 注：イベントアクションを設定する前に、録画とスナップショットのスケジュールが正しく設定されていることを確認してください。

ステップ5：[コピー]と をクリックし、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

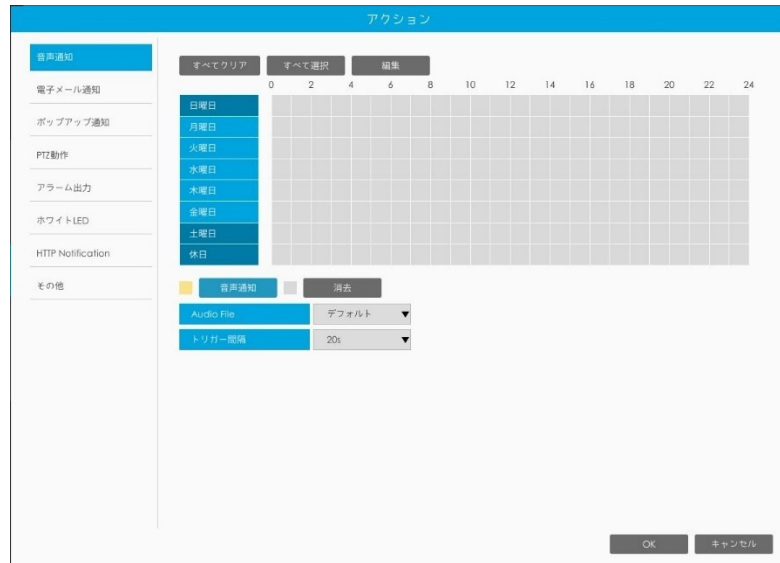
3.6.3 ビデオロス



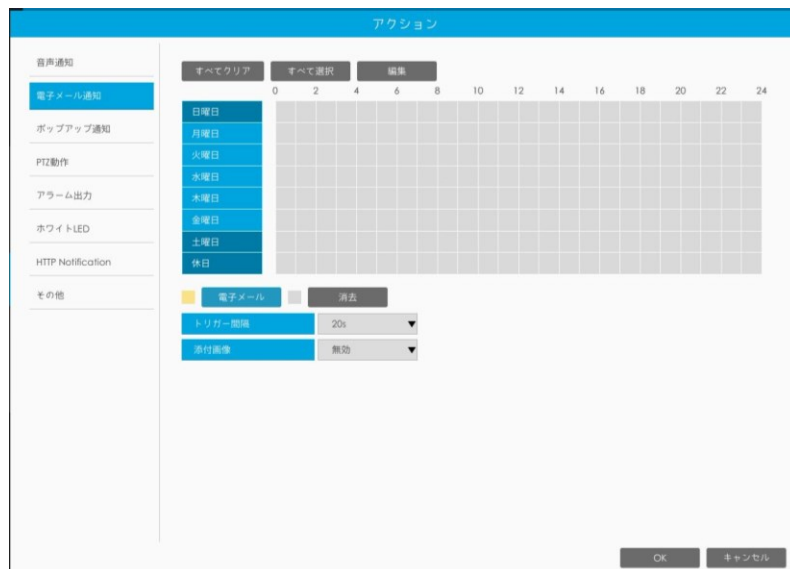
ステップ1：チャンネルを選択します。

ステップ2：ビデオロスに対するアクションを[編集]をクリックして設定します。

- 音声通知：イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。次の2つの方法で効果的なスケジュールを設定できます。
3. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を指定します。
を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
 4. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。
- オーディオファイル(AudioFile)：可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビーブ音です。
 - トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



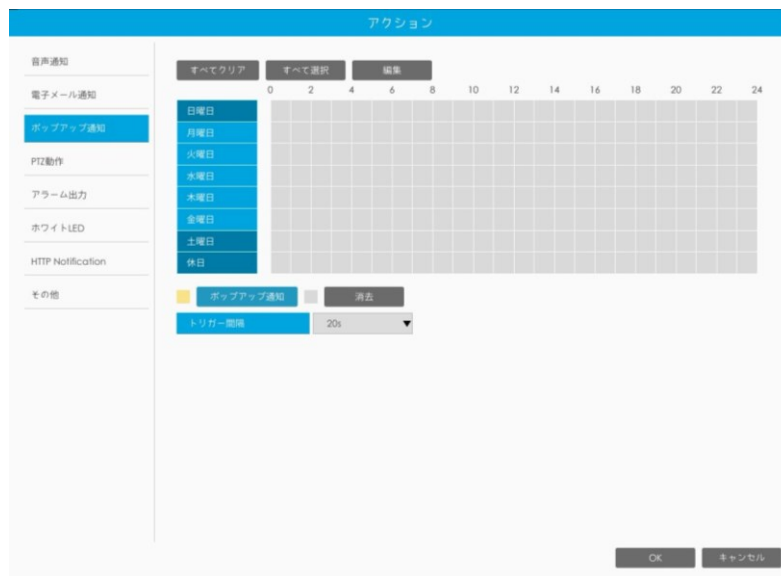
- 電子メール通知：NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。
 1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 添付画像：メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



- ポップアップ通知：アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定]→[一般]→[デバイス]→[ポップアップ通知時間]でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継続時間通りに表示されます。

1. 操作の種類、ポップアップ通知と消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

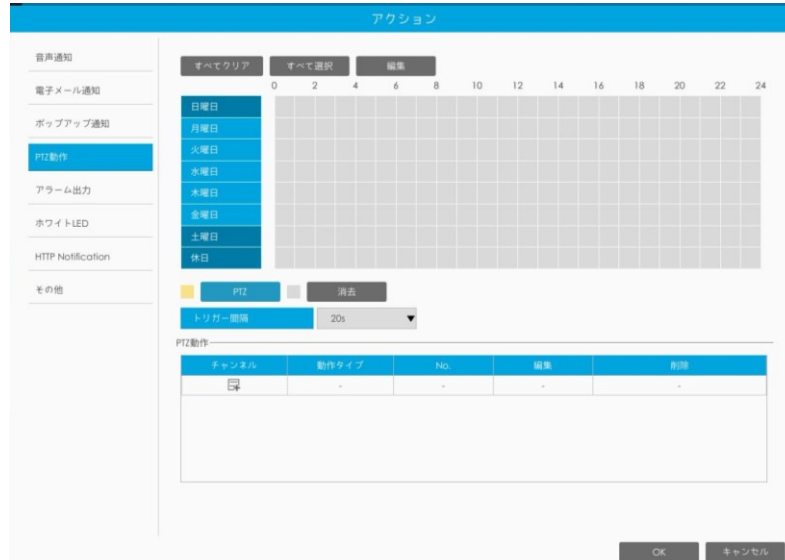
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- PTZ動作：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。

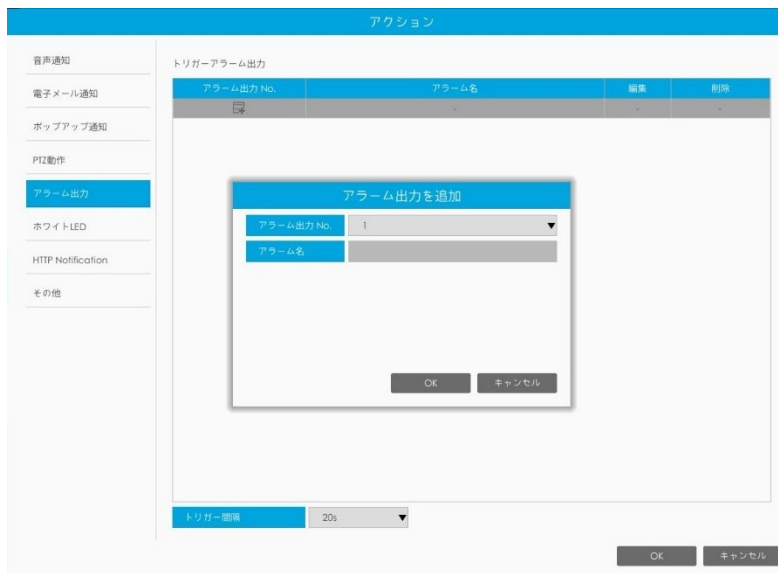
以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。



また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。
- No:プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力：アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。

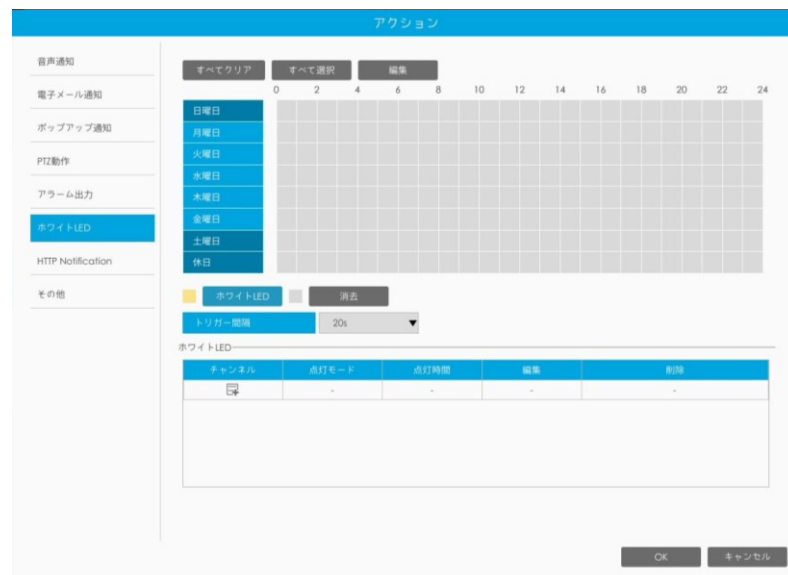



- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。

以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



また、 をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- フラッシュモード：点滅と常時があります。
- フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。フラッシュモードが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。フラッシュモードが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。

ステップ3：[コピー]  をクリックし、同じ設定を他のチャンネルにコピーします。

3.6.4 アラーム入力

3.6.4.1 NVRアラーム入力

ステップ1：アラーム入力番号、アラーム名、アラームタイプを設定します。

アラーム入力番号：入力信号があるチャンネルです。

アラーム名：アラームの名前を設定します。

アラームのタイプ：アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。

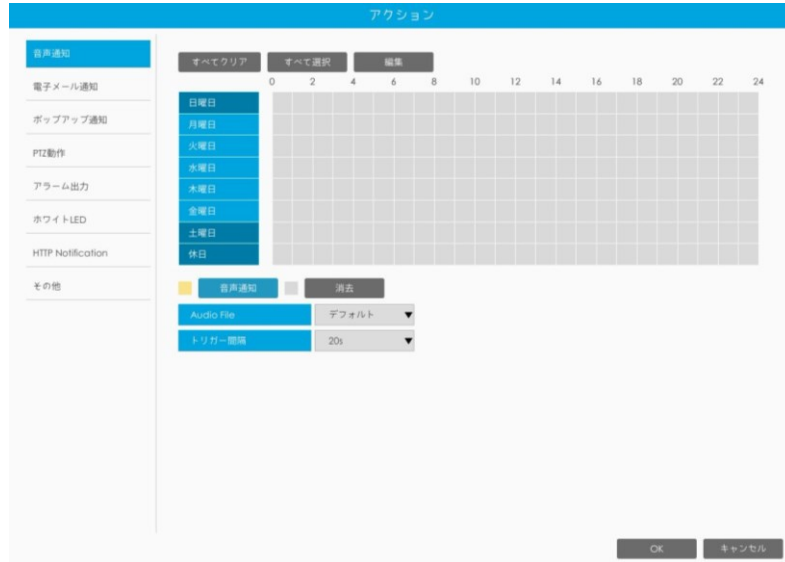
ステップ2：[編集]をクリックして、アラーム入力の有効時間を設定します。

ステップ3：アラーム入力の動作を設定するには、対応する[編集]をクリックします。音声通知：イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。次の2つの方法で効果的なスケジュールを設定できます。

操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。

1. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

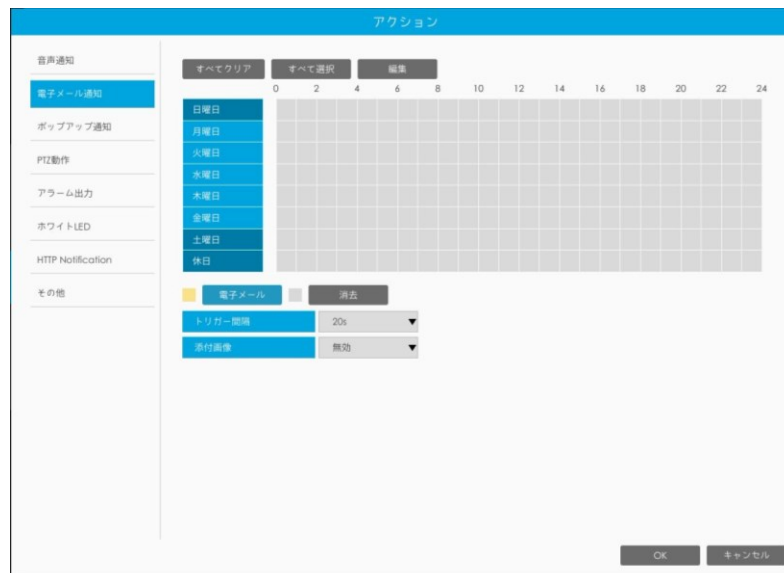
- オーディオファイル(AudioFile)：可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- 電子メール通知 : NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

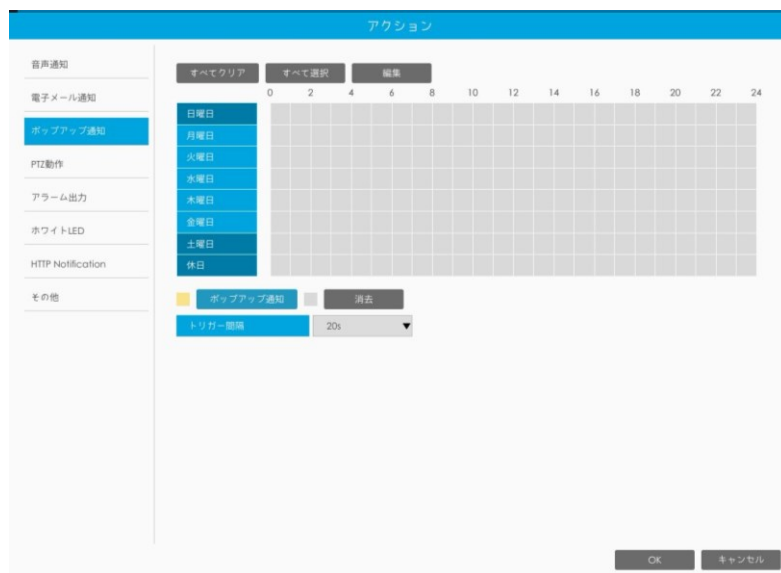
- トリガー間隔 : イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 添付画像 : メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



- ポップアップ通知：アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定]→[一般]→[デバイス]→[ポップアップ通知時間]でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継続時間通りに表示されます。

1. 操作の種類、ポップアップ通知と消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

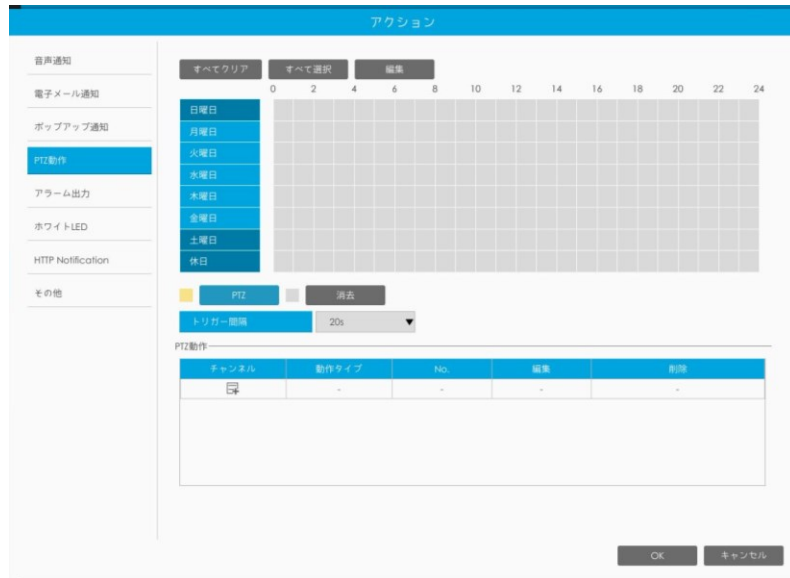
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- PTZ動作：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。

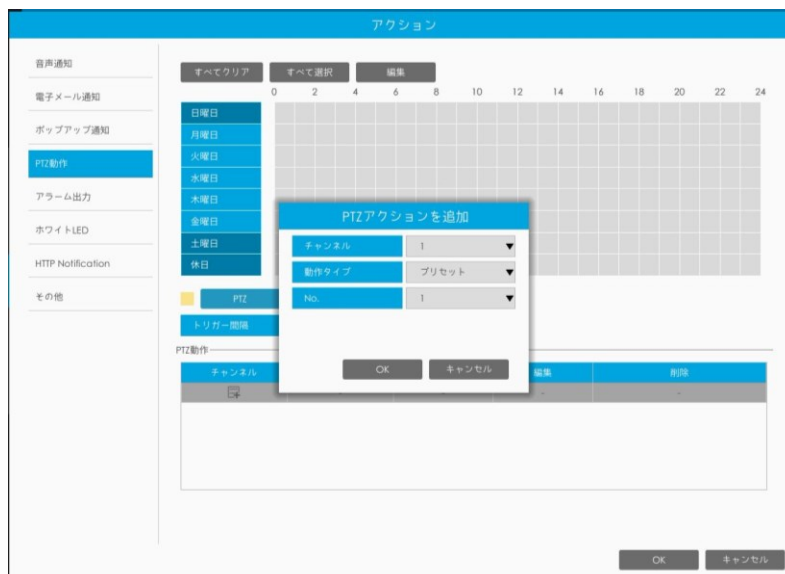
以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

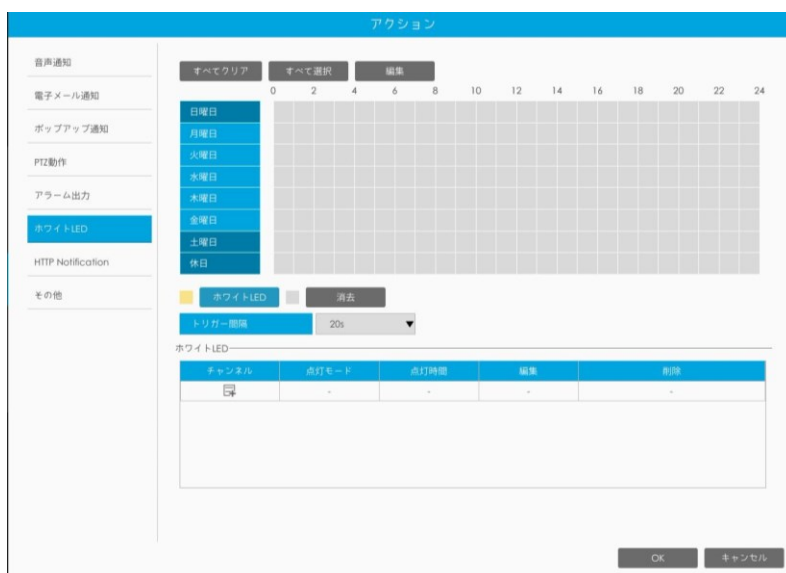



また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。
- No: プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力：アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。
 1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



また、 をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- フラッシュモード：点滅と常時があります。
- フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。フラッシュモードが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。フラッシュモードが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。
- その他：アラーム発生時に選択したチャンネルをトリガーして録画します。

ステップ4: [コピー]をクリックして、アラーム入力設定を他の入力画面にコピーします。

3.6.4.2 カメラアラーム入力

NVRは、カメラのアラーム入力を直接設定することをサポートしています。

ステップ1: アラーム入力番号の設定、アラーム入力の有効化、アラーム名とアラームタイプの設定

The screenshot shows the 'Alarm Input' configuration interface. On the left is a dark sidebar with a home icon and menu items: 動体検知, Audio Alarm, ビデオロス, アラーム入力 (highlighted), アラーム出力, 異常処理, and VCA. At the bottom of the sidebar is a 'ライブ表示' button. The main content area is titled 'イベント設定' and 'アラーム入力'. It features a camera feed for 'CAM1' with 'チャンネル: 1' and '名称: CAM1'. Below the feed is a table for configuring alarm inputs. The first input is selected, showing 'アラーム入力 No.' as 1, 'アラーム入力' as an unchecked checkbox, 'アラーム名' as an empty text field, 'アラームタイプ' as a dropdown menu set to 'N.O.', '有効時間' with an '編集' button, and 'アクション' with an '編集' button. At the bottom right of the main area are 'コピー', '適用', and '戻る' buttons.

- アラーム入力番号：入力信号があるチャンネルです。
- アラーム入力：[有効]をクリックすると、このチャンネルのアラーム入力が有効になります。
- アラーム名：アラームの名前を設定します。
- アラームのタイプ：アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。

ステップ2: [編集]をクリックし、アラーム入力の有効時間を設定します。

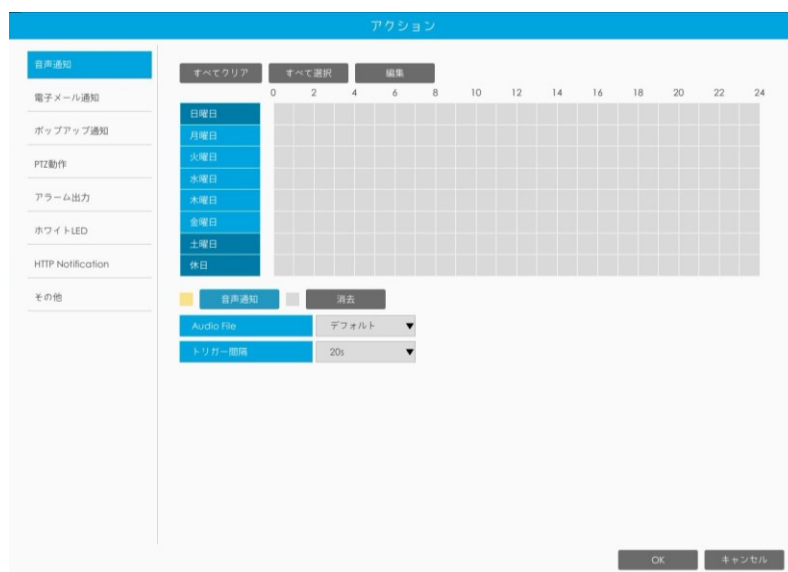
ステップ3: アラーム入力に対応するアクションを設定します。

- 音声通知：イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。次の2つの方法で効果的なスケジュールを設定できます。
 1. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックす

ると、すべての時間設定が完了します。

2. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

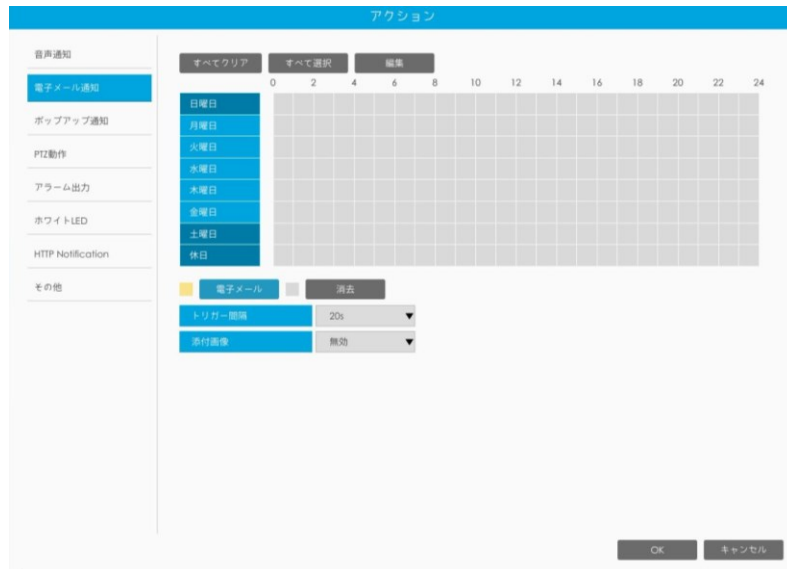
- オーディオファイル(AudioFile) : 可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。
- トリガー間隔 : イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- 電子メール通知:NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

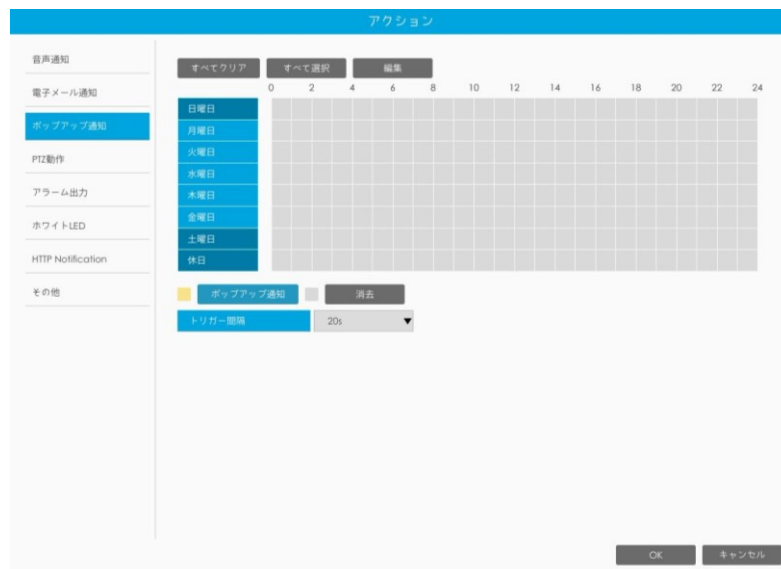
- トリガー間隔 : イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。
- 添付画像 : メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



- **ポップアップ通知**：アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定]→[一般]→[デバイス]→[ポップアップ通知時間]でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継続時間通りに表示されます。

1. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

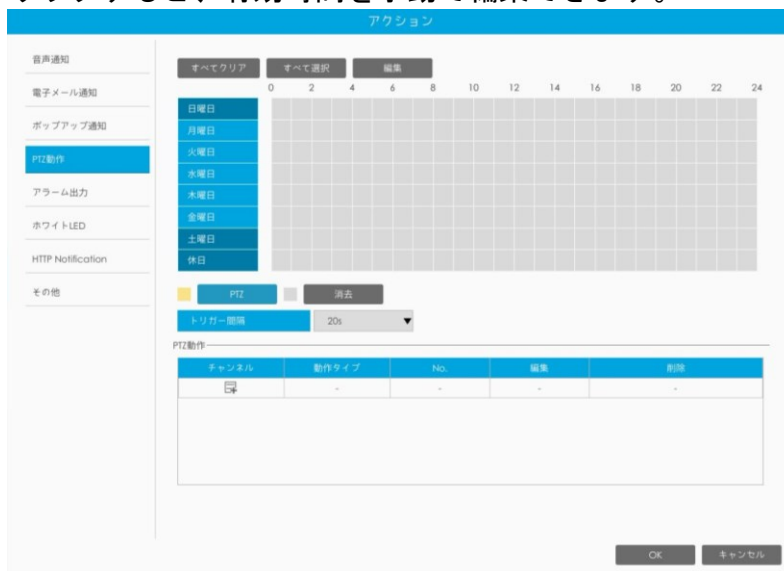
- **トリガー間隔**：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- **PTZ動作**：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。

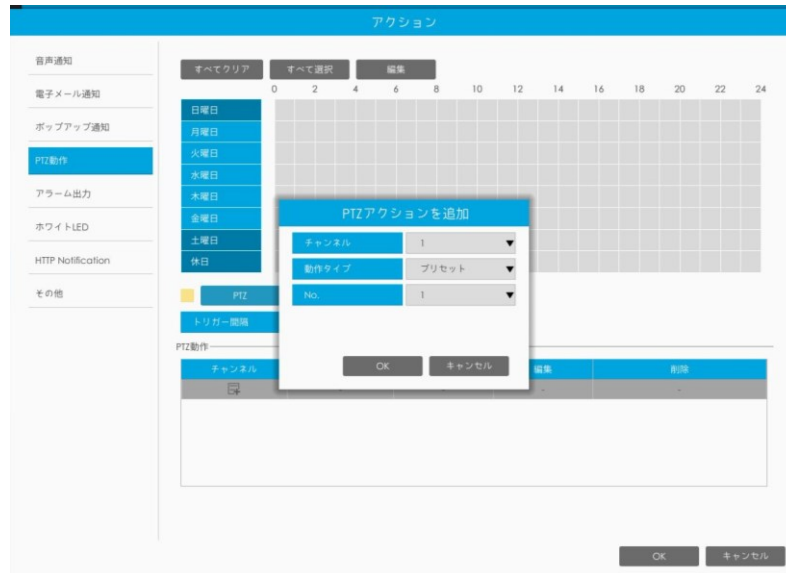
以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

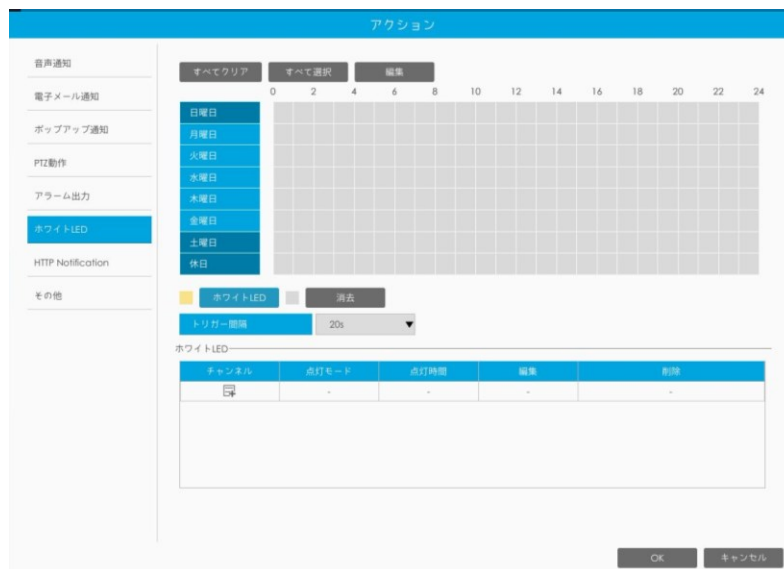



また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。
- No:プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力：アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。
 1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



また、 をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

- フラッシュモード：点滅と常時があります。
 - フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。フラッシュモードが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。フラッシュモードが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。
 - その他：アラーム発生時に選択したチャンネルをトリガーして録画します。
- ステップ4: [コピー]をクリックして、アラーム入力設定を他の入力画面にコピーします。

3.6.5 アラーム出力

3.6.5.1 NVRのアラーム出力

ステップ1：アラーム出力チャンネル、アラーム名、アラームタイプ、録画チャンネルを設定します。

アラーム出力No.：アラーム信号を出力するチャンネルです。

アラーム名：アラームの名前を設定します。

アラームのタイプ：アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。

アラーム持続時間：アラームの出力時間です。出力アラームが長く続く場合は、手動クリアを選択してアラームを停止させることができます。

ステップ2：有効期間の[編集]をクリックして、アラーム出力の有効時間を設定します。



以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 有効期間または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて消去]をクリックすると、すべての時間設定を行うことができます。
2. [編集]をクリックすると、録画有効時間を数値で編集できます。
3. [OK]で画面を閉じ、[適用]をクリックして保存します。

ステップ3 : [コピー]をクリックして、アラーム出力設定を他の出力画面にコピーします。


3.6.5.2 カメラアラーム出力

ステップ1 : アラーム出力チャンネル、アラームNo.、アラームタイプなどを設定します。

イベント設定 CPU 2% | メモリ 30%

アラーム出力

NVRアラーム出力 | **カメラアラーム出力**



1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---

チャンネル: 1 名称: CAM1

アラーム出力 No.	1
アラーム名	
アラームタイプ	N.C.
アラーム持続時間	5s
有効期間	編集

コピー 消去 戻る

- アラーム出力No. : 入力信号がある対応するチャンネルのアラーム出力番号です。
- アラーム名 : アラームの名前を設定します。
- アラームのタイプ : アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。
- アラーム持続時間 : アラームの出力時間です。出力アラームが長く続く場合は、手動クリアを選択してアラームを停止させることができます。

ステップ2 : 有効期間の[編集]をクリックして、アラーム出力の有効時間を設定します。

1. 操作の種類を選択します。アラーム出力または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて消去]をクリックすると、すべての時間設定を行うことができ、より便利です。
2. [編集]をクリックすると、録画有効時間を手動で編集できます。



3. [OK]で画面を閉じ、[適用]をクリックして保存します。

ステップ3: [コピー]をクリックして、アラーム出力設定を他の出力画面にコピーします。

3.6.6 異常処理



ステップ1: [異常の種類]を選択します。

- ネットワーク切断：ネットワークが切断されました。
- HDD容量不足：ディスクが一杯になりました。リサイクルモードがOFFの時に発生することが多いです。
- 録画に失敗しました：HDD故障、HDDフルなど、録画に失敗した場合。
- HDD異常：HDDの認識に失敗しました。
- ディスクが未フォーマット：ディスクが未初期化です。
- ディスク無し：ストレージデバイスがありません。

ステップ2：イベント通知、音声警告、メール連動、アラーム出力などのアクションを選択します。

- イベント通知(アラームのポップアップ表示)：アラームが発生した場合、ライブビューに通知が表示されます。
- 音声通知：NVRは音声通知をトリガーします。可聴警告に必要なオーディオ・ファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。
- 電子メール通知：アラームが発生した場合、アラームメールを送信します。
- トリガー間隔：録画失敗イベントを検出したときに電子メールを送信する間隔を設定します(電子メールを送信するときにトリガー間隔を設定するのは録画失敗イベントのみサポート)。
- NVRアラーム出力：NVRは対応するアラーム出力をトリガーします。

対応するイベントが発生すると、ボトムバーでプロンプトアイコンが自動的に点滅します。また、手動でロックを解除することも可能です。

3.6.7 VCA

エンターテインメント、ヘルスケア、小売、自動車、輸送、ホームオートメーション、安全・安心など幅広い検索エリアで応用されている映像コンテンツ解析技術を使用しています。

VCA機能は、ネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ解析を提供します。基本機能と高度機能に分かれた10の検出モードによりネットワークカメラの性能を高め、総合的な監視機能とさまざまな監視シーンへのカメラの素早い対応を可能にします。

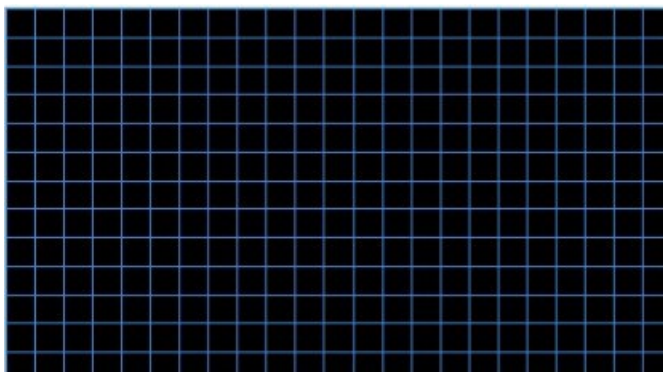
3.6.7.1 エリア侵入検知

侵入検知は、不審者や物体の進入による潜在的な脅威から特定のエリアを保護するのに役立ちます。リージョン・エントランスを有効にすると、選択したエリアに物体が侵入した際にアラームが作動します。

The screenshot displays the 'イベント設定' (Event Settings) page for VCA. The left sidebar contains navigation options: 動体検知, Audio Alarm, ビデオロス, アラーム入力, アラーム出力, 異常処理, and VCA (highlighted). The main content area is titled 'イベント設定' and includes system status (CPU 6%, メモリ 30%) and a 'VCA' section. Under 'VCA', there are tabs for various detection modes: エリア侵入検知 (selected), エリア離脱検知, 高度な動体検知, 妨害検知, 境界線検知, 徘徊検知, 人物検知, and 置き去り/持ち去り検知. A video preview window shows a camera view with a red bounding box around an object. Below the preview, there are two rows of size limits: 最少サイズ (1x1~320x240) with values 3 and 3, and 最大サイズ (1x1~320x240) with values 320 and 240. The configuration table for Region No. 1 includes: エリア侵入検知 (有効), 地域 (編集), Object Size Limits (編集), 高度 (slider at 5), 検出オブジェクト (人間, 車両), 有効時間 (編集), and アクション (編集). At the bottom right, there are buttons for コピー, 適用, and 戻る.

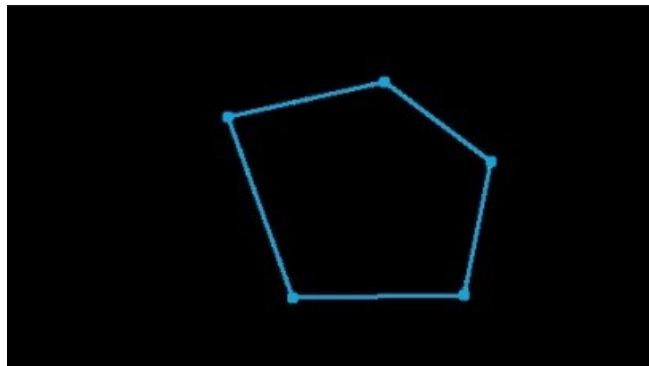
ステップ1：チャンネルとリージョン番号(ReigionNo.)を選択し、侵入検知を有効にする。

ステップ2：侵入検知のエリア(地域)を設定する。



[編集]ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、[編集]ボタンをクリックすることで、その検索エリアを編集することができます。デフォルトで全画面となっています。四隅をドラッグして範囲を変形できます。また、[全てを設定][全てを削除]を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。

ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出エリアの描画に対応します。



ステップ3：オブジェクトサイズの制限を設定します。

[編集]ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。最ぞをオブジェクトの四隅を動かして決めることも可能です。

- 最小サイズ：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、侵入検知の設定が有効になることを意味します。
- 最大サイズ：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、侵入検知の設定が有効になります。

ステップ4：感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ5：検出オブジェクトを選択します。

人間または車両、あるいはその両方を必要に応じて検出対象として選択します。選択された検出物体のみがアラームを作動させることができます。

注

4. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知オブジェクトに対応していることを確認してください。
5. カメラの機種が、人・車両検知オブジェクトに対応した機器であることを確認してください。

ステップ6：[編集]をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。[すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。

ステップ7：[編集]をクリックして、エリア入口アラームのアクションを設定します。

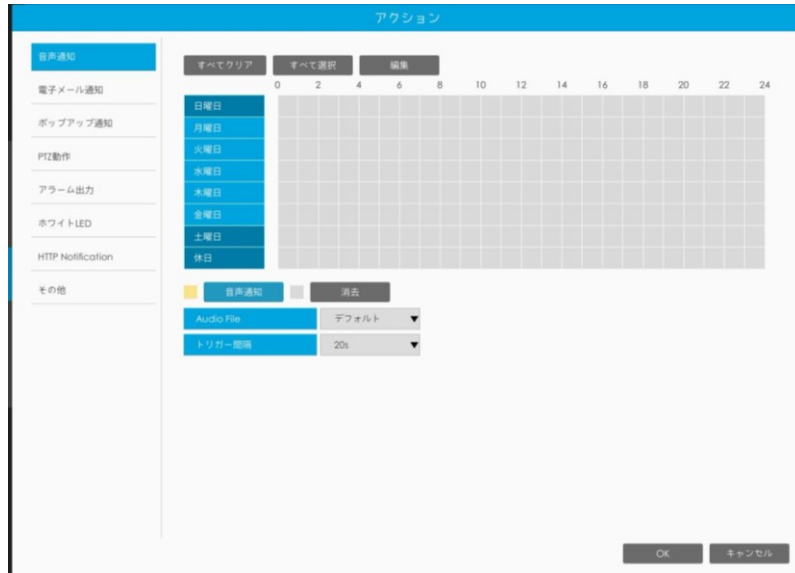
- 音声通知：イベントが検出されると、NVRは音声通知をトリガーします。操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が完了します。

1. [編集] をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

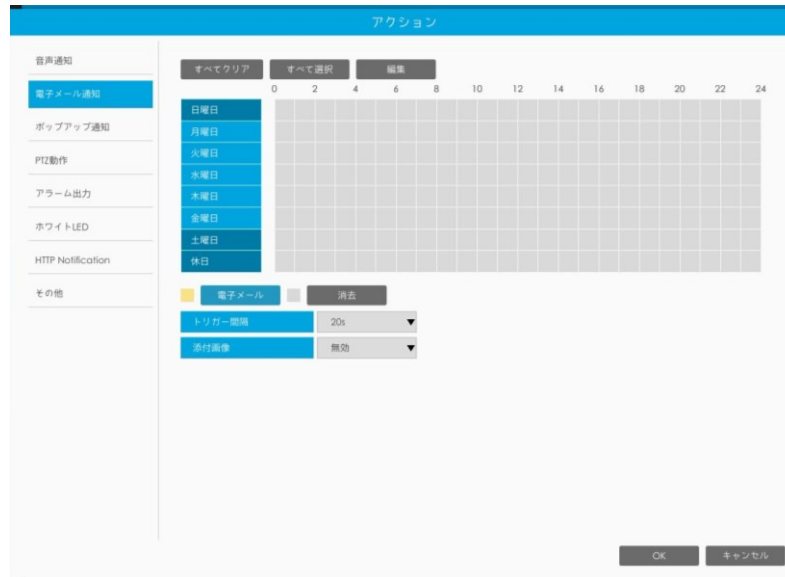
- オーディオファイル(AudioFile)：可聴警告のために必要なオーディオファイルを

選択することができます。デフォルトはビープ音です。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。デフォルトで20 s です。



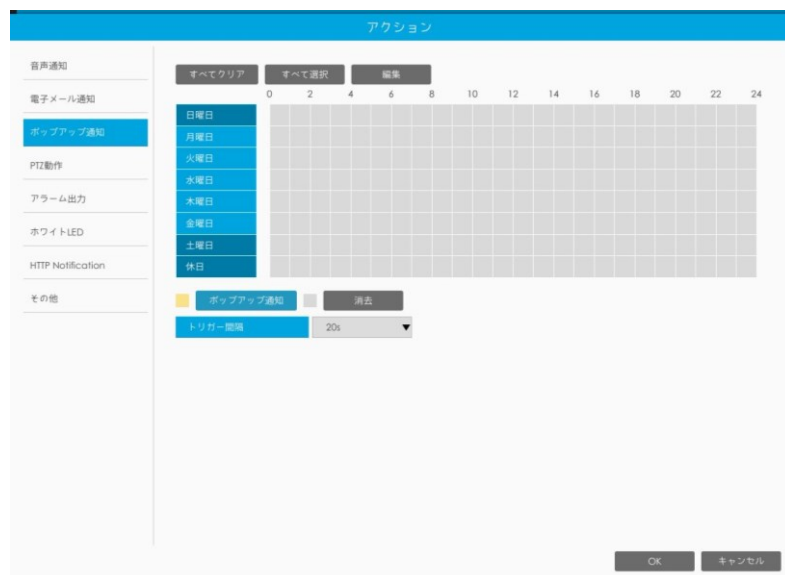
- 電子メール通知：NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。
 1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。
 2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。デフォルトで20 s です。
- 添付画像：メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。デフォルトで無効です。



- ポップアップ通知：アラームがトリガーされたとき、フルスクリーンにトリガーアラームスクリーンをポップアップします。また、[設定]→[一般]→[デバイス]→[ポップアップ通知時間]でトリガーされたすべてのチャンネルの表示時間を設定することができます。そうすると、トリガーされたチャンネルが1つずつ継続時間通りに表示されます。

1. 操作の種類、ポップアップ通知と消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択]または[すべて削除]をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [削除]をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。デフォルトで20sです。

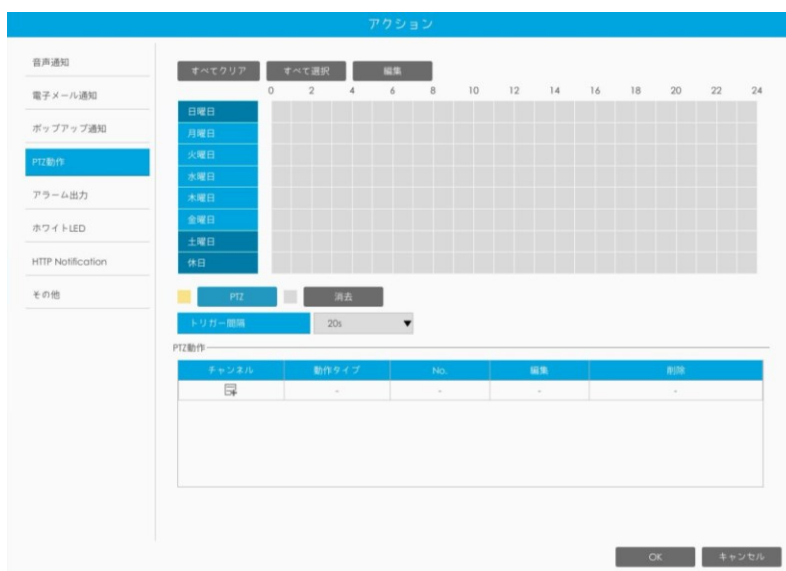


- PTZ動作：アラームが発生したときにPTZ動作をトリガーします。PTZ動作には、プリセットとパトロールがあります。

以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

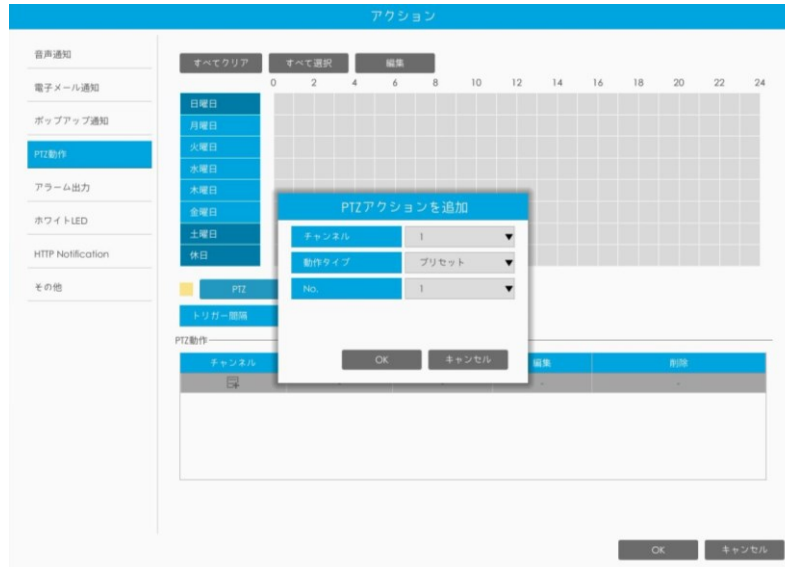
1. 操作の種類を選択します。PTZまたは消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または[すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。デフォルトで20sです。



また、 をクリックすると、PTZ動作を追加することができます。

- チャンネル: 本機能に対応したチャンネルを選択します。
- 動作タイプ: プリセットとパトロールがあります。
- No: プリセットまたはパトロールの番号を選択します。
- アラーム出力: アラームがトリガーされたときに、アラーム出力をトリガーします。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。
- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。デフォルトで20sです。

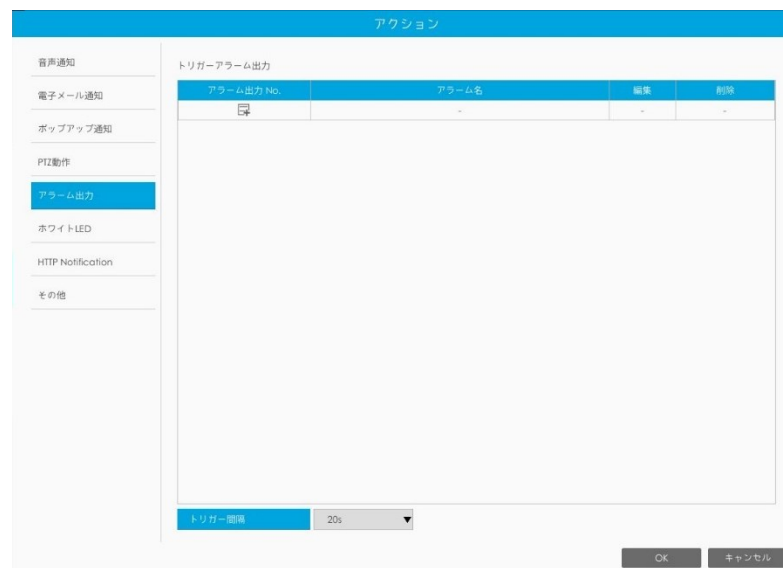


- ホワイトLED：アラームがトリガされたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、有効なスケジュールを設定できます。

以下の2つの方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。[すべて選択] または [すべて削除] をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. [編集] をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

- トリガー間隔：イベントがトリガーされたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



クリックすると、ホワイトLEDを追加できます。

- チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。
- フラッシュモード：点滅と常時があります。
- フラッシュタイム：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。フラッシュモードが点滅の場合、フラッシュタイムの範囲は1～10で、デフォルト値は3です。フラッシュモードが常時の場合、フラッシュタイムの範囲は1～60で、デフォルト値は5です。
- その他：アラーム発生時に選択したチャンネルをトリガーして録画します。3.[OK]で画面を閉じ、[適用]をクリックして保存します。

ステップ8：[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

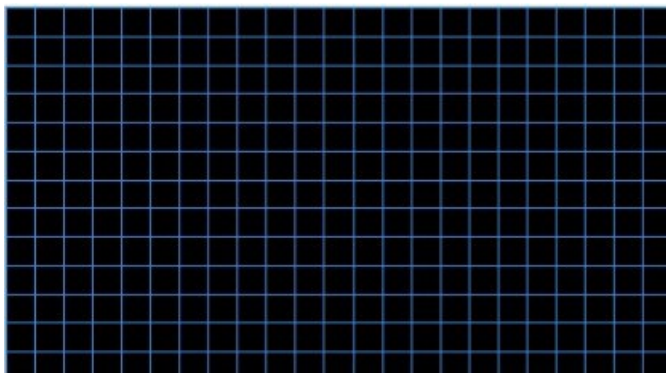
3.6.7.2 退出検知(エリア離脱検知)

退出検知とは、監視しているエリアから人や物が外に出ると、アラームが鳴ります。

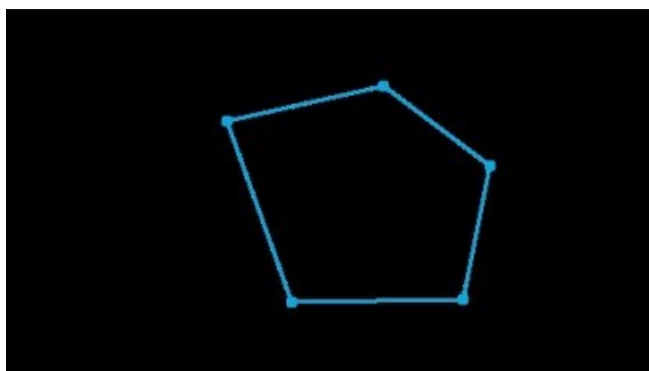
ステップ1：チャンネルとリージョン番号(RegionNo.)を選択し、退出検知を有効にする。

ステップ2：検出エリア(地域)を設定します。

[編集]ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、[編集]ボタンをクリックすることで、その検索エリアを編集することができます。また、[すべて選択]、[すべて削除]を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。



ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出エリアの描画に対応します。



ステップ3：オブジェクトサイズの制限を設定します。サイズをオブジェクトの四隅を動かして決めることも可能です。

[編集]ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- 最小サイズ：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、退出検知の設定が有効になることを意味します。
- 最大サイズ：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、退出検知の設定が有効になります。

ステップ4：感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ5：検出オブジェクトを選択します。

人間または車両、あるいはその両方を必要に応じて検出対象として選択します。選択された検出物体のみがアラームを作動させることができます。

注

6. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知オブジェクトに対応していることを確認してください。

7. カメラの機種が、人・車両検知オブジェクトに対応した機器であることを確認してください。

ステップ6：有効期間の[編集]をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。[すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ7：アクションの[編集]をクリックして、エリア入口アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ8：[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.3 高度な動体検知

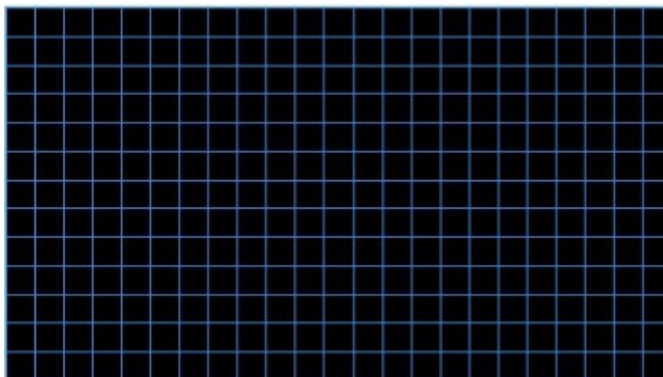
従来の動き検出とは異なり、高度な動体検出は、照明の変化、自然な木の動きなどの[ノイズ]をフィルタリングすることができます。選択された検索エリアでオブジェクトが移動すると、それはアラームをトリガーします。

Region No.	1	2	3	4	5	6	7	8
高度な動体検知	<input type="checkbox"/> 有効							
地域	編集							
Object Size Units	編集							
感度								
検出オブジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 人間 <input checked="" type="checkbox"/> 車両							
初時間のモーションを無視する	OFF							
有効時間	編集							
アクション	編集							

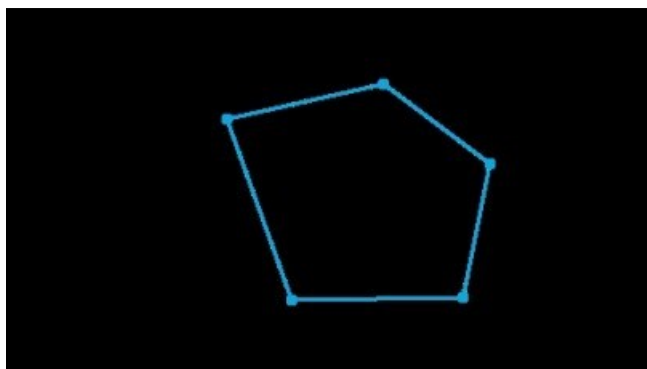
ステップ1：チャンネルとエリアを選択し、高度な動体検知を有効にします。

ステップ2：高度な動体検知のエリアを設定します。サイズをオブジェクトの四隅を動かして決めることも可能です。

[編集] ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、[すべて選択]、[すべて削除] を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。



ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出エリアの描画に対応します。



ステップ3：オブジェクトサイズの制限を設定します。

[編集] ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- **最小サイズ**：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- **最大サイズ**：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4：感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ5：検出オブジェクトを選択します。

人間または車両、あるいはその両方を必要に応じて検出対象として選択します。選

択された検出物体のみがアラームを作動させることができます。

注

1. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知オブジェクトに対応していることを確認してください。
2. カメラの機種が人・車両検知オブジェクトに対応した機器であることを確認してください。

ステップ6：[短時間動体無視する]を設定します。

設定した時間内の動きは無視され、アラームが作動しないため、より正確で効率的な検知が可能です。

注：カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であることを確認してください。

ステップ7：有効期間の[編集]をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ8：[編集]をクリックして、高度な動体検知アラームのアクションを設定します。これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。
ステップ9：[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.4 妨害検知

妨害検知は、カメラのピントが合っていない、障害物がある、動いているなど、改ざんの可能性を検知するために使用されます。この機能は、上記のようなアクションが発生した場合、セキュリティスタッフに即座に警告を発します。

ステップ1：チャンネルを選択し、妨害検知を有効にします。

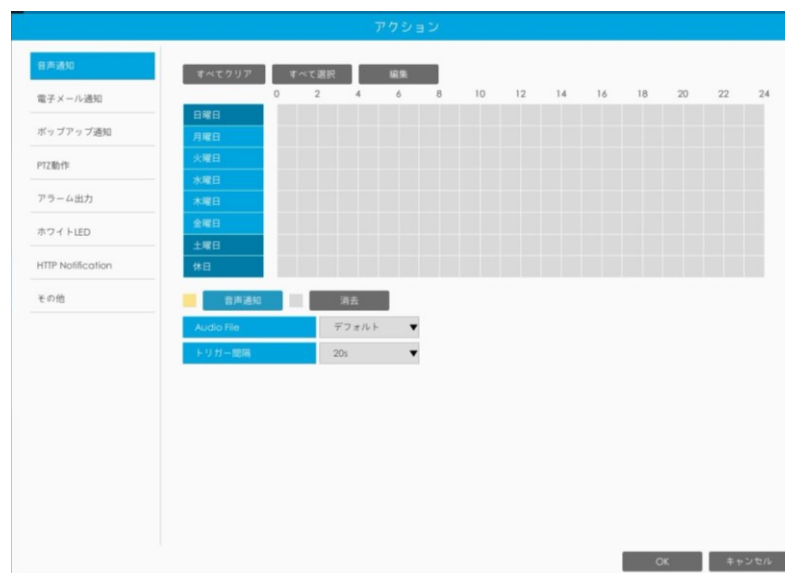


ステップ2：感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ3：有効期間の[編集]をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ4：アクションの[編集]をクリックして、妨害検知アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ5: [カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.5 ラインクロス検知(境界横断検知)

ラインクロス検知は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想線を横切る物体を検出すると、毎回イベントがトリガーされます。

イベント設定

CPU 0% メモリ 30%

VCA

エリア侵入検知 エリア離脱検知 高度な物体検知 妨害検知 **境界横断検知** 検出検知 人物検知 置き去り/持ち去り検知

チャンネル: 1 名称: CAM1

● 最小サイズ(1x1~320x240)	3	X	3
● 最大サイズ(1x1~320x240)	320	X	240

境界線 1

境界横断検知 有効

方向 A->B

Line Edit 編集

Object Size Limits 編集

感度 5

検出オブジェクト 人間 車両

有効時間 編集

アクション 編集

コピー 適用 戻る

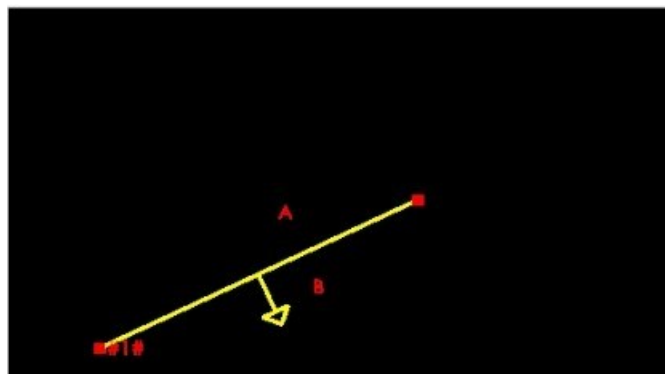
ステップ1: チャンネルを選択し、境界線を有効にします。


ステップ2: 検出ライン番号を選択します。

ステップ3: 方向を設定します。

一度に最大4ラインまで設定可能です。アラームのトリガーには、3つの方向モードがあります。[A→B]は、[A]側から[B]側へラインを横切るオブジェクトがある場合、アラームがトリガされることを意味します。[B→A]はその逆です。[A⇄B]は、どちらかの側からオブジェクトがラインを横切ったときにアラームがトリガーされることを意味します。

ステップ4: [LineEdit]の編集から検出線を引き、[終了]をクリックして保存します。また、[編集]ボタンをクリックすると、その行を編集することができます。



 **注**：Line Crossingの各設定は別々に動作し、互いに影響することはありません。

ステップ5：オブジェクトサイズ(ObjectSizeLimits)の[編集]ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- **最小サイズ**：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- **最大サイズ**：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ6：感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ7：検出オブジェクトを選択します。

人間または車両、あるいはその両方を必要に応じて検出対象として選択します。選択された検出物体のみがアラームを作動させることができます。

 **注**

8. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知オブジェクトに対応していることを確認してください。
9. カメラの機種が、人・車両検知オブジェクトに対応した機器であることを確認してください。

ステップ8：有効期間の[編集]をクリックし、エリア入口の有効時間を設定します。
有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ9：アクションの[編集]をクリックして、ラインクロスアラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ10：[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.6 徘徊検知

決められたエリアに一定時間、物体がうろつくと、アラームが鳴ります。

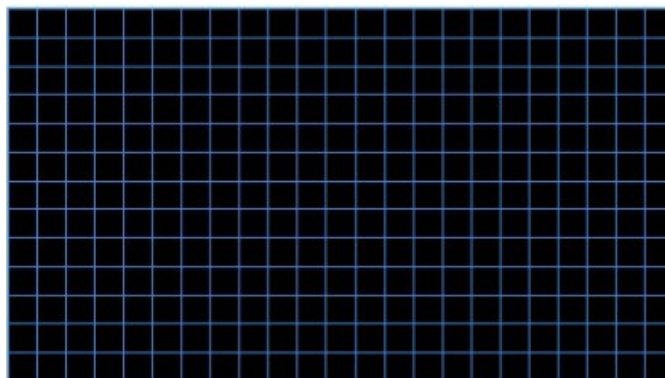
Region No.	徘徊検知	有効
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

最小サイズ (1x1 ~ 320x240)	3	X	3
最大サイズ (1x1 ~ 320x240)	320	X	240

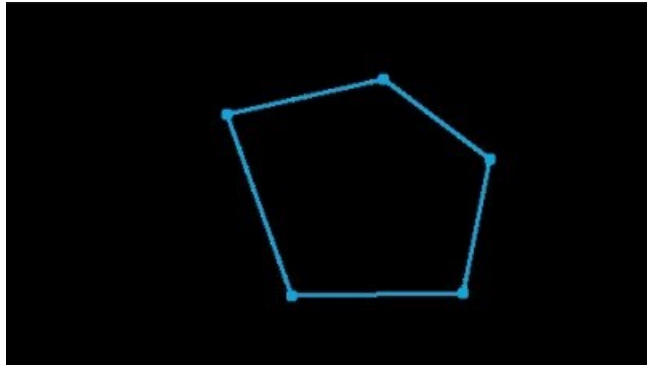
ステップ1：チャンネルとエリア番号(RegionNo.)を選択し、滞留検知を有効にします。

ステップ2：検出検索エリアを設定する。

[編集] ボタンをクリックすると、検出検索エリア(地域)を編集することができます。また、[すべて選択]、[すべて削除]を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。



ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出エリアの描画に対応します。



ステップ3：オブジェクトサイズの制限を設定します。

[編集]ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- 最小サイズ：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- 最大サイズ：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4：最小滞留時間を設定します。

3秒から1800秒の範囲で最小滞留時間を設定した後、最小滞留時間を超えて選択エリアに滞留している物体があれば、アラームが発生します。

ステップ5：検出オブジェクトを選択します。

人間または車両、あるいはその両方を必要に応じて検出対象として選択します。選択された検出物体のみがアラームを作動させることができます。

注

- カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知オブジェクトに対応していることを確認してください。
- カメラの機種が、人・車両検知オブジェクトに対応した機器であることを確認してください。

ステップ6：有効期間の[編集]をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。[すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ7: アクションの[編集]をクリックして、うろつきアラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ8: [[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.7 人物検知

人間検知は、対象物が人間かどうかを判断するために使用されます。

ステップ1: チャンネルを選択し、人物検知を有効にします。

ステップ2: 軌道表示を表示するを有効にするかどうか。

ステップ3: オブジェクトサイズ(ObjectSizeLimits)の制限を設定します。

[編集] ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- 最小サイズ: 最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- 最大サイズ: 最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4: 有効期間の[編集]をクリックして、人体検知の有効時間を設定します。有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。




ステップ5: アクションの[編集]をクリックして、人体検知アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ6: [カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.6.7.8置き去り/持ち去り検知

オブジェクト置き去り検知は、オブジェクトが事前に定義された検索エリアに残された場合に検出され、アラームが発生します。オブジェクト持ち去り検知は、オブジェクトが事前に定義された検索エリアから削除された場合、検出され、アラームが表示されます。

 注: この機能をサポートするには、NVRをV7x. 9. 0. 4-r2以降にアップグレードする必要があります。

ステップ1: チャンネルとエリア番号(RegionNo.)を選択し、オブジェクト置き去り/持ち去り検知を有効にします(または、両方の機能を同時に有効にします)。

イベント設定

CPU 6% メモリ 30%

VCA

エリア侵入検知 エリア離脱検知 高度な物体検知 妨害検知 境界検断検知 徘徊検知 人物検知 **置き去り/持ち去り検知**

1 2 3 4 5 6 7 8



チャンネル: 1 名称: CAM1

● 最少サイズ(1x1~320x240)	3	X	3
● 最大サイズ(1x1~320x240)	320	X	240

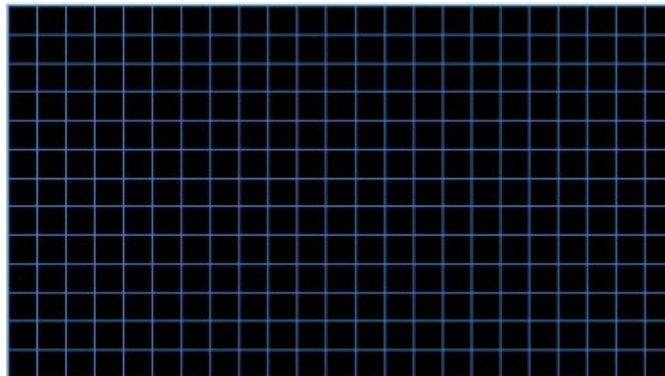
Region No.	1
置き去り検知	<input type="checkbox"/> 有効
持ち去り検知	<input type="checkbox"/> 有効
検出	編集
Object Size Limits	編集
最小時間 (5~1800秒)	20
感度	5
有効時間	編集
アクション	編集

ライブ表示

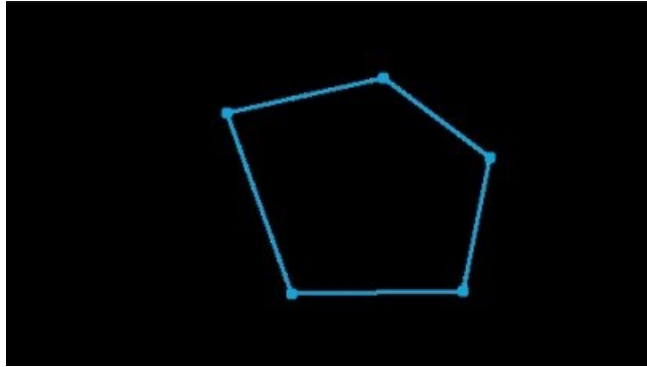
コピー 適用 戻る

ステップ2：検出エリアを設定する。

[編集] ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、[編集] ボタンをクリックすることで、その検索エリアを編集することができます。また、[すべて選択]、[すべて削除] を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。



ファームウェアバージョン 4X. 7. 0. 78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出エリアの描画に対応します。



ステップ3：オブジェクトサイズの制限を設定します。

[編集]ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

- **最小サイズ**：最小サイズは、オブジェクトのサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。
- **最大サイズ**：最大サイズは逆の意味で、オブジェクトのサイズが画面上に描いた枠より小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4：最小時間を設定します。

5秒から1800秒の範囲で最小時間を設定した後、最小時間を超えて選択範囲に物を置いたり、選択範囲から物を取り除いたりすると、アラームが作動します。

ステップ5. 感度を設定します。

感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

ステップ6：有効期間の[編集]をクリックして、オブジェクトの置き去り/持ち去り検知の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。[すべて選択]または[すべてクリア]をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアするとより便利です。



ステップ7：[編集]をクリックして、オブジェクトの置き去り/持ち去り検知アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、[アラームアクション]を参照してください。

ステップ8：[カメラにコピー]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.7 [システム]設定

3.7.1 全般

3.7.1.1 日付&時間

NVRの時刻パラメータを設定するもので、タイムゾーン、夏時間、時刻設定、サーバー・アドレス、NTP同期、間隔などを含みます。



The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page with the '全般' (General) tab selected. The '日付 & 時刻' (Date & Time) sub-tab is active. The settings are as follows:

項目	値
現在のシステム時刻	2023-08-23 13:12:36
タイムゾーン	[UTC+09:00] Japan (Tokyo)
サマータイム	自動
時刻設定	NTPサーバー
サーバーアドレス	pool.ntp.org
NTP同期	有効
間隔	1440 1-43200min

- サーバーアドレス：NTPサーバーのアドレスを手動で入力することをサポートします。
- NTP同期：NTPサーバーと同期するNVRの時刻を設定します。
- 間隔：NTPサーバーと同期する間隔を設定できます。

3.7.1.2 デバイス

デバイス名、HDMI/VGA解像度、言語、HDMI2/VGA2、HDMIオーディオ、オーディオ出力など、NVRの一般的なパラメータを設定するためのものです。

- デバイス名：デバイス名を設定します。
- HDMI1/VGA1解像度：HDMI1/VGA1ポートの出力解像度を設定します。
- HDMI2/VGA2：HDMI2/VGA2ポートを使用するために有効化します。

- HDMI2/VGA2解像度：HDMI2/VGA2ポートの出力解像度を設定します。
- クイックスクリーンスイッチ：クイック画面切り替え機能を有効にした後、マウスをダブルクリックして、メイン画面とサブ画面の制御を切り替えることができます。メイン画面とサブ画面は別々に設定することができ、独自の表示設定により、異なるライブビューまたは再生表示のレイアウトを同時に行うことができ、より効率的で明示的な監視を提供します。
- HDMI1 音声：HDMI1オーディオを使用します。
- 音声出力：オーディオアウトを有効にする。
- ポップアップ表示時間：アラームポップアップ画面の表示持続時間。手動でクリア]を選択した場合、ライブビューは手動操作後にアラーム画面のポップアップ状態を終了します。
- 占有状況・ライブビュー：占有状況・ライブビューを表示するポートを選択します。
- マウスポインター速度レベル：モニター上のマウスの速度を調整します。1から7まで、7つのレベルを選択できます。デフォルトは5です。

表13.

レベル	調整済み速度
1	現在の速度の0.2倍
2	現在の速度の0.3倍
3	現在の速度の0.5倍
4	現在の速度
5(初期値)	現在の速度の2倍
6	現在の速度の3倍
7	現在の速度の4倍

- 起動ウィザード：再起動後にブートウィザードをポップアップするようにします。
- ブート認証：再起動後にユーザーを認証するために有効にします。
- メニュー認証：メニューをクリックしたときに、毎回ユーザー認証を行うようにします。
- メニューのタイムアウト：設定した時間に応じて、画面が自動的にライブビューに切り替わります。
- 自動ログアウト：設定した時間内に操作がない場合、自動的にログアウトします。
- ログアウト時の表示：ユーザーがログアウトしたときのライブビュー画面の表示モードを設定します。3つのオプションがあります。通常モード、占有モード、ターゲットモード。

システム設定

CPU 0% メモリ 29%

全般

日付 & 時刻 **デバイス**

デバイス名	NVR
HDMI/VGA解像度	1920 x 1080 / 60Hz
HDMI 音声	有効
音声出力	有効
ポップアップ表示時間	8秒
マウスポインターの速度レベル	5(デフォルト)

ウィザード

起動ウィザード	有効
ローカル認証	有効
メニュー認証	無効
メニュー タイムアウト	無効
自動ログアウト	無効
ログアウト時に表示	<input type="button" value="編集"/>
言語	日本語

ライブ表示

3.7.2 レイアウト

システム設定

CPU 4% メモリ 30%

レイアウト



チャンネル: 1 名称: CAM1

1 2 3 4 5 6 7 8

Page: 1



ライブ表示

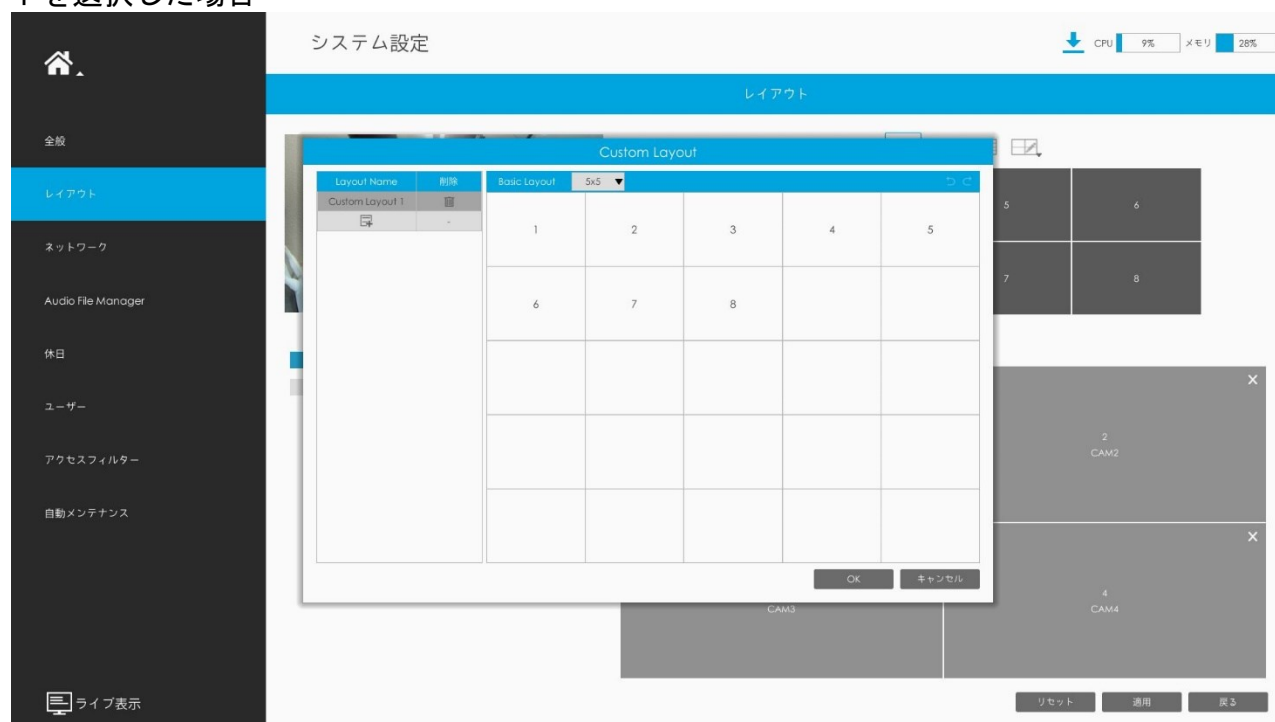
ステップ1：[画面出力]を選択します。



さまざまな画面出力のレイアウトを個別に構成して、さまざまな画面出力を通じてさまざまなシナリオを監視するニーズを満たすことができます。


ステップ2：レイアウト形式を選択します。




1/4/8/9/12/1+11/2+10/16、またはカスタムレイアウトを選択できます。カスタムレイアウトを選択した場合



 ボタンをクリックし、 ボタンをクリックし、新しいカスタムレイアウトを追加します。そして、画面をドラッグしてレイアウトをカスタマイズし、[適用]ボタンをクリックし、[OK]をクリックしてカスタムレイアウトを保存します。

 **注：**基本レイアウトに基づいてカスタムレイアウトを作成でき、最大5*5の基本レイアウトをサポートします。

ステップ3：希望するチャンネルを設定する。

 をクリックして、チャンネルを閉じます。ウィンドウを選択し、追加したいチャンネルを選択します。[Apply]をクリックして設定を保存するか、[Reset]をクリックしてレイアウトをリセットします。

ステップ4：現在のレイアウトの設定を他のレイアウトに適用するかどうかを選択します。

3.7.3 ネットワーク

3.7.3.1 基本 動作モード

マルチアドレス、ロードバランス、ネットフォールトトレランスの3つの作業モードをサポートします。

マルチアドレス・モードでは、必要に応じてLAN1またはLAN2をデフォルト・ルートに設定することができます。

システムは、IPv4とIPv6の2つのIPアドレス形式をサポートしています。

IPv4

IPv4 DHCPを有効にし、IPの自動検索を行います。DHCP機能を有効にすると、IP/サブネットマスク/ゲートウェイは変更できなくなります。

IPv4 DHCPを無効にし、IP/サブネットマスク/ゲートウェイを手動で変更できるようにします。

IPv6

手動/ルーターアドバタイズメント/DHCPv6が利用可能です。

DNSサーバー

- (プライマリ)優先DNSサーバー：DNSサーバーのIPアドレス。
- (セカンダリ)代替DNSサーバー：DNSサーバーの代替アドレス。

システム設定

CPU 4% | メモリ 29%

ネットワーク

基本	UPnP	DDNS	E-mail	P2P	PPPoE	SNMP	Multicast	高度な設定
<input checked="" type="checkbox"/> LAN								
IPv4 DHCP		無効						IPv6モード
IPv4アドレス		192.168.11.50						IPv6アドレス
IPv4サブネットマスク		255.255.255.0						IPv6ブレイクス長
IPv4ゲートウェイ		192.168.11.1						IPv6ゲートウェイ
プライマリDNSサーバー		8.8.8.8						
セカンダリDNSサーバー								
MTU		1500						
MACアドレス		1C:C3:16:08:36:B7						
内蔵NIC IPv4アドレス		192.168.20.1						

適用 戻る

注：

1. ネットワークでDHCPサーバーが実行されている場合は、[DHCP]チェックボックスをオンにします。
2. DHCPを有効にすると、それに応じてDNSが変更されます。
3. MTUの有効範囲は1200～1500です。
4. 他の機器と競合するIPアドレスを入力しないでください。

3.7.3.2 UPnP

この機能を有効にすると、ルーターで各ポートのポートマッピングを設定する必要がなく、ルーターがUPnPに対応した時点で自動的にルーターのポートマッピングが行われます。

3.7.3.3 DDNS

DDNSのチェックボックスにチェックを入れて有効にし、DDNSサーバーを選択して、ユーザー名、パスワード、ホスト名を入力します。設定を保存するのを忘れないでください。

注： [ホスト名]は文字で始まる必要があり、数字、文字、およびハイフンのみを含めることができます。

3.7.3.4 E-mail

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) interface. The 'ネットワーク' (Network) section is active, and the 'E-mail' tab is selected. The settings are as follows:

項目	設定
E-mail	無効
ユーザー名	
パスワード	
SMTPサーバー	
SMTPポート	
送信元アドレス	
送信先 E-mail アドレス 1	
送信先 E-mail アドレス 2	
送信先 E-mail アドレス 3	
暗号化	<input type="checkbox"/> TLS <input type="checkbox"/> SSL
ホスト名	http://


アラームがトリガーされると、スナップショットが受信者に送信されます。

電子メール選択を有効にし、設定を開始します。

- ユーザー名：メールを送信するために選択したメールアドレスです。完全なメールアドレスを入力してください。

- パスワード：メール送信時のパスワードです。
- SMTPサーバー：電子メールのSMTPサーバーです。
- SMTPポート：SMTPサーバーのポート。通常は25。
- 送信元のメールアドレス：[ユーザー名]と同じである必要があります。
- 送信先E-mailアドレス(1~3)：受信者のメールアドレス。3つまで登録できます。
- 暗号化：メール送信のセキュリティプロトコル（TLS、SSLなど）。
- ホスト名：メールに添付されます。

メール機能が動作するか確認する場合は、[テスト]を選択します。

 **注：**NVRにホスト名のポート転送IPがある場合は、ポートを含む完全なアドレスを入力してください。

3.7.3.5 PPPoE


PPPoEは、PPPプロトコルとイーサネットを組み合わせたもので、イーサネットホストは単純なブリッジングデバイスを通じてリモートアクセスコンセントレータに接続できます。

システム設定

ネットワーク

基本	UPnP	DDNS	E-mail	P2P	PPPoE	SNMP	Multicast	高度な設定
PPPoE	無効							
ダイヤルアップIP	0.0.0.0							
ユーザー名								
パスワード								
パスワード確認								

注：UPnPとPPPoEの両方が有効になっている場合、PPPoEのみが有効になります。

 **注：**UPnPとPPPoEの両方が有効になっている場合、PPPoEのみが有効になります。

3.7.3.6 SNMP

SNMPはSimple Network Management Protocolの略称で、ネットワーク環境全体でNVRを監視および管理するのに便利です。SNMPは、多くのネットワーク・デバイス、ソフトウェアおよび

システムで広く使用されています。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポート経由でNVRの情報を受信できるように管理してください。トラップ・アドレスを設定することで、NVRはアラーム・イベントと例外メッセージを監視センターに送信することができます。



The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page with the 'ネットワーク' (Network) tab selected. The 'SNMP' sub-tab is active, displaying a configuration table. The table has columns for '基本' (Basic), 'UPnP', 'DNS', 'E-mail', 'P2P', 'PPPoE', 'SNMP', 'Multicast', and '高度な設定' (Advanced Settings). The 'SNMP' column is expanded to show the following settings:

項目	値
SNMP V1	無効
SNMP V2c	無効
読込コミュニティ	public
書込コミュニティ	private
SNMP V3	無効
読込セキュリティ名	
セキュリティレベル	no auth, no priv
書込セキュリティ名	
セキュリティレベル	no auth, no priv
SNMPポート	161

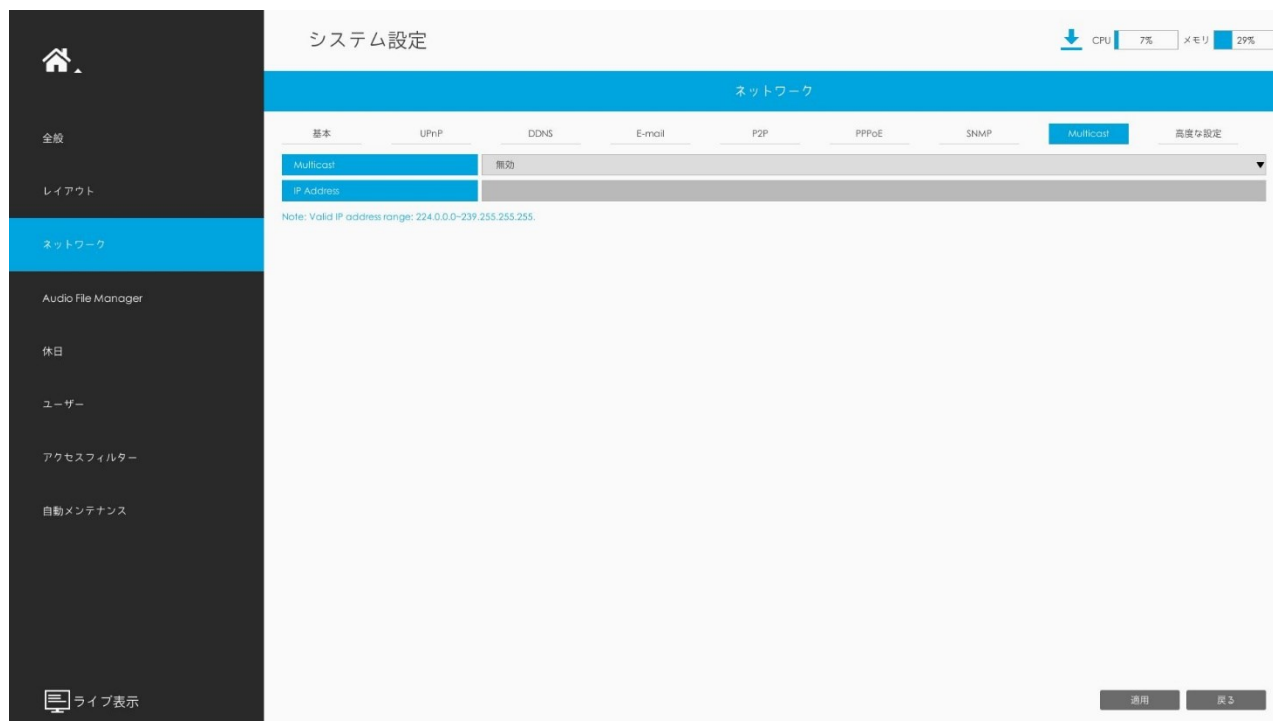
At the bottom right of the page, there are buttons for '適用' (Apply) and '戻る' (Back). A sidebar on the left contains navigation options like '全般' (General), 'レイアウト' (Layout), 'ネットワーク' (Network), 'Audio File Manager', '休日' (Holidays), 'ユーザー' (Users), 'アクセスフィルター' (Access Filters), and '自動メンテナンス' (Automatic Maintenance). A 'ライブ表示' (Live View) button is at the bottom left of the sidebar.


- SNMP v1/2/3 : SNMPのバージョンです。お使いのSNMPソフトのバージョンを選択してください。
- SNMP v1 : セキュリティ保護なし
- SNMP v2: アクセスにパスワードが必要
- SNMP v3: HTTPSプロトコルを有効にすることを前提に、暗号化をサポートする。
- 読込コミュニティ : 読み取りコミュニティの名前を入力します
- 書込コミュニティ : 書き込みコミュニティの名前を入力します
- 読込セキュリティ名 : 読み取りセキュリティコミュニティの名前を入力します
- セキュリティレベル : 使用可能なレベルは、(auth、priv) 、 (auth、no priv) 、および (no auth、no priv) の3つです。
- 書込セキュリティ名 : 書き込みセキュリティコミュニティの名前を入力します
- セキュリティレベル : 使用可能なレベルは、(auth、priv) 、 (auth、no priv) 、および (no auth、no priv) の3つです。

- SNMPポート：SNMPポートのデフォルトは161です。

3.7.3.7 マルチキャスト(Multicast)

マルチキャストを有効にしてNVRの負荷を軽減すると、NVRがマルチ接続されている場合でも、ビデオを通常どおりプレビューできます。マルチキャストを有効にしてIPアドレスを入力するだけです。



 注：有効なIPアドレスの範囲：224.0.0.0～239.255.255.255。

3.7.3.8 高度な設定

設定項目	値
SSH	無効
SSHポート	22
HTTPポート	80
HTTPSポート	443
RTSPポート	554
プッシュメッセージ	有効
プッシュウェブキャストストリーム	オート
プッシュメッセージ設定	編集

SSH

SSHアクセスを有効または無効にします。SSH（セキュア・シェル）には多くの機能があります。Telnetに取って代わることができ、FTP、POP、さらにはPPP用の安全なチャンネルも提供します。

SSHポート

デフォルトのSSHポートは22です。R&Dデバッグ専用です。

HTTPポート

デフォルトのHTTPポートは80です。実際のアプリケーションに応じてHTTPポートを変更してください。

注：

1. IEブラウザのデフォルトのHTTPポートは80です。

HTTPSポート

デフォルトのHTTPSポートは443です。実際のアプリケーションに応じてHTTPSポートを変更してください。

注：

1. IEブラウザのデフォルトのHTTPSポートは443です。

RTSPポート

Real Time Streaming Protocol (RTSP) は、TCP/IPプロトコルシステムのアプリケーション層プロトコルです。デフォルトのRTSPポートは554です。実際のアプリケーションに応じてRTSPポートを変更してください。

注：

1. RTSPポートは、リモートネットワークのライブビューに使用されます。
2. RTSPポートの有効範囲は554または1024～65535です。

POSポート

NVRとPOSマシン間の通信ポートです。デフォルトのPOSポートは38800です。

プッシュメッセージ

このオプションを有効にすると、モバイルアプリケーションでアラームメッセージを受信できます。

プッシュストリームタイプ

i-Sightにプッシュするビデオストリームを選択します。自動、プライマリストリーム、セカンダリストリームが利用可能です。

プッシュメッセージ設定

(1)カメライベント

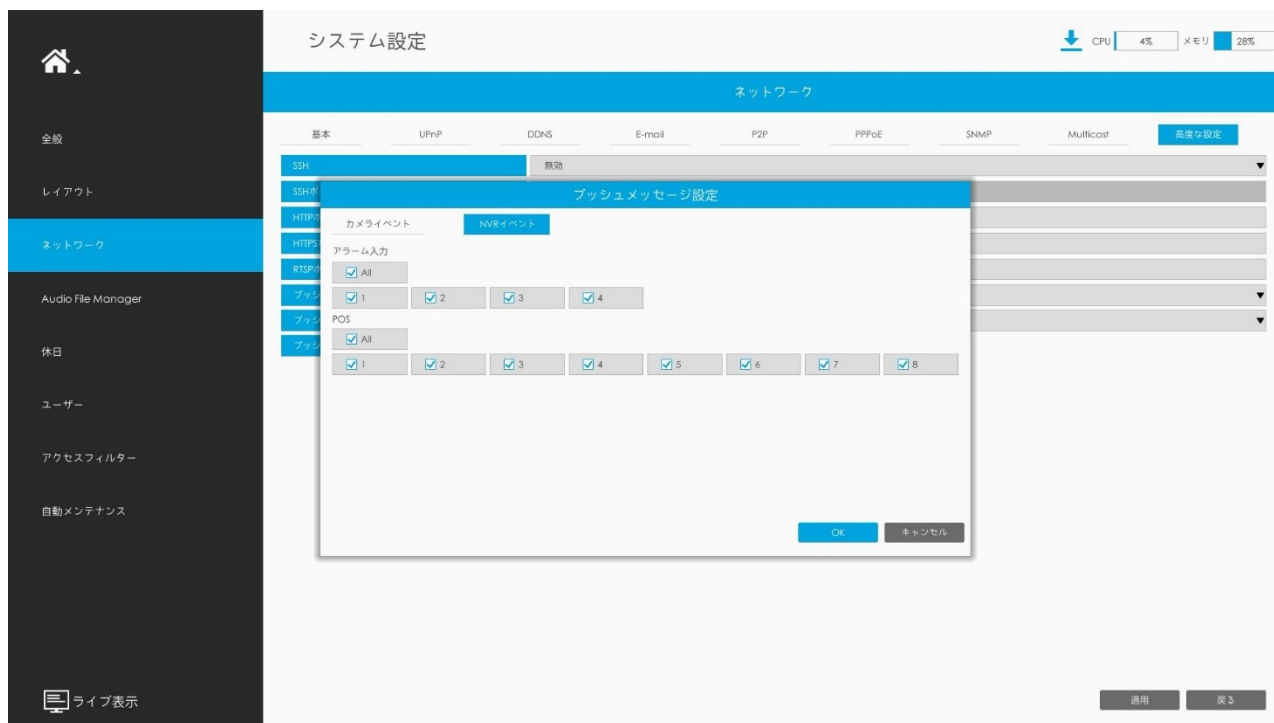
The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) interface. The 'ネットワーク' (Network) tab is selected, and the 'SSH' sub-tab is active. A dialog box titled 'プッシュメッセージ設定' (Push Message Settings) is open, showing the 'カメライベント' (Camera Event) configuration. The 'チャンネル' (Channel) is set to '1'. The 'プッシュイベントタイプ' (Push Event Type) is set to 'All'. The following table lists the checked event types:

Event Type	Checked
動体検知 (Motion Detection)	Yes
ビデオロス (Video Loss)	Yes
エリア離脱検知 (Area Exit Detection)	Yes
妨害検知 (Obstruction Detection)	Yes
徘徊検知 (Loitering Detection)	Yes
置き去り/持ち去り検知 (Left Behind/Removed Detection)	Yes
Regional People Counting	Yes
アラーム入力 (Alarm Input)	Yes
Audio Alarm	Yes
エリア侵入検知 (Area Intrusion Detection)	Yes
高度な動体検知 (Advanced Motion Detection)	Yes
境界線検知 (Boundary Detection)	Yes
人物検知 (Person Detection)	Yes
人数カウント (Person Counting)	Yes
Face Detection	Yes
ANPR	Yes
Black List	Yes
White List	Yes
Visitor List	Yes

i-Sightにプッシュされるプッシュイベントタイプを選択します。選択するチャンネルごとに異なるプッシュイベントタイプがあります。つまり、このNVRに追加されたすべてのカメラは、動体検知、ビデオロス、リージョンエントランス、リージョンエグジットなど、プッシュするイベントタイプを選択できます。

高度な動体検知、不正開封防止、リンクロス検知、浮浪者検出、オブジェクトの左/削除、アラーム入力、ANPR。

(2)NVRイベント



NVRのアラーム入力イベントまたはPOSイベントをプッシュするチャンネルを選択します。

注：NVRにアラーム入力画面がない場合、NVRイベント画面はありません。


3.7.4 オーディオファイルマネージャー(Audio File Manager)


ここでは、最大10個のオーディオファイルをアップロードできます。

注：NVRハードウェアにオーディオ出力画面があることを確認してください。


Audio File No.	Audio File Name	再生	編集	削除
-	-	-	-	-

新しいオーディオファイルを追加する


 をクリックし、外部デバイスからオーディオファイルを選択し、オーディオファイル名を入力し、[OK]をクリックすると、新しいオーディオファイルが追加されます。

 **注：**オーディオファイルのフォーマットは“.wav”、コーデックの種類はPCM/PCMU/PCMA、ビットレートは64kbpsまたは128kbps、500Kを超えないことを確認してください。


オーディオファイルを再生する

音声ファイルを選択し、 をクリックすると、音声ファイルが再生されます。

オーディオファイルを編集する

オーディオファイルを選択し、 をクリックしてオーディオファイル名を編集します。

オーディオファイルを削除する


オーディオファイルを選択し、 をクリックしてオーディオファイル名を削除

また、複数の音声ファイルにチェックを入れ、[削除]をクリックすることで、音声ファイルを削除することも可能です。

3.7.5 休日

その年の祝日の録画や画像取り込みのスケジュールを設定することができます。

ID	休日の名称	状態	開始	終了	編集
1	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
2	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
3	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
4	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
5	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
6	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
7	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
8	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
9	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
10	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
11	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
12	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
13	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
14	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
15	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
16	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
17	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
18	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
19	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
20	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
21	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
22	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
23	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
24	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
25	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
26	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
27	Holiday	無効	1-1	1-1	☑

 をクリックして、休日名、休日有効期限、スタイル、開始日、終了日などの休日情報を編集します。その後、[OK]をクリックして、設定を保存してください。

ID	休日の名称	状態	開始	終了	編集
1	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
2	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
3	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
4	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
5	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
6	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
7	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
8	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
9	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
10	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
11	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
12	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
13	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
14	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
15	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
16	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
17	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
18	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
19	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
20	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
21	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
22	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
23	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
24	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
25	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
26	Holiday	無効	1-1	1-1	☑
27	Holiday	無効	1-1	1-1	☑

3.7.6 ユーザー

The screenshot displays the 'System Settings' (システム設定) interface, specifically the 'User' (ユーザー) management section. The top right corner shows system status: CPU 0% and Memory 29%. The left sidebar contains navigation links: Home, General (全般), Layout (レイアウト), Network (ネットワーク), Audio File Manager (Audio File Manager), Holiday (休日), User (ユーザー), Access Filter (アクセスフィルター), and Automatic Maintenance (自動メンテナンス). The main content area is titled 'ユーザー' and includes a sub-tab '秘密の質問' (Secret Question). A table lists the existing user:

No.	ユーザー名	ユーザーレベル	編集	削除
1	admin	admin	<input type="checkbox"/>	-

At the bottom right of the table area, there are buttons for '追加' (Add) and '戻る' (Back).


注

1. NVRファームウェアのバージョンがxx.7.0.6未満の場合、デフォルトのユーザー名は [admin] で、デフォルトのパスワードは [123456] です。
2. NVRファームウェアのバージョンがxx.7.0.6からxx.9.0.3の場合、デフォルトのユーザー名は [admin] で、デフォルトのパスワードは [123456] です。
3. NVRファームウェアのバージョンがxx.9.0.3以降の場合は、ログインする前にパスワードを設定してください。

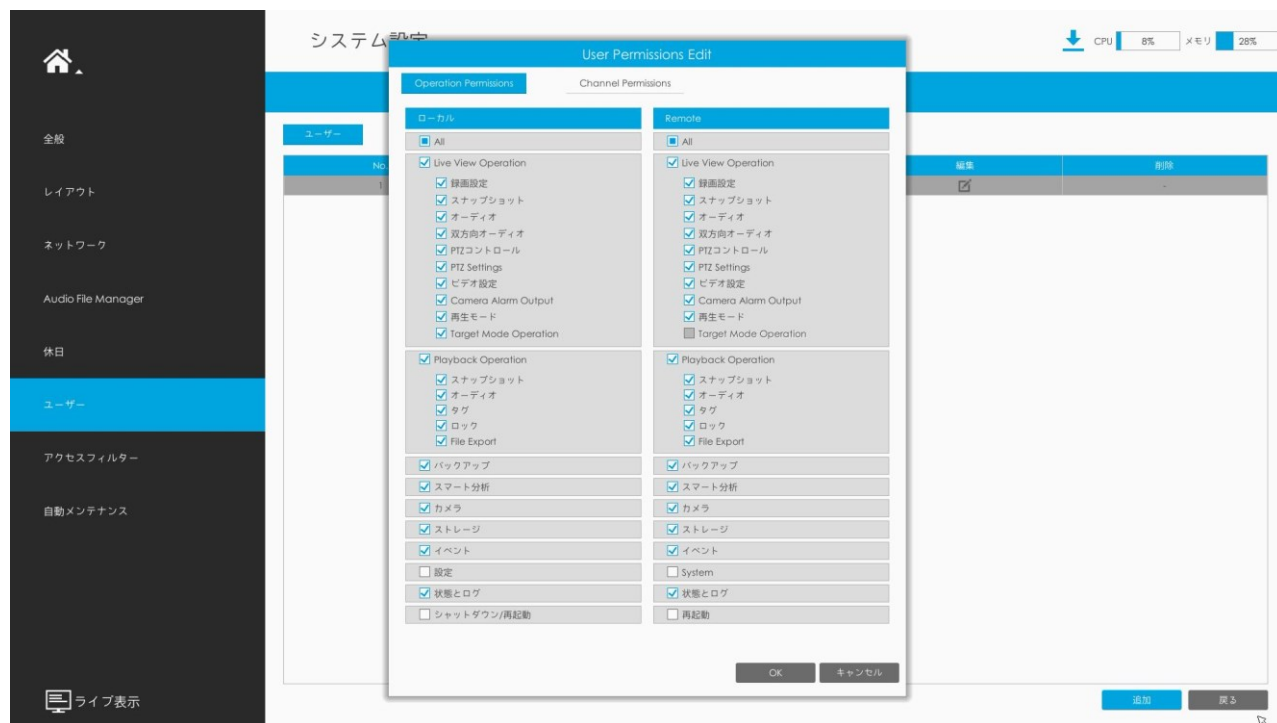
新しいユーザーを追加する

[追加] をクリックしてユーザー情報を入力し、[編集] をクリックしてユーザー権限を構成し、[OK] をクリックして新しいユーザーを追加します。

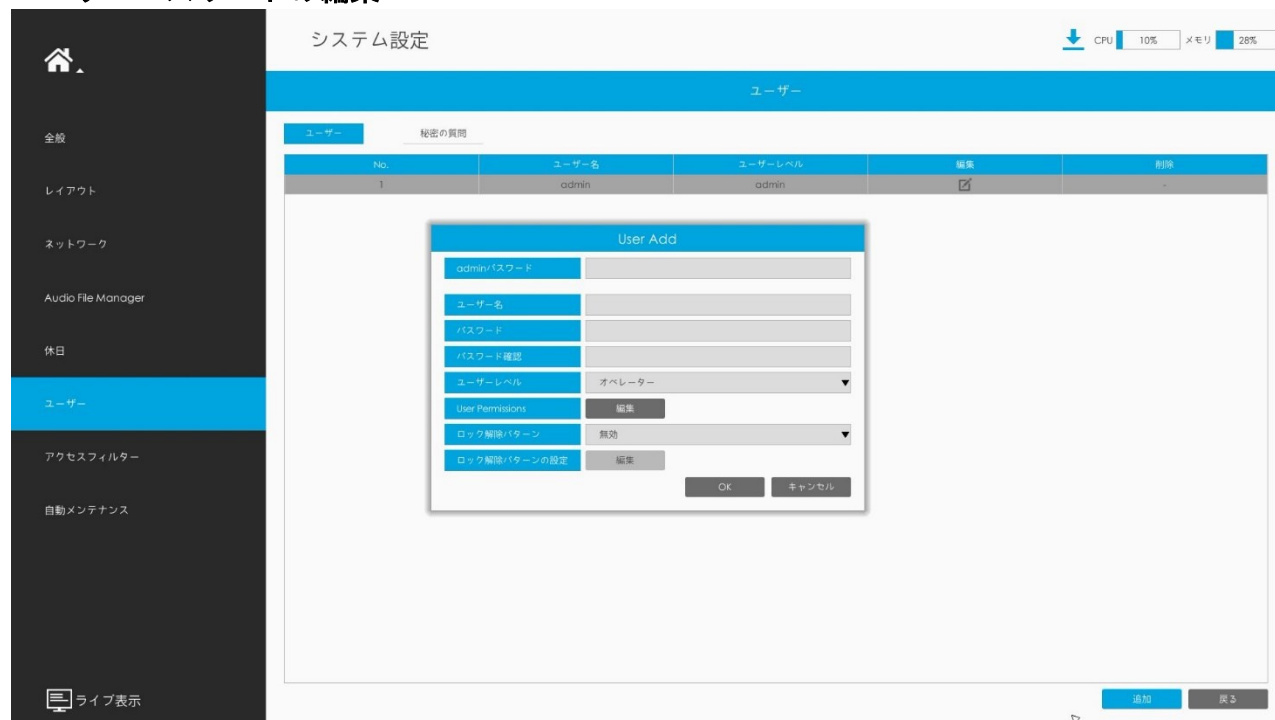
ユーザー制限の編集


ユーザーを選択し、背景色が濃い灰色に変わったら、をクリックします  ユーザー権限を編集します。ユーザー権限には、操作権限とチャンネル権限が含まれます。

- [ローカル]とは、NVRに接続されているモニターに対する特権を意味します。
- [リモート]とは、Web設定に対する特権を意味します。




ユーザーパスワードの編集



ユーザーを選択し、  をクリックして、[パスワードの変更]を有効にした後、[新しいパスワード]に入力します。また、[編集]をクリックすると、[ロック解除パターン]を有効に

した後に、[ロック解除パターン]を設定できます。[OK]をクリックして保存します。

ユーザーを削除

ユーザーを選択し、をクリックして、ユーザーを削除します。

セキュリティの質問を変更する


管理者パスワードを入力し、セキュリティの質問と回答を選択します。[適用]をクリックして保存します。

注

1. このオプションは、NVRファームウェアバージョンxx.9.0.3以降で使用できます。
2. 現在のパスワードを忘れた場合に管理者パスワードをリセットするには、セキュリティの質問が使用されます。

3.7.7 アクセスフィルター

IPまたはMACで追加されたデバイスアドレスへのアクセスを制限または開放するためのアクセスフィルタを有効にします。



The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) interface. The left sidebar contains navigation options: 全般 (General), レイアウト (Layout), ネットワーク (Network), Audio File Manager, 休日 (Holidays), ユーザー (Users), **アクセスフィルター** (Access Filter), and 自動メンテナンス (Automatic Maintenance). The main content area is titled 'アクセスフィルター' (Access Filter) and shows a configuration table. The table has columns for 'アクセスフィルター' (Access Filter), 'フィルタータイプ' (Filter Type), 'アドレス' (Address), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The 'アクセスフィルター' dropdown is set to '無効' (Disabled) and the 'フィルタータイプ' dropdown is set to '許可' (Allow). At the bottom right, there are buttons for '追加' (Add), '削除' (Delete), '適用' (Apply), and '戻る' (Back). The top right corner shows system status: CPU 0% and Memory 29%.

ステップ1：アクセスフィルターを有効にします。

ステップ2：フィルタータイプを選択します。

選択肢は2つです。[拒否]と[許可]です。

拒否：追加したデバイスアドレスへのアクセスのみを制限します。

許可：追加されたデバイスのアドレスへのアクセスのみを許可します。

ステップ3：アドレスを追加します。


[追加]をクリックしてデバイスアドレスを追加します。IPまたはMACを介してアドレスを追加できます。

(1) IP経由でアドレスを追加します。必要に応じてIPアドレスルールを選択できます。シングルとレンジの2つのルールがあります。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page with the 'アクセスフィルター' (Access Filter) section. The filter is currently '無効' (Disabled). A modal dialog 'アドレスを追加' (Add Address) is displayed, with 'アドレスタイプ' (Address Type) set to 'IPアドレス' (IP Address) and 'IPアドレスルール' (IP Address Rule) set to 'シングル' (Single). The 'IPアドレス' field is empty. The background interface shows a table with columns for 'アドレス' (Address), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). At the bottom right of the main interface are buttons for '追加' (Add), '削除' (Delete), '適用' (Apply), and '戻る' (Back).

(2) MAC経由でアドレスを追加します。

ステップ4：[適用]をクリックすると、アクセスフィルタが有効になります。

アクセスフィルターの画面で  をクリックすると、対応するアドレスを再度編集することができます。

注

- アクセスフィルタが有効で、フィルタータイプが[許可]であるが、テーブルにアドレスが追加されていない場合、NVRへのアクセスは許可されません。
- アクセスフィルタが有効で、フィルタータイプが[拒否]であるが、テーブルにアドレスが追加されていない場合、すべてのアドレスがNVRへのアクセスを許可されません。

3.7.8 自動メンテナンス


3.7.8.1 ローカルアップグレード

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page with the '自動メンテナンス' (Automatic Maintenance) section selected. The 'ローカルアップグレード' (Local Upgrade) tab is active. Under the 'ファームウェア' (Firmware) section, the 'リセット' (Reset) option is selected, with a checkbox for '設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。(IPアドレスとユーザー情報を除く)' (Reset to factory default settings. (Exclude IP address and user information)). A note below states: '注意：アップグレードプロセスには5-10分ほどかかります。プロセス中は、デバイスの電源を切らないでください。アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。' (Note: The upgrade process takes about 5-10 minutes. Please do not turn off the device power during the process. After the upgrade, the device will restart automatically.) The 'ブラウザ' (Browser) button is highlighted in blue. The left sidebar shows navigation options like '全般' (General), 'レイアウト' (Layout), 'ネットワーク' (Network), 'Audio File Manager', '休日' (Holidays), 'ユーザー' (Users), 'アクセスフィルター' (Access Filter), and '自動メンテナンス' (Automatic Maintenance). The top right shows system status: CPU 0%, Memory 29%.

ステップ1：[ブラウザ]をクリックして、USBにダウンロードした対応するファームウェアを選択します。

ステップ2：アップグレード後に設定を工場出荷時のデフォルト（IPアドレスとユーザー情報を除く）にリセットする必要があるかどうかを確認します。


ステップ3：[アップグレード]をクリックして、アップグレードを確認します。

 注：アップグレードを確認すると、システムは自動的に再起動します。

3.7.8.2 オンラインアップグレード

ステップ1：[チェック]をクリックして、新しいバージョンがあるかどうかを確認します。新しいバージョンがある場合は、[最新バージョン]列に対応する情報が表示されます。

ステップ2：[アップグレード]をクリックして、アップグレードを確認します。

 注：アップグレードを確認すると、システムは自動的に再起動します。

3.7.8.3 設定のインポート/エクスポート

- 設定ファイルのインポート：[ブラウザ]をクリックし、.cfg ファイルを選択し、[復元]をクリックして、NVRに設定をインポートします。
- 設定ファイルのエクスポート：[ブラウザ]をクリックし、フォルダを選択し、“バックアップ”をクリックすると、USBデバイスに設定がエクスポートされます。

システム設定

CPU 4% メモリ 30%

自動メンテナンス

ローカルアップグレード | 設定のインポート/エクスポート | 自動再起動 | リセット | 診断情報

設定ファイルのインポート

設定ファイル [ボタン] ブラウザ 復元

設定ファイルのエクスポート

エクスポート先 [ボタン] ブラウザ バックアップ

戻る

3.7.8.4 自動再起動

システム設定

CPU 0% メモリ 29%

自動メンテナンス

ローカルアップグレード | 設定のインポート/エクスポート | 自動再起動 | リセット | 診断情報

自動再起動	無効
実行日	毎日
日時	00:00:00

適用 戻る

再起動の曜日と時刻を設定すると、設定した時刻にNVRが自動的に再起動されます。

- 曜日：毎日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日。
- 時刻：00:00:00～23:59:59の範囲で調整可能です。

3.7.8.5 リセット(初期化)

リセットする内容にチェックを入れ、[リセット]をクリックすると、すべてのパラメータを

デフォルト設定にリセットできます。USB・HDDデータはリセットされません。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page. The left sidebar contains navigation options: 全般 (General), レイアウト (Layout), ネットワーク (Network), Audio File Manager, 休日 (Holidays), ユーザー (Users), アクセスフィルター (Access Filter), 自動メンテナンス (Automatic Maintenance), and ライブ表示 (Live View). The main content area is titled 'システム設定' and includes system status indicators for CPU (0%) and Memory (29%). Below this is the '自動メンテナンス' (Automatic Maintenance) section, which has tabs for 'ローカルアップグレード' (Local Upgrade), '設定のインポート/エクスポート' (Import/Export Settings), '自動再起動' (Automatic Restart), 'リセット' (Reset), and '診断情報' (Diagnostic Information). The 'リセット' tab is active, displaying a warning: 'リセット後に保持するパラメーターを選択してください。すべてのチェックを外すと、NVRが工場出荷時の状態にリセットされます。' (Please select parameters to keep after the reset. If all checkboxes are unchecked, the NVR will be reset to factory default settings). Two checkboxes are present: 'IPパラメーターを保持する' (Keep IP parameters) and 'ユーザー情報を保持する' (Keep user information), both of which are checked. At the bottom right, there are 'リセット' (Reset) and '戻る' (Back) buttons.

3.7.8.6 診断情報

[参照]をクリックして、診断ファイルをUSBデバイスに保存するパスを選択します。次に、[バックアップ]をクリックして診断ファイルをエクスポートします。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page with the '診断情報' (Diagnostic Information) tab selected. The system status indicators show CPU at 2% and Memory at 30%. The '診断ファイルのエクスポート' (Export Diagnostic File) section is active, showing a '診断ファイルのエクスポート' (Export Diagnostic File) button, a 'ブラウザ' (Browser) button, and a 'バックアップ' (Backup) button. A '戻る' (Back) button is located at the bottom right of the page.

ホットスペア

N個のマスターNVRと1個のホットスペアスレーブNVRのアーキテクチャとして構成された、N + 1ホットスペアは、ビデオ監視システムのデータの整合性と信頼性を保証します。マスターNVRのいずれかに障害が発生した場合、スレーブNVRがチャンネル情報を引き継

いでビデオ録画を保証できます。

一方、障害が発生したNVRが回復すると、スレーブNVRは録画されたデータを送り返します。

マスターモード

ステップ1：ホットスペアモードとしてマスターモードを選択します。

ステップ2：スレーブIPアドレス、スレーブ管理者パスワードを入力して適用します。

スレーブモード

ステップ1：ホットスペアモードとしてスレーブモードを選択し、[適用]をクリックします。再起動後、NVRは正常にスレーブモードに変わります。

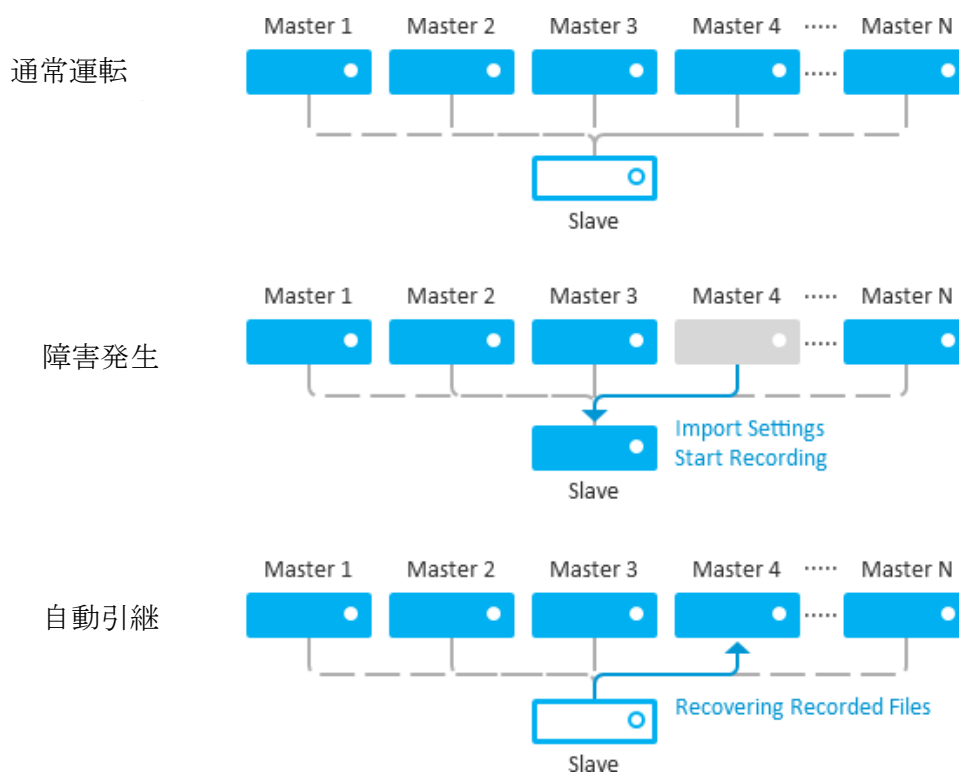
ステップ2：最大32のマスターを追加します。

たとえば、LANには192.168.5.200、192.168.5.201、192.168.5.202の3つのNVRがあります。

192.168.5.200と192.168.5.201をマスターNVRとして設定し、192.168.5.202をスレーブNVRとして設定する場合。次のステップで操作できます。

- 192.168.5.200と192.168.5.201をマスターモードに設定します。そして、192.168.5.202のIPとアカウント情報をスレーブとして入力します。
- 192.168.5.202をスレーブモードに設定します。次に、192.168.5.200と192.168.5.201をマスターリストに追加します。

マスターとスレーブが正常に一致すると、ホットスペア機能が機能し始めます。



注

1. NR7016-UH、NR7032-UH、NR8032-UH、およびNR8064-UHのみがN+1ホットスペア機能をサポートします。
2. マスターNVRとスレーブNVRを同じNVRモデルで設定することをお勧めします。

3.8 [システム]状態

デバイス、ネットワーク、カメラ、ディスク、イベントの情報を素早く確認することができます。この部分は迅速なリファレンスのためだけのものです。もし何か設定をしたいのであれば、それに応じて対応する部分に移動してください。

3.8.1 デバイス情報

デバイス情報

機器情報には、モデル、MACアドレス、SNアドレス、ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、アップタイムが含まれます。

The screenshot shows a web interface for system status. At the top, there is a '状態' (Status) header with a home icon on the left and CPU (1%) and Memory (30%) indicators on the right. Below this is a blue bar labeled 'デバイス情報' (Device Information). A table displays the following details:

モデル	NR5008-PE
MACアドレス	1C:C3:16:0B:86:57
SN Address	6722430081
ハードウェアバージョン	V1.0
ソフトウェアバージョン	75.9.1.18-r9
稼働時間	13:16:31 up 1:42

On the left side, a dark sidebar contains navigation links: デバイス情報 (highlighted), ネットワーク状況, カメラ状況, ディスク状況, イベント状況, グループ状況, オンラインユーザー, Packet Capture Tool, ログ, and ライブ表示 (Live View).

3.8.2 ネットワーク状況

ネットワークステータスには、ネットワークステータスと帯域幅ステータスの3つの主要部分が含まれます。

ネットワークステータス

状態
↓ CPU 0% メモリ 29%

ネットワーク状況

ネットワーク状況
帯域状況
Network Test

ホーム

デバイス情報

ネットワーク状況

カメラ状況

ディスク状況

イベント状況

グループ状況

オンラインユーザー

Packet Capture Tool

ログ

ライブ表示

LAN1

接続	Link is up	モード	100 Mbps FULL
IPv4 DHCP	Disable	IPv6モード	Manual
IPv4アドレス	192.168.11.30	IPv6アドレス	
IPv4サブネットマスク	255.255.255.0	IPv6プレフィックス長	
IPv4ゲートウェイ	192.168.11.1	IPv6ゲートウェイ	
プライマリDNSサーバー	8.8.8.8	MTU	1500
セカンダリDNSサーバー		MACアドレス	1C:C3:16:08:86:87

LAN2

接続	Link is up	モード	1000 Mbps FULL
IPv4 DHCP	Disable	IPv6モード	Manual
IPv4アドレス	192.168.20.1	IPv6アドレス	
IPv4サブネットマスク	255.255.255.0	IPv6プレフィックス長	
IPv4ゲートウェイ	192.168.10.1	IPv6ゲートウェイ	
プライマリDNSサーバー	8.8.8.8	MTU	1500
セカンダリDNSサーバー		MACアドレス	1C:C3:16:08:86:88

帯域幅ステータス

状態
↓ CPU 5% メモリ 29%

ネットワーク状況

ネットワーク状況
帯域状況
Network Test

空き
使用中

ホーム

デバイス情報

ネットワーク状況

カメラ状況

ディスク状況

イベント状況

グループ状況

オンラインユーザー

Packet Capture Tool

ログ

ライブ表示

LAN1

↓ 受信レート

↑ 送信レート

ネットワークテスト(NetworkTest)

NVRとカメラやコンピューターなどの宛先アドレスとの間のネットワークステータスをすばやく知ることができます。

The screenshot shows a web management console with a sidebar on the left containing navigation items: 家 (Home), デバイス情報 (Device Information), ネットワーク状況 (Network Status), カメラ状況 (Camera Status), ディスク状況 (Disk Status), イベント状況 (Event Status), グループ状況 (Group Status), オンラインユーザー (Online Users), Packet Capture Tool, and ログ (Log). The main content area is titled '状態' (Status) and shows system metrics: CPU 0% and メモリ (Memory) 29%. Below this is a 'ネットワーク状況' (Network Status) section with tabs for 'ネットワーク状況', '帯域状況', and 'Network Test'. The 'Network Test' tab is active, displaying a table with columns 'Destination Address' and 'Test Result'. The table is currently empty. At the bottom right, there are buttons for 'Start', '停止' (Stop), and '戻る' (Back).

3.8.3 カメラ状況

カメラステータスには、チャンネル、名前、IPアドレス、レコード、フレームレート、ビットレート、フレームサイズ、およびステータスが含まれます。

The screenshot shows the same web management console with the 'カメラ状況' (Camera Status) section active. The sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area shows system metrics: CPU 2% and メモリ (Memory) 29%. Below this is a 'カメラ状況' (Camera Status) section with tabs for 'チャンネル状況' (Channel Status) and 'PoEポート状況' (PoE Port Status). The 'チャンネル状況' tab is active, displaying a table with the following data:

チャンネル	名称	IPアドレス	録画設定	フレームレート	ビットレート	フレームサイズ	状態
1	CAM1	192.168.20.2	OFF	29 fps	1.71 Mbps	2144x2144	✓
2	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-

At the bottom right, there is a '戻る' (Back) button.

PoEポートステータスはPoENVR専用であり、PoEポートの現在の電力と接続ステータスが表示されます。

状態 CPU 2% | メモリ 30%

カメラ状況

チャンネル状況 **PoEポート状況**

PoEポート	IPアドレス	現在の消費電力	状態
1	192.168.20.2	5.30W	接続
2	-	-	-
3	-	-	-
4	-	-	-
5	-	-	-
6	-	-	-
7	-	-	-
8	-	-	-

総消費電力 5.30W
残りの電力消費 114.70W

注意:
1. すべてのPoEポートの定格電力は120.00Wです。
2. 合計電力が定格電力を超えた場合、定格電力よりも小さくなるまでチャンネル番号の大きい方から順に閉じていきます。

ライブ表示 戻る

3.8.4 ディスク状況 ディスクステータス

ディスクステータスには、ポート、ベンダー、ステータス、合計 (GB)、空き (GB)、HDDタイプ、およびグループが含まれます。合計容量 (GB) と使用可能容量 (GB) も確認できます。

状態 CPU 6% | メモリ 29%

ディスク状況

ディスク状況 S.M.A.R.T

ポート	ベンダー	状態	合計	空き	プロパティ	種類	グループ
1	ST2000VN005-2U4102	正常	1.819 TB	1.004 TB	R/W	ローカル	1

総容量 1.819 TB
利用可能容量 1.004 TB

ライブ表示 更新 | 戻る

S.M.A.R.T

S. M. A. R. Tは、HDDの予期せぬ故障を検知し、様々な指標で報告するHDDの監視システムです。

- テストタイプ：FastとFullがあります。
- 自己診断機能：HDDの状態が良ければ、自己診断に合格します。

The screenshot shows a web-based monitoring interface for SMART. The top right corner displays system status: CPU 0% and Memory 29%. The main content area is titled 'ディスク状況' (Disk Status) and 'SMART'. It features a table of SMART attributes and a summary of test results.

ID	項目名	現在値	目標値	しきい値	Raw値	状態
01	Raw_Read_Err_Rate	76	64	6	35968782	OK
03	Spin_Up_Time	98	97	0	0	OK
04	Start_Stop_Count	100	100	20	11	OK
05	Reallocated_Sector_Ct	100	100	10	0	OK
07	Seek_Err_Rate	67	60	45	5158302	OK
09	Power_On_Hours	98	98	0	0	OK
0A	Spin_Retry_Count	100	100	97	0	OK

ポート	1
テストプロセス	
テストタイプ	高速
温度(°C)	38
稼働時間	1758
自己評価	合格
総合評価	正常
S.M.A.R.Tテスト	テスト

3.8.5 イベント状況

カメライベント

ビデオロス、動体、I/O などのカメライベントを確認できます。対応するアラーム

がトリガーされると、 が  に変わります。

状態 ↓ CPU 0% メモリ 29%

イベント状況



カメライベント Alarm Input/Output VCA

チャンネル	名前	IPアドレス	ビデオロス	動作検知	Audio Alarm
1	CAM1	192.168.20.2	点	点	点
2	CAM2	-	-	-	-
3	CAM3	-	-	-	-
4	CAM4	-	-	-	-
5	CAM5	-	-	-	-
6	CAM6	-	-	-	-
7	CAM7	-	-	-	-
8	CAM8	-	-	-	-

戻る

アラーム(AlarmInput/Output)

NVRに対応する画面がある場合、アラーム入出力リストを確認することができます。

は、対応するアラームがトリガーされると、 が  に変わります。NVRのアラーム入力または出力については、該当するアラーム入力または出力が最初に表示され、例えば、1、2、など、カメラのアラーム入力または出力については、カメラのチャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) と表示されます。

状態 ↓ CPU 6% メモリ 29%

イベント状況

カメライベント Alarm input/Output VCA

アラーム入力リスト



No.	アラーム名	アラームタイプ	状態
1		N.O.	点
2		N.O.	点
3		N.O.	点
4		N.O.	点
CH1_1		N.O.	点
CH1_2	-	-	-
CH2_1	-	-	-
CH2_2	-	-	-
CH3_1	-	-	-
CH3_2	-	-	-
CH4_1	-	-	-

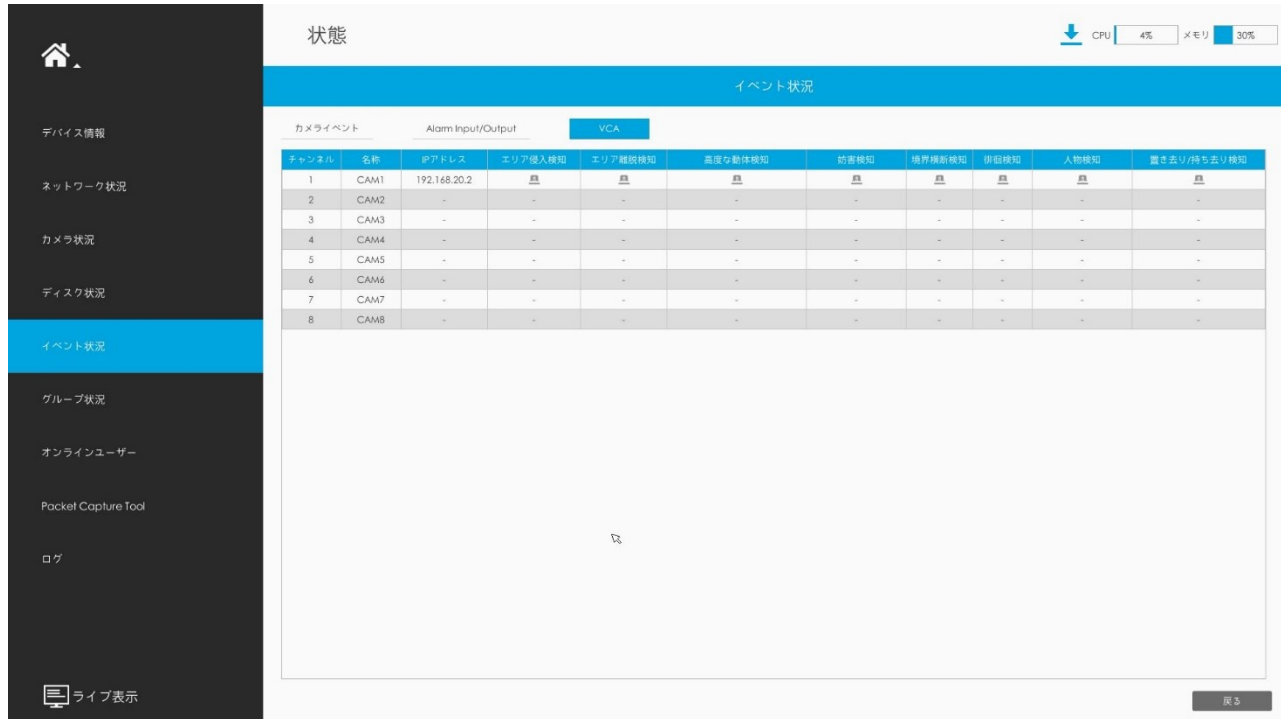
アラーム出力リスト

No.	アラーム名	アラームタイプ	アラーム持続時間	状態
1		N.O.	5s	点
CH1_1		N.C.	5s	点
CH1_2	-	-	-	-
CH2_1	-	-	-	-
CH2_2	-	-	-	-
CH3_1	-	-	-	-
CH3_2	-	-	-	-
CH4_1	-	-	-	-
CH4_2	-	-	-	-
CH5_1	-	-	-	-
CH5_2	-	-	-	-

戻る

VCA

VCA のステータスを表示します。対応するアラームが発生した場合、 が  に変わります。



状態 ↓ CPU 4% メモリ 30%

イベント状況

カメライベント Alarm Input/Output **VCA**

チャンネル	名称	IPアドレス	エリア侵入検知	エリア離脱検知	高度な動作検知	防犯検知	境界線検知	徘徊検知	人物検知	置き去り/持ち去り検知
1	CAM1	192.168.20.2								
2	CAM2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	CAM3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	CAM4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	CAM5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	CAM6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	CAM7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	CAM8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

戻る

3.8.6 グループ状況

グループステータスを確認します。作成されたすべてのグループのステータスは、グループまたはチャンネルで並べ替えることができます。



状態 ↓ CPU 2% メモリ 29%

グループ状況

グループで並べ替え **チャンネルで並べ替え**

グループ	ディスク	チャンネル
1	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-
16	-	-

戻る

3.8.7 オンラインユーザー

リアルタイムでNVRにリモート接続しているオンライン・ユーザー・画面に一覧表示することができます。リストには、ユーザー名、ユーザー・レベル、IPアドレス、ユーザー・ログイン時間などが含まれます。

状態

CPU 2% メモリ 29%

オンラインユーザー

番号	ユーザー名	ユーザーレベル	IPアドレス	ユーザーログイン時間	Add to Access Filter
----	-------	---------	--------	------------	----------------------

更新 戻る

IPアドレスは、オンラインユーザー画面から直接アクセスフィルター画面に追加できます。

3.8.8 パケットキャプチャツール(Packet Capture Tool)

IP、ポートを入力してパスを選択し、[開始]をクリックしてキャプチャを開始し、[終了]をクリックして停止します。キャプチャされたパッケージは、選択したパスに保存されます。

状態 CPU 3% | メモリ 30%

Packet Capture Tool

IP	
Port	
NIC	eth0
Export Directory	<input type="text"/> ブラウザ

Start End 戻る

注： ローカルモニター側で3分以内のパケットをキャプチャすることをお勧めします。

3.8.9 ログ

ログ画面では、ログの確認、検索、エクスポートが可能です。開始時間、終了時間、チャンネル、メインタイプ、サブタイプを選択すると、ログの規模を絞り込むことができ、必要なログを検索することができます。

状態 CPU 13% | メモリ 28%

ログ

開始日時	2023-08-31	00:00:00
終了日時	2023-08-31	23:59:59
チャンネル	すべて	
メインカテゴリ	すべて	
サブカテゴリ	すべて	

No.	メインカテゴリ	日時	サブカテゴリ	パラメータ	チャンネル	ユーザー	ホストIPアドレス	詳細
1	情報	2023-08-31 17:41:53	録画開始	N/A	1	N/A	N/A	
2	情報	2023-08-31 17:41:51	録画開始	N/A	1	N/A	N/A	
3	異常処理	2023-08-31 17:41:49	録画失敗	N/A	1	N/A	N/A	
4	異常処理	2023-08-31 17:41:49	録画失敗	N/A	1	N/A	N/A	
5	操作	2023-08-31 17:38:33	ローカルログイン	N/A	N/A	admin	N/A	
6	情報	2023-08-31 17:33:36	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
7	情報	2023-08-31 15:27:35	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
8	情報	2023-08-31 13:21:35	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
9	情報	2023-08-31 11:15:35	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
10	情報	2023-08-31 09:09:35	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
11	情報	2023-08-31 07:03:34	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
12	情報	2023-08-31 04:57:34	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
13	情報	2023-08-31 02:51:34	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	
14	情報	2023-08-31 00:45:34	S.M.A.R.T情報	N/A	N/A	N/A	N/A	

合計 14 項目 ページ 1-1 | 1 | Go

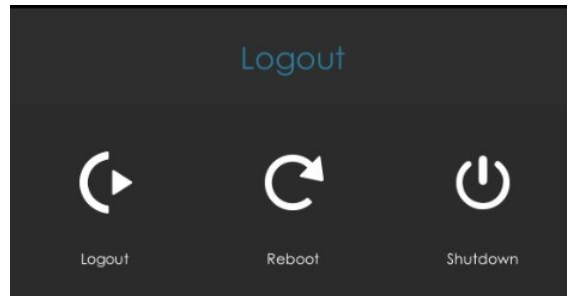
エクスポート 検索 戻る

[エクスポート]をクリックして、検索したログをメディアデバイスにエクスポートします。

特に、以下の種類のイベントについては、イベントのトリガーとなった検出オブジェクトの情報がログ情報に表示されます。

- 侵入検知
- 退出検知
- 高度な動体検知
- ラインクロス
- 滞留検知

3.9 [システム] ログアウト



- ログアウト：現在のログインアカウントを終了します。
- 再起動：NVRを再起動します。
- シャットダウン：NVRを閉じます。

3.10 エラーメッセージ

NVRエラーメッセージリスト

チャンネルのステータス	症状	簡単な対応法
Incorrect Password	カメラのユーザー名がパスワードと一致しません	1.IPアドレスが正しく入力されていることを確認して、カメラのユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。 2. アルファベットの大文字小文字が目的に合っているか、フィールドを貼るときにスペースが増えていないかをチェックします。
Network Error	NVRとカメラ間のネットワーク接続が異常です	1.カメラがネットワークケーブルに正しく接続されているか、ネットワークケーブルが破損していないか確認してください。 2.カメラのWeb端末にIPアドレスからアクセスできる

		<p>かどうかを確認します。</p> <p>3.ネットワークテストで、カメラのIPアドレスにpingを実行して、ネットワーク接続の状態を確認します。</p>
Bandwidth limitation	NVRがカメラを追加するために使用できる帯域幅が制限を超えています	<p>1.カメラ管理画面で、現在のカメラが占有している帯域幅を確認します。</p> <p>2.使用頻度の低いカメラをリストから削除して、帯域幅の合計使用量を減らします。</p>
Unknown Error	NVRで不明なエラーが発生しました	<p>1.NVRに追加したカメラ本体が正常に動作するか確認します。</p> <p>2.NVRページ(WEB側)を更新して、状態が変化しないかチェックします。</p> <p>3.カメラを削除して再追加し、うまく追加できるかどうかを確認します。</p>
Others	表示される可能性のあるその他のNVRプロンプト	特別な場合ですので、購入元までご連絡ください。
-90	P2P デバイスが見つからない	<p>1.デバイスの電源が入っているか確認します。</p> <p>2.NVRのP2P機能を確認します。</p> <p>3.NVRネットワークの状態をチェックします。</p>
-1005	NVRパスワードエラーです	<p>1.NVRのユーザー名とパスワードが正しいかどうかを確認します。</p> <p>2.NVRのユーザーインターフェイスでパスワードを再保存します。</p>
-27	接続がタイムアウトしました	<p>1.APPとNVRの間のネットワーク環境が正常かどうかを確認します。</p> <p>2.NVRを再起動し、APPバックグラウンドを終了して、再度入力します</p>
Others	その他のエラーコード	特別な場合ですので、購入元までご連絡ください。